

九州大学大型計算機センター25年史 : 本編 : 資料 編

<https://hdl.handle.net/2324/4844349>

出版情報 : 1994-04. 九州大学大型計算機センター25年史編集委員会
バージョン :
権利関係 :



九州大学大型計算機センター

25年史資料編

1994年6月

目 次

九州大学大型計算機センター年譜	1
システム構成の変遷	13
システム性能の推移	14
システム構成図	17
創立10周年以降の運用方式の変更	24
各種利用統計	29
端末設置数の推移	49
公用データベース延べ利用者数の推移	50
プログラムライブラリ開発課題一覧	52
公用データベース開発課題一覧	59
公用データベース一覧	64
講習会実施一覧	66
利用の手引一覧	70
研究開発部研究業績	71
計算機科学研究集会講演一覧	83
国際シンポジウム開催記録	87
全国共同利用大型計算機センター研究開発連合発表会講演一覧	94
全国共同利用大型計算機センター顕彰九州大学関係者受賞一覧	97
歴代運営委員	98
歴代センター長・次長・研究開発部長・教官・事務長・掛長	106
プログラム相談員一覧	109
年度別現員表	112
現職員	113

九州大学大型計算機センター一年譜

1963年（昭和38年）

- 4月 九州大学中央計数施設発足.
- 5月 日本学術会議科学研究計画第一次5ヶ年計画について政府に勧告.
第3要望に共通研究基盤の拡充として大賀計算機の設置をあげる.

1964年（昭和39年）

- 5月 中央計数施設から1965年度（昭和40年度）概算要求として、大型超高速電子計算機設置要求。（年間借用料：1.44億円）.
- 7月 西日本地区国立大学電子計算機協議会（西計協）発足。西日本地区における中小型計算機の導入および整備、大型計算機導入のために活動.

1965年（昭和40年）

- 4月 東京大学大型計算機センター発足.
- 5月 中央計数施設から1966年度（昭和41年度）概算要求として、西日本地区大型計算機センター設置要求。（年間借用料：約4.7億円）.
- 10月 西日本地区大型計算機利用協議会（西利協）発足.

1966年（昭和41年）

- 5月 中央計数施設から1967年度（昭和42年度）概算要求として、西日本地区大型計算機センター設置要求。（年間借用料：約3.9億円）.
- 5月28日 第2回西利協総会.

1967年（昭和42年）

- 2月末 文部省より大型機に関する内示。（予算：年間借用料1.5億円、稼働開始：1969年1月）.
- 3月20日 計算機メーカーに資料提出要求。（中央計数施設の長が代行）.
- 3月31日 中央計数施設運営委員会.
内容：総長の命により、九州大学大型計算機センター設置準備委員会を組織.
- 4月6日 第1回設置準備委員会.
内容：要項決定、小委員会組織（機種選定調査小委員会、建築小委員会、運営方式小委員会）、常任委員会組織、日程決定、正式に資料提出を計算機メーカーに依頼.
- 4月11日 第1回機種選定小委員会.
内容：日程の作成
- 4月15日 計算機メーカー資料提出期限（資料提出メーカー：日立、東芝、日電、富士通、日本IBM）.
- 4月18日 第1回建築小委員会.
内容：基本計画を中心に設計開始.
- 4月21日 第1回説明会開催。（～4月25日）
内容：メーカー5社から推薦機種について説明聴取.
- 4月25日 第2回機種選定調査小委員会開催.
内容：機種選定方針を与えてメーカーに再検討させる.
- 4月28日 建築小委員会見学会（九電、福銀計算機室）.
- 5月1日 第2回建築小委員会.
内容：計算機室の位置を検討.
- 5月8日 西日本地区国立大学電子計算機協議会（西計協）、西日本地区大型計算機利用協議会（西利協）開催.
第2回設置準備委員会.
内容：機種選定方針の検討.
第3回機種選定調査小委員会.
内容：機種選定方針決定.

- 5月22日 第3回建築小委員会。
内容：室の配列，人員機構図，機械の製作日程等の打合せ。
- 5月27日 第2回説明会開催。（～5月31日）
内容：再提出された各社の計画について説明聴取。
- 5月31日 第1回常任委員会
内容：予算の振替要求と各委員会の今後の日程について。
- 6月5日 第4回機種選定調査小委員会。
内容：各機種について調査を続けることに決定。
- 6月7日 第2回常任委員会。
内容：機種選定の経過報告，センター要員の確保について。
- 6月19日 第3回常任委員会。
内容：機種選定に関する打合せ。
- 6月28日 第4回常任委員会。
内容：機種選定の整理について。
第5回機種選定調査小委員会。
内容：各機種の比較採点結果作成。
- 6月29日 第3回設置準備委員会。
内容：機種決定，今後の方針決定。
- 7月3日 富士通信機（株）と九大施設部の第1回打合せ。
内容：機械の配置について。
- 7月5日 第5回常任委員会。
内容：機種内定の報告，旅費，校費の査定，建物，概算要求について，センター人事。
第4回建築小委員会。
内容：平面図検討。
- 9月20日 第1回運営方式小委員会。
内容：システム運用の基本方針の確認，富士通社の運用管理案の検討。
- 9月26日 第5回建築小委員会。
内容：新平面図で各室の入替を検討。
- 10月2日 富士通信機（株）と九大施設部第2回打合せ。
内容：電源，二重床，換気等連絡。
- 10月3日 第2回運用方式小委員会（学内委員のみ）。
内容：センター設立に必要な規則，利用細則の検討。
- 11月10日 富士通信機（株）と九大施設部第3回打合せ。
内容：空調方法を連絡。
- 11月24日 第7回建築小委員会。
内容：電気，設備関係の検討。
- 11月28日 第6回常任委員会。
内容：文部省，総長あて報告書について，センター規則の検討，設置準備委予算の用途について，センター要員の検討。
- 12月 センター建築工事着工（施工：銭高組）。
- 1968年（昭和43年）
- 1月31日 第7回常任委員会。
内容：人事実行案，建築実行案について。
- 2月7日 第8回建築小委員会。
内容：最終図面検討承認。
- 2月22日 中央計数施設運営委員会。
第8回常任委員会。
内容：センター規則検討。
- 2月26日 第4回設置準備委員会。
内容：予算配当内示について，建物について。

- 2月26日 西利協総会。
内容：東大センター利用状況，九大センター設置準備状況。
- 3月4日 中央計数施設運営委員会。
- 4月15日 九州大学大型計算機センターの組織発足（学内措置）。
運営委員会，専門委員会を組織，広報創刊。
- 4月16日 第9回常任委員会。
内容：委員会日程，組織整備の日程について。
- 5月9日 中央計数施設運営委員会。
- 5月12日 大野克郎教授（工）センター長に就任，
有田五次郎講師研究開発部長に就任。
- 6月2日 米空軍RF4CファントムII偵察機が，建築中のセンターに墜落炎上。
- 6月4，5日 水野総長を先頭に教職員，学生有志が「板付基地撤去」を要求する抗議デモを行う。
- 6月14日 総長は，板付基地撤去およびそれまでの安全措置について，総理大臣，文部・外務両大臣，防衛庁長官および駐日アメリカ代理大使に陳情（第1回）。
- 6月25日 大型計算機センター運営委員会学内委員会。
第2回陳情。
- 7月2日 電算機復旧委員会（委員長：問田直幹教授）設置が決まる。
- 7月9日 機体引き降ろしに反対する学生が評議会に乱入。
評議会において機体の自主引き降ろしを決定。
- 7月31日 立入禁止区域の拡張と機体保管庫の位置確定のための準備作業を開始したが，
引き降ろし反対派学生の妨害により作業中止。
- 8月2日 機体引き降ろし作業に着手しようとしたが，反対派学生の妨害により作業中止。
- 8月23日 機体保管庫建設中に引き降ろし反対派の学生が教職員，学生に角材を振るい
負傷者続出。
- 9月2日 計算機委員会（委員長：北川敏夫教授）が仮設センターを九大内の他の場所に
設けたいと総長に答申。
- 9月9日 計算機委員会は，「米軍機墜落事故に伴う全国共同利用九州大学大型計算機
センター開設計画について」，また同29日に「大型計算機設置に関する要
点」と題するパンフレットを作成，学内に配布。
- 9月18日 教養部学生集会開催（総長出席）。
第5回設置準備委員会と大型計算機センター運営委員会（第1回）を合同で
開催。
内容：センター開設計画について。
- 10月13日 警察のハンディトーカーが学生に奪われたという事件に対し，教養部が西福
岡署による強制捜索をうけ，学生1名が逮捕された。
- 11月5日 文学部自治会が文学部事務室をバリケードで封鎖したため，これに反対する
教職員，学生との間で乱闘が起こり，多数の負傷者が出た。
- 11月15日 小郡町に米軍機墜落。
- 11月28日 板付基地撤去促進専門委員会が「基地と大学-九州大学はうったえる...」を
作成。
- 12月2日 「板付基地撤去」と「市民と大学の安全を保障せよ」をスローガンとして，
総長を先頭に教職員，学生有志による提灯デモを行う。
- 12月14日 機体処理に関する基本的態度について，総長談話を発表。
- 12月19日 「大型計算機早期利用に関する要望」書が学内有志により文部大臣に提出さ
れる。署名者1,656名。
- 12月20日 22日以降に教官の手によって，墜落米軍機の機体引き降ろし準備作業を開
始する旨公示。
- 12月24日 「反帝学評」と「革マル派」の学生が，中門付近で乱闘，市民や教官，学生
多数が負傷。（～12月25日）
- 12月27日 機体引き降ろし準備作業を試みたが，反対派学生の妨害により作業は中止。

12月29日 機体引き降ろし準備作業にかかるため、約50名の教官が集ったが、反対派学生の手で、作業は中止。

1969年（昭和44年）

- 1月5日 午前1時40分、米軍機の機体が何者かの手により引き落とされた。
- 1月6日 「大型計算機早期利用に関するお願い」が鹿児島大学、宮崎大学、大分大学、熊本大学、長崎大学、佐賀大学、九州工業大学、広島大学より文部省に提出される。署名者823名。
- 1月9日 九州大学総長は文部大臣に会い、大型計算機の早期利用を要望する。
- 1月5日 機体引き降ろし事件に関し、学生部長室に次々と赴いた評議員と機体引き降ろし反対派の学生とが延べ51時間にわたり交渉。（～1月7日）
- 1月31日 水野高明総長の辞職にともない、教育学部原俊之教授が総長事務取扱に就任。
- 2月15日 仮センター用建物契約締結（旧九電総合研究所）。
- 2月17日 仮センター用建物改装開始。
- 2月28日 大型計算機システム一式搬入完了。
「中核派」の学生が、事務局および学部を封鎖（3月3日解除）。
- 3月7日 九電総合研究所跡仮設センターにて計算機システム稼働開始。
- 3月11日 評議会で、原総長事務取扱の辞任および井上法学部長の総長事務取扱就任を承認。
- 3月18日 3月17日付け文部省官房長名の、井上教授の言動に関する照会文書を受理。
- 3月25日 評議会で文部省からの井上教授の言動に関する照会文書に対して、このような照会には応じ得ず、また遺憾である旨回答することを決定。
- 4月17日 第6回設置準備委員会。
内容：仮設センターについて、決算報告、予算について。
第2回大型計算機センター運営委員会。
内容：センター開設について、決算報告、予算について。
西利協総会。
内容：九大仮設センター開設報告（経緯、組織）。
- 4月18日 大学制度委員会が発足（委員長：辻節三教授）。
- 4月25日 「反帝学評」の学生が文科系学部本館を封鎖（5月2日解除）。
- 4月26日 「反帝学評」の学生が事務局および学生部を、医学部自治会の学生が医学部、附属病院、歯学部、附属病院の事務室をそれぞれ封鎖（4月28日解除）。
- 5月2日 調査委員会は1月5日の機体引き降ろし事件に関する調査結果を評議会に報告、同時に学内に公表。
- 5月20日 文学部の学生大会で無期限のバリケード・ストライキを決議。文学部の建物を封鎖。
評議会で、井上正治法学部長の総長事務取扱（未発令）辞任を承認。
- 5月22日 「大学法案に関する全学教官集会」を記念講堂において開催。
教育学部の学生大会で、無期限ストを決議、研究室、事務室を封鎖。
- 5月24日 原俊之教育学部長の総長事務取扱辞任に伴い、問田直幹医学部長が総長事務取扱に就任。
- 5月28日 清水浩教授、西利協会長に就任。
- 6月1日 大型計算機センター利用負担金徴収開始。
- 6月2日 米軍機が大型計算機センターに墜落して1周年、この日問田総長事務取扱を先頭に、教職員、学生が「板付基地撤去」の市中デモを行う。
- 6月3日 井上正治法学部長の総長事務取扱の未発令問題について、医学部教授会が医学部学生自治会と交渉、確認書に署名。
- 6月4日 教養部構内で「全共闘」系学生と社会体制研究会の学生が乱闘、数名が負傷。
- 6月18日 「青医連」が医学部附属病院第1外科研究棟を封鎖。
- 6月25日 「医学部学生スト実行委員会」の学生が医学部、医学部附属病院、歯学部、歯学部附属病院の各事務室を封鎖。
- 6月26日 「反帝学評」の学生が、事務局および学生部を封鎖。
- 6月28日 「教養部闘争委員会」系の学生が、教養部本館を封鎖。

- 7月1日 「経済学部大学院スト実行委員会」の学生が、附属図書館を封鎖（8月10日解除）。
- 7月4日 「工学部共闘会議」の学生が工学部本館、「文、育、法、経学部共闘会議」の学生が、法学部をそれぞれ封鎖。
- 7月14日 「反帝学評」を中心とする学生が経済学部を封鎖。
- 7月17日 大型計算機センターの被害調査について公示。
- 8月4日 「教養部闘争委員会」系の学生が教養部2号館、3号館を封鎖。
- 8月14日 問田直幹医学部長の総長事務取扱辞任に伴い、谷口鉄雄文学部長が総長事務取扱に就任。
- 8月18日 大型計算機センターの被害調査を試みたが、一部学生の妨害によって中止。
- 9月4日 西利協総会
内容：九大センター事情聴取、西利協として今後とるべき態度について。
- 10月2日 教養部教官会議に「教養部闘争委員会」系の学生が大衆団交を強要、二人の評議員を約30時間にわたって拘束。
- 10月4日 大学制度委員会が「中間報告」を公表。
- 10月14日 封鎖建物の解除および大型計算機センター再建の妨害排除のため、機動隊の出動を要請、午前6時、各キャンパスの封鎖建物をつぎつぎと解除、教養部本館に立てこもっていた学生16名を含めて34名の学生が逮捕された。墜落米軍機は米軍の委託を受けた業者の手により学外へ強制撤去。
- 10月16日 ヘルメット着用の学生、「青医連」、「基無研連」等約100名が医学部構内をデモ、一部の学生が機動隊と衝突し51名が逮捕された。
- 10月20日 教養部田島寮の令状捜査。
- 10月22日 教養部本館を学生へ公開。「教養部闘争委員会」系の学生が構内デモ、駐留中の機動隊と衝突。
- 10月27日 大型計算機センターの被害調査実施（～11月4日）。
- 11月7日 第13代学長に入江英雄医学部教授が就任。
- 11月13日 記念講堂で教養部学生大会、スト解除等を決議、「全共闘」系学生約300名が会場へ突入をはかり、学友会系学生34名が負傷。大学は機動隊の出動を要請。
- 11月25日 記念講堂で再度教養部の学生大会、スト解除決議。
- 12月25日 大型計算機センター建築工事再開。
- 1970年（昭和45年）**
- 2月20日 大型計算機センター第3回運営委員会。
内容：センター現況、センター関係規則、移転について。
- 3月31日 大型計算機センター建物完工。
管理部門仮設センターより移転。
- 4月1日 文部省令第6号により大型計算機センター設置。
計算機移設。（調整、フィールドテスト）
大野克郎教授（工学部）、センター長に就任。
有田五次郎講師、次長に就任。
景川耕宇講師、研究開発部長に就任。
- 5月8日 大型計算機センター開所式。
第7回設置準備委員会と第4回大型計算機センター運営委員会を合同で開催。
内容：設置準備委員会の解散について、センター開設について。
- 8月7日 第5回大型計算機センター運営委員会。
- 8月末 機器構成変更（磁気コア32KW、磁気ドラム1台、XYプロッタ1台増）により主記憶装置160KWになる。
- 12月 TSS実験開始、学外端局が九工大、福岡教育大など18局に設置される。
- 12月4日 第6回大型計算機センター運営委員会。
- 1971年（昭和46年）**
- 3月 機器構成変更、ファイル装置が增強される。

- 4月1日 負担金改定。
T S S 端局が21局となる。
- 5月28日 第7回大型計算機センター運営委員会。
- 6月 T S S による本格的実験の開始。
- 11月 ジョブ問合せ装置による問合せサービスの開始。
- 11月29日 第8回大型計算機センター運営委員会。
- 1972年(昭和47年)
- 4月1日 高田勝教授(工学部), センター長に就任。
景川講師, 次長に就任。
松尾文碩講師, 研究開発部長に就任。
- 5月 T S S の一部(リモート・バッチ)正式運用開始。
- 6月9日 第9回大型計算機センター運営委員会。
- 11月27日 第10回大型計算機センター運営委員会。
- 1973年(昭和48年)
- 2月27日 第10回西利協総会。
- 3月 機器構成変更。
- 4月1日 負担金改定。
T S S の全面運用開始。
- 5月 九州工業大学の計算機システム(O K I T A C 4300)とセンターとの
2400 bps回線による結合。
- 6月12日 第11回大型計算機センター運営委員会。
- 12月3日 第12回大型計算機センター運営委員会。
将来計画検討小委員会の設置。
- 1974年(昭和49年)
- 2月25日 第11回西利協総会。
- 4月1日 高田教授, センター長に再任。
大里新太郎氏, 事務長に就任。
グラフィック・ディスプレイ装置の稼働開始。
- 6月11日 第13回大型計算機センター運営委員会。
- 9月1日 F A C O M 230-60システムよりF A C O M 230-75システムに機
種を変更。ファイル装置の増強により主記憶256KWになる。
- 11月14日 カードリーダーのオープン運用開始。
- 12月10日 第14回大型計算機センター運営委員会。
- 1975年(昭和50年)
- 2月25日 第12回西利協総会。
- 3月 機器構成の変更, 通信制御装置の増強。
主記憶448KWになる。
- 4月1日 新しいオペレーティングシステムMonitorVIIによる計算サービス開始。
山口大学の計算機システム(F A C O M 230-28)と2400 bps, 愛媛
大学の計算機システム(F A C O M 230-28)と4800 bps回線による
センターとの結合。
大野教授, 西利協会長に就任。
T S S 交換回線(300 bps)サービス開始。
- 6月4日 「センターへの苦情を聞く会」開催。
- 7月11日 第15回大型計算機センター運営委員会。
- 10月1日 負担金改定。
九州大学基礎情報学研究施設の計算機システム(F A C O M U-200)
とセンターとの2400 bps回線による結合。
- 10月6日 X Y プロッタの運用方法の変更。
- 10月30日 機器構成の一部変更。
- 11月29日 第16回大型計算機センター運営委員会。

1976年（昭和51年）

- 2月27日 第13回西利協総会.
- 4月1日 田町常夫教授（工学部），センター長に就任.
前田清晴氏，事務長に就任.
- 7月16日 第17回大型計算機センター運営委員会.
次期システム検討委員会が，センター長の委嘱により設置される。（委員：
13名）
- 9月 機器構成の一部変更.
- 11月 大容量記憶装置の増強，主記憶512KWとなる.

1977年（昭和52年）

- 1月 次期システムの予算（年間借料：4億200万円）内示される.
- 2月15日 次期システムとしてFACOM M-190システムを選定.
第18回大型計算機センター運営委員会.
- 2月28日 第14回西利協総会.
- 4月18日 九州大学情報教育センター設置される.
- 6月30日 第19回大型計算機センター運営委員会.
- 8月20日 センター建物改築工事着工（2階，3階）.
- 9月20日 FACOM 230-75の稼働終了. その後の処理はFACOM M-190システム導入まで，FACOM M-160システム（富士通福岡営業所に設置）で行う.
- 10月4日 M-190システム，センターに設置.
- 10月15日 広報別冊「新システム特別号」刊行.
- 10月29日 M-190システムの公開テスト.（～10月31日）
- 11月1日 FACOM 230-75システムよりFACOM M190システムに機種を変更. 主記憶容量6MB，磁気ドラム容量45MB，ディスクパック容量6000MBとなる. デマンド出力機能等の導入.
- 12月 交換回線（1200bps）のサービス開始.
- 12月2日 第20回大型計算機センター運営委員会.

1978年（昭和53年）

- 1月 九州大学情報処理教育センターの計算機システム（ACOS77）と9600bps，熊本大学の計算機システム（FACOM 230-75）とセンターとの2400bps回線による結合.
- 2月28日 第15回西利協総会.
- 3月 宮崎大学の計算機システム（FACOM 230-38）とセンターとの2400bpsによる結合.
- 4月1日 田町教授，センター長に再任.
利用負担金，ジョブ制限値の一部改定.
出力検索，印字付カードパンチ出力機能の追加.
- 4月22日 新システム披露式.
- 6月1日 福岡市の水不足による給水制限のため，この期間断続的に時間外運転の中止を余儀なくされる.（～10月30日）
- 7月1日 ジョブ制限値の一部改定.
- 7月4日 第21回大型計算機センター運営委員会.
- 12月 I O C 端末によるF S O（Full Screen Option）機能の追加.
- 12月5日 第22回大型計算機センター運営委員会.

1979年（昭和54年）

- 2月27日 第16回西利協総会.
- 4月1日 利用負担金の一部改定.（演算負担金の季節による変動制，E X C P 料金追加等）
- 4月23日 大分大学の計算機システム（FACOM 230-38S）とセンターとの2400bps回線による結合.
- 5月 英小文字のL P 出力サービス.

- 6月23日 T S S 端末展示会開催.
- 6月30日 センター創立10周年記念式典.
- 7月10日 第23回大型計算機センター運営委員会.
- 9月1日 センター建物増築工事. (～1980. 3.31)
- 11月1日 利用負担金を改正. (演算負担金の値下げ)
F A C O M M-200 (2CPU, 10MB)に変更.
- 11月13日 センター規則を改正. (大学院総合理工学研究科設置に伴う, 運営委員の増員)
- 12月7日 第24回大型計算機センター運営委員会.
- 12月20日 データベースのサービス開始. (I N S P E C)

1980年(昭和55年)

- 2月29日 第17回西利協総会.
- 4月1日 加納省吾教授(理学部), センター長に就任.
清水乙明氏, 事務長に就任.
- 5月31日 センター建物増築の記念式典.
- 6月3日 光学文字読取装置(O C R)のサービス開始.
- 6月21日 T S S 端末展示会.
- 7月10日 第25回大型計算機センター運営委員会.
- 10月1日 利用負担金を改正. (カード穿孔を削除)
カード穿孔サービスの廃止.
- 11月5日 F A C O M M-200 (3CPU, 16MB)に変更.
漢字端末および日本語ラインプリンタN L Pのサービス開始.
- 12月9日 第26回大型計算機センター運営委員会.
データベース委員会を設置.

1981年(昭和56年)

- 2月27日 第18回西利協総会.
- 3月18日 統計解析システムS A Sのサービスを開始.
- 4月1日 利用負担金を改正. (ファイルアクセス料金, M S S料金)
大容量記憶装置M S Sのサービスを開始.
田町常夫教授, 西利協会長に就任.
- 7月10日 第27回大型計算機センター運営委員会.
- 7月11日 T S S 端末展示会.
- 7月27日 行政管理庁九州管区行政監察局の行政監察.
- 8月1日 多目的講習室の利用内規を制定.
- 8月 仮想計算機モニタA V Mの運用開始.
- 10月1日 利用負担金を改定. (ネットワーク利用負担金の新設)
- 12月1日 D D Xによる大学間ネットワークのサービスを開始.
- 12月 F A C O M M-200 (3CPU, 24MB)に変更.
- 12月9日 第28回大型計算機センター運営委員会.
公用データベース取り扱い内規を制定.

1982年(昭和57年)

- 2月18日 第19回西利協総会.
- 3月1日 画像処理サービス(グラフィカ1-5000)の開始.
- 3月15日 夜間無人運転システムの運用を開始.
- 3月23日 センター規則を改正. (運営委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期を明記)
- 4月1日 加納教授, センター長に再任.
合屋啓義氏, 事務長に就任.
- 7月8日 第29回大型計算機センター運営委員会.
- 10月1日 利用負担金を改正. (N L Pの図形文字パターン数による課金)
- 10月29日 インテリジェント端末研究会.
- 11月 F A C O M M-200 (3CPU, 32MB)に変更.

- 12月6日 第30回大型計算機センター運営委員会.
- 1983年(昭和58年)
- 2月 C V C F (静止型定電圧定周波電源装置)を導入.
- 3月1日 第20回西利協総会.
- 3月22日 データ通信専用交換機P A C Xの運用開始.
- 4月21日 D D X パケット交換網と特定通信回線および公衆通信回線の相互接続のサービス開始.
- 7月7日 第31回大型計算機センター運営委員会.
- 8月1日 F A C O M M - 3 8 2 (2 C P U, 4 8 M B)に変更.
- 11月4日 データセットの自動バックアップ開始.
- 12月6日 第32回大型計算機センター運営委員会.
- 12月10日 計算機室改修. (~1984. 1. 14)
- 1984年(昭和59年)
- 1月28日 T T Y 端末のフルスクリーン機能(P F D - T T Y)のサービス開始.
- 2月3日 第1回計算機科学研究集会.
- 3月1日 第21回西利協総会.
- 4月1日 吉田将教授(工学部), センター長に就任.
利用負担金を改正. (C P U長時間割引, M S S 使用料)
- 7月20日 第33回大型計算機センター運営委員会.
- 8月 夜間の完全無人運転を開始.
オープンステーション(I N L T, M T等)の夜間開放.
- 8月17日 リモートバッチジョブ(ジョブクラスA)の優先処理.
- 12月6日 第2回計算機科学研究集会.
- 12月7日 第34回大型計算機センター運営委員会.
計算機ネットワーク委員会を設置.
- 1985年(昭和60年)
- 1月1日 利用負担金を改正. (ファイル料, プリンタ料の値下げ)
- 2月21日 第22回西利協総会.
- 4月1日 岩谷正男氏, 事務長に就任.
相良節夫教授, 西利協会長に就任.
- 4月2日 F A C O M M - 3 8 2 (2 C P U, 6 4 M B)に変更.
- 6月17日 F O R T R A N のアドレス拡張機能のサービス開始.
- 7月1日 T S S 交換回線(2400 bps, T T Y 手順)のサービス開始.
- 7月11日 第35回大型計算機センター運営委員会.
- 9月30日 データセットの自動マイグレーション開始.
- 11月27日 第3回計算機科学研究集会.
- 12月6日 第36回大型計算機センター運営委員会.
- 1986年(昭和61年)
- 1月6日 F A C O M M - 3 8 0 S (2 C P U, 6 4 M B) ・ F A C O M V P - 1
0 0 (1 C P U, 3 2 M B)に変更.
カード出力サービスの廃止.
インパクト式L P 出力サービスの廃止.
- 1月22日 機種検討委員会の設置. (次期機種の検討)
- 2月26日 第23回西利協総会.
- 4月1日 相良節夫教授(工学部), センター長に就任.
共通利用番号制を実施.
第二種パケット交換サービスを開始.
- 7月1日 T S S 交換回線で2400 bps(H D L C 手順)のサービス開始.
- 7月7日 第37回大型計算機センター運営委員会.
機種検討委員会の廃止.
- 11月4日 F A C O M M - 3 8 0 S を F A C O M M - 3 8 2 (2 C P U, 6 4 M B)
に変更.

- 11月25日 第4回計算機科学研究集会。
 12月8日 第38回大型計算機センター運営委員会。
- 1987年（昭和62年）
- 1月5日 FACOM M-383（2CPU, 96MB）・FACOM VP-100（1CPU, 128MB）に変更。
 2月25日 第24回西利協総会。
 4月1日 研究開発部に教授定員。（助手定員振替）
 業務掛，第一業務掛と第二業務掛の二掛に分割。
 田端時夫氏，事務長に就任。
 学術情報センター，情報検索サービスを開始。
 牛島和夫教授，西利協会長に就任。
 7月10日 第39回大型計算機センター運営委員会。
 8月18日 FACOM M-780/20（2CPU, 192MB）・FACOM VP-200（1CPU, 128MB）に変更。
 ディスクの増強。（45GBを100GBに）
 画像システム（FIVIS）のサービス開始。
 9月1日 A4版高速NLPのサービスを開始。
 10月1日 利用負担金を改正。（ネットワーク利用負担金の無料化）
 N-1電子メールのサービスを開始。
 M-780によるUTS（UNIX）の運用を開始。
 10月 センター内LANのためのイーサネットケーブルを敷設。
 11月25日 第5回計算機科学研究集会。
 12月17日 第40回大型計算機センター運営委員会。
- 1988年（昭和63年）
- 2月1日 端末分室を設置。（大学院総合理工学研究科，機能物質科学研究所）
 MSSの返却計画に関連し，ディスクの増強。（100GBを160GBに）
 2月5日 学術情報パケット網による大学間ネットワークの運用を開始。
 2月25日 第25回西利協総会。
 3月31日 MSSの返却。
 4月1日 相良教授，センター長に再任。
 出張利用者の旅費支給基準を改正。
 端末分室を設置。（歯学部，薬学部，中央計数施設）
 7月1日 TSS交換回線で9600bps（TTY手順）サービスを開始。
 7月12日 第41回大型計算機センター運営委員会。
 「端末分室の設置及び運営に関する内規」を制定。
 7月25日 中央計数施設の端末分室で，AD交換サービスを開始。
 9月1日 BITNETの電子メールサービスを開始。
 TSS交換回線で9600bps（HDL C手順）サービス開始。
 9月19日 センター内にVP導入のためのワーキンググループを設置。
 9月27日 連絡所における利用者講習会を開催。（VP講習会，於山口大学，～9.28）
 10月1日 利用負担金を改正。（ファイルアクセス，ディスク料金の値下げ）
 11月24日 第6回計算機科学研究集会。
 12月9日 第42回大型計算機センター運営委員会。
- 1989年（平成元年）
- 1月9日 JUNETの電子メールサービスを開始。
 2月7日 次期システム検討委員会を設置。
 2月22日 第26回西利協総会。
 3月 画像処理システムFIVISのグラフィックカメラ装置の導入。
 4月1日 センター規則を改正。（研究開発部長を教授又は助教授とし，次長制を廃止）
 利用負担金を改正。（消費税導入に伴う各区分共通負担金の設置）
 磁気テープライブラリ装置MTL，ISDN対応通信制御装置，カット紙ラ
 インプリンタCLPの導入。

- 5月12日 スーパーコンピュータ導入説明会を開催。
- 6月1日 島崎眞昭氏，センター教授に昇任し，研究開発部長に就任。
- 7月10日 カット紙ラインプリンタ（CLP）のサービス開始。
- 7月13日 第43回大型計算機センター運営委員会。
- 7月17日 計算機の内部コード系のデフォルトを変更。（九大固有コードのデフォルトをInternational EBCDICに）
ジョブ制限値の変更。（FジョブのCPU：最大120分）
- 8月21日 UTS用端末FMR-70の設置。
- 8月22日 端末分室を設置。（経済学部）
- 9月 N1メール，BITNET，JUNET間のメール中継開始。
- 9月18日 端末分室を設置。（教養部）
- 10月 日本語ポストスクリプトプリンタの運用開始。
- 11月10日 センター創立20周年記念懇談会。
- 11月20日 第7回計算機科学研究集会。
- 12月 SUN-3/80（1台）の導入。
- 12月15日 第44回大型計算機センター運営委員会。
- 1990年（平成2年）**
- 1月 ワークステーションSUN-3/80の公開。
ワークステーションG150によるOCRのサービス開始。
- 2月20日 第27回西利協総会。
- 3月 ISDN交換機（1台）の導入。
- 4月1日 牛島和夫教授（工学部），センター長に就任。
青木重仁氏，事務長に就任。
第一業務掛・第二業務掛を，システム運用掛・システム管理掛・ネットワーク掛の三掛に組織替え。
- 4月 機器変更。（磁気ディスクの増強等）
- 6月 Xstation（2台）の導入。
- 7月13日 第45回大型計算機センター運営委員会。
- 7月15日 カラーXウィンドウ端末の設置。
- 9月17日 データセットのアクセス管理を強化。
- 10月1日 利用負担金を改正。（ワークステーション負担金の新設）
- 11月1日 INSネットでのパケット通信によるTSSサービスの開始。
- 11月26日 第8回計算機科学研究集会。
- 12月18日 第46回大型計算機センター運営委員会。
- 1991年（平成3年）**
- 2月22日 第28回西利協総会。
- 3月 ワークステーションSUN-4/2，SUN-4/330の導入。
- 3月末 機器変更。（磁気ディスクの増強等）
VADICモデムによる交換回線のサービス廃止。
- 4月1日 田村英之教授（工学部），西利協会長に就任。
- 4月3日 MHS方式による電子メールサービスの開始。
- 6月1日 PACX経由による300bpsでのサービス廃止。
- 7月 ワークステーションSUN-4/2の導入。（mentat用）
- 7月8日 第47回大型計算機センター運営委員会。
- 9月 汎用機のOSをMSPからMSP/EXに変更。
- 11月22日 第9回計算機科学研究集会。
- 12月12日 第48回大型計算機センター運営委員会。
- 1992年（平成4年）**
- 1月8日 汎用コンピュータシステムFACOM M-780/20をFACOM M-1800/20に変更。
- 2月15日 BITNETによる電子メールサービスの廃止。
- 2月17日 カートリッジ型磁気テープ装置の運用。

- 2月28日 第29回西利協総会.
- 3月1日 利用負担金を改訂. (演算負担金の変更)
- 3月4日 スーパーコンピュータシステムFACOM VP-200をFACOM VP-2600/10に変更.
ジョブクラスと制限値の変更.
- 4月1日 牛島教授, センター長に再任.
- 5月 土曜閉庁に伴う運用時間の変更.
MSPでTELNETサーバ, クライアントの公開.
- 6月1日 ジョブクラスと制限値の変更.
- 7月 電子ニュース(MSP)のサービス開始.
- 7月14日 第49回大型計算機センター運営委員会.
- 10月 MSPでFTPサーバ, クライアントの公開.
- 11月2日 カラープリンタの運用開始.
- 11月27日 第10回計算機科学研究集会.
- 12月14日 ジョブクラスと制限値の変更.
- 12月17日 第50回大型計算機センター運営委員会.
- 1993年(平成5年)**
- 1月5日 スーパーコンピュータによるUXP/M(UNIX)の運用開始.
- 2月19日 第30回西利協総会.
- 4月1日 野田恭一氏, 事務長に就任.
- 4月 九州大学附属図書館OPAC(北部九州地区図書館情報検索システム)との接続.
- 7月14日 第51回大型計算機センター運営委員会.
- 9月30日 電子メールシステムN1MAILの運用停止.
- 10月1日 利用負担金を改定. (カラープリンタ出力, ファイルアクセス)
- 11月25日 第11回計算機科学研究集会.
- 12月14日 第51回大型計算機センター運営委員会.
- 1994年(平成6年)**
- 1月1日 大型計算機センター長, 九州大学総合情報伝達システム運用センター長を兼任
- 1月5日 MSPのジョブ制限値の変更
汎用でSSUサービス開始
UXPのジョブ制限値の変更
- 2月18日 第31回西利協総会.
- 4月1日 並列計算機CM-5のテスト運用開始
- 6月20日 大型計算機センター創立25周年記念式典九州大学総合情報伝達システム完成披露式典と併せ挙行

システム構成の変遷

- I. FACOM 230-60システム (1969年 3月~1974年 8月)
- II. FACOM 230-75システム (1974年 9月~1977年 9月)
- III. FACOM M-190システム (1977年11月~1979年10月)
- IV. FACOM M-200システム (1979年11月~1983年 7月)
- V. FACOM M-382システム (1983年 8月~1985年12月)
- VI. FACOM M-380S, FACOM VP100システム
(1986年 1月~1986年10月)
- VII. FACOM M-382, FACOM VP100システム
(1986年11月~1987年 7月)
- VIII. FACOM M-780, FACOM VP200システム
(1987年 8月~1991年12月)
- IX. Fujitsu M-1800, FACOM VP200システム
(1992年 1月~1992年 2月)
- X. Fujitsu M-1800, Fujitsu VP2600システム
(1992年 3月~)

システム性能の推移

汎用コンピュータ

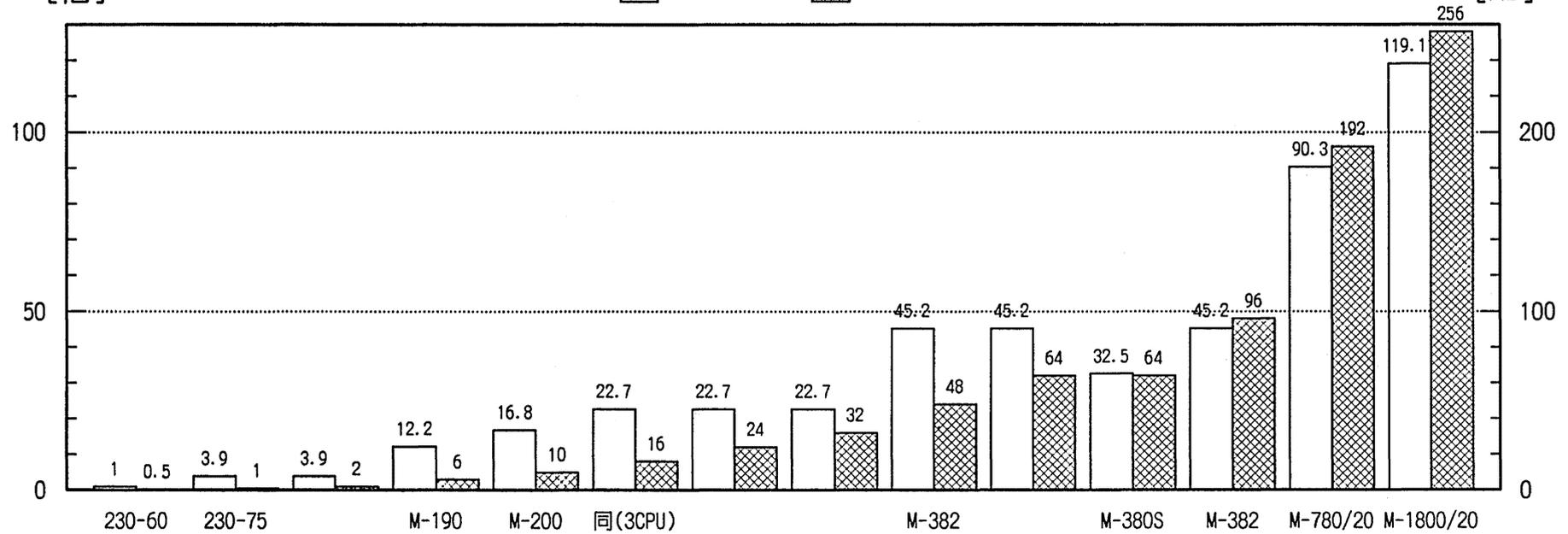
処理速度

主記憶

[倍]

[MB]

□ 処理速度 ▨ 主記憶



中央処理装置

注意：処理速度は、230-60 を 1 とした
Gibson MIX による MIPS値の比率。

システム性能の推移

スーパーコンピュータ

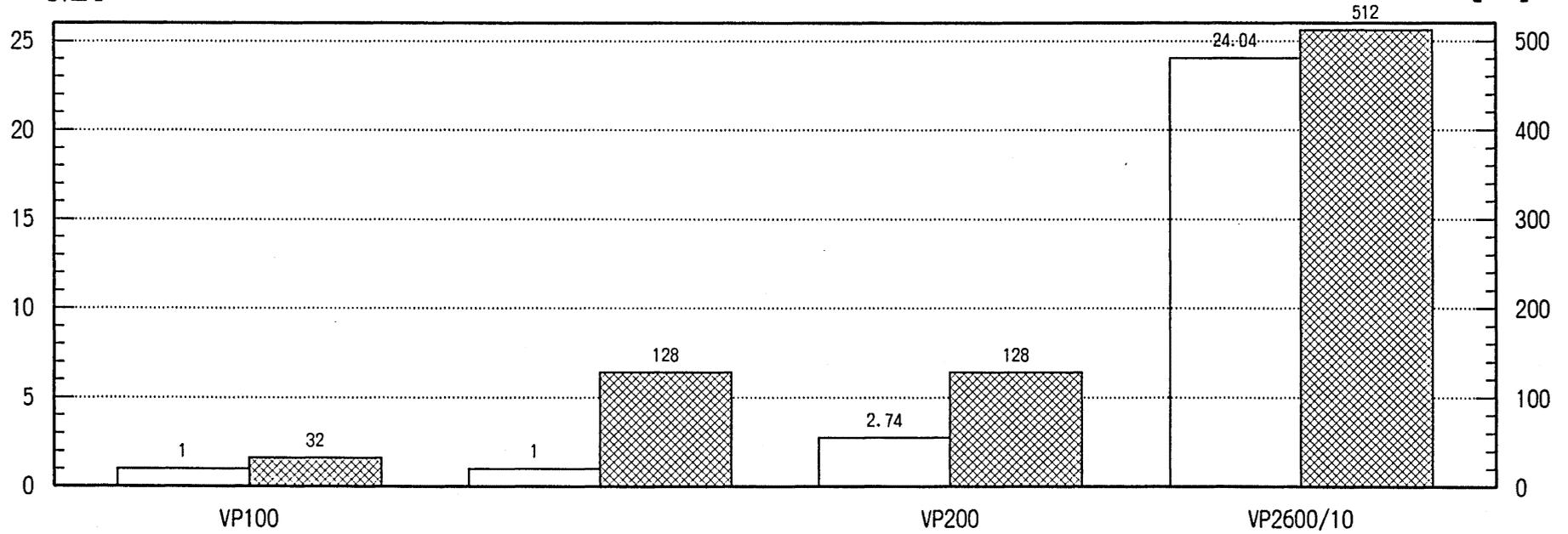
処理速度

主記憶

[倍]

[MB]

□ 処理速度 ▨ 主記憶



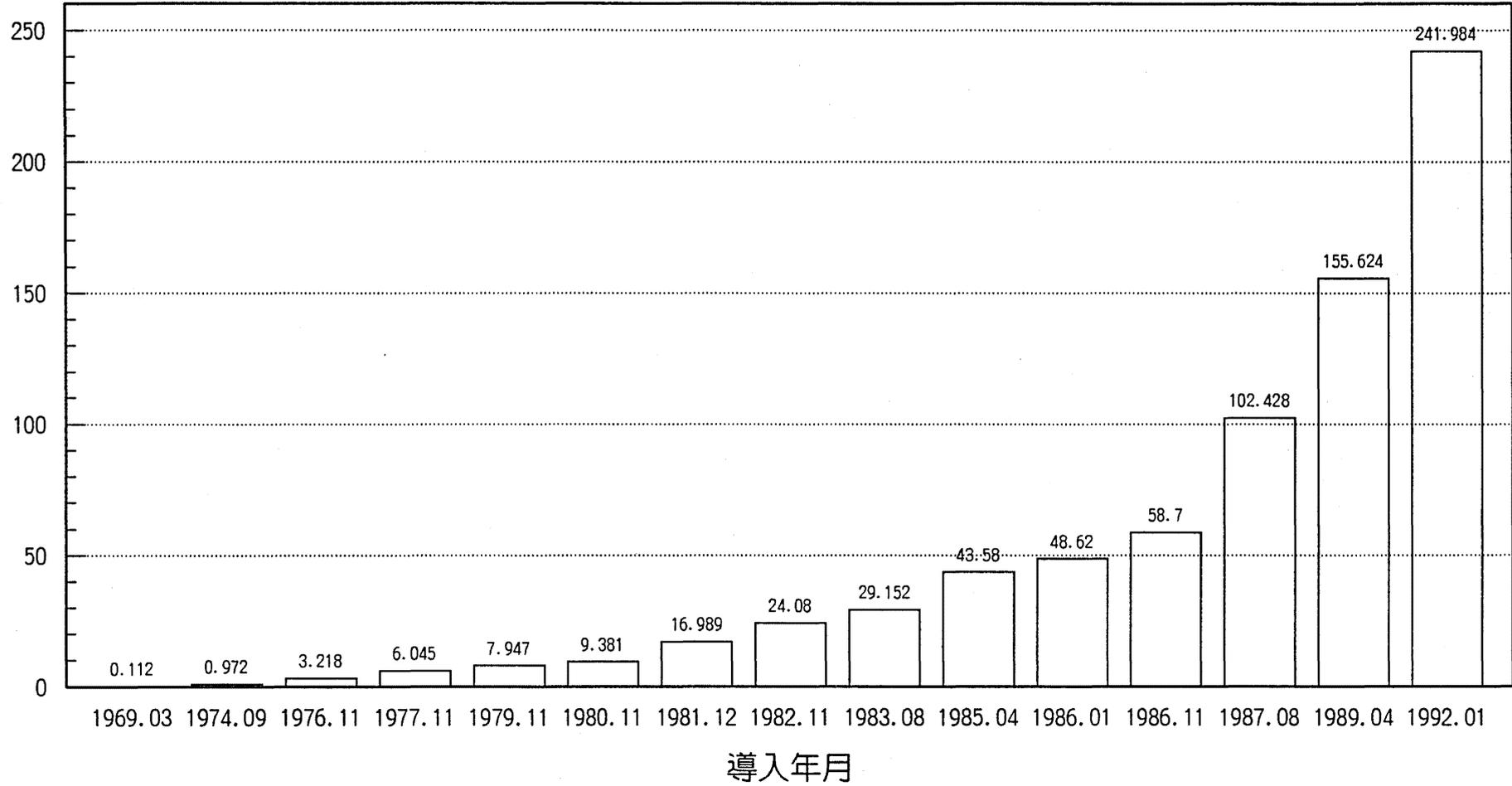
中央処理装置

注意：処理速度は、VP100 を 1 とした
ピーク性能の比率。

システム性能の推移

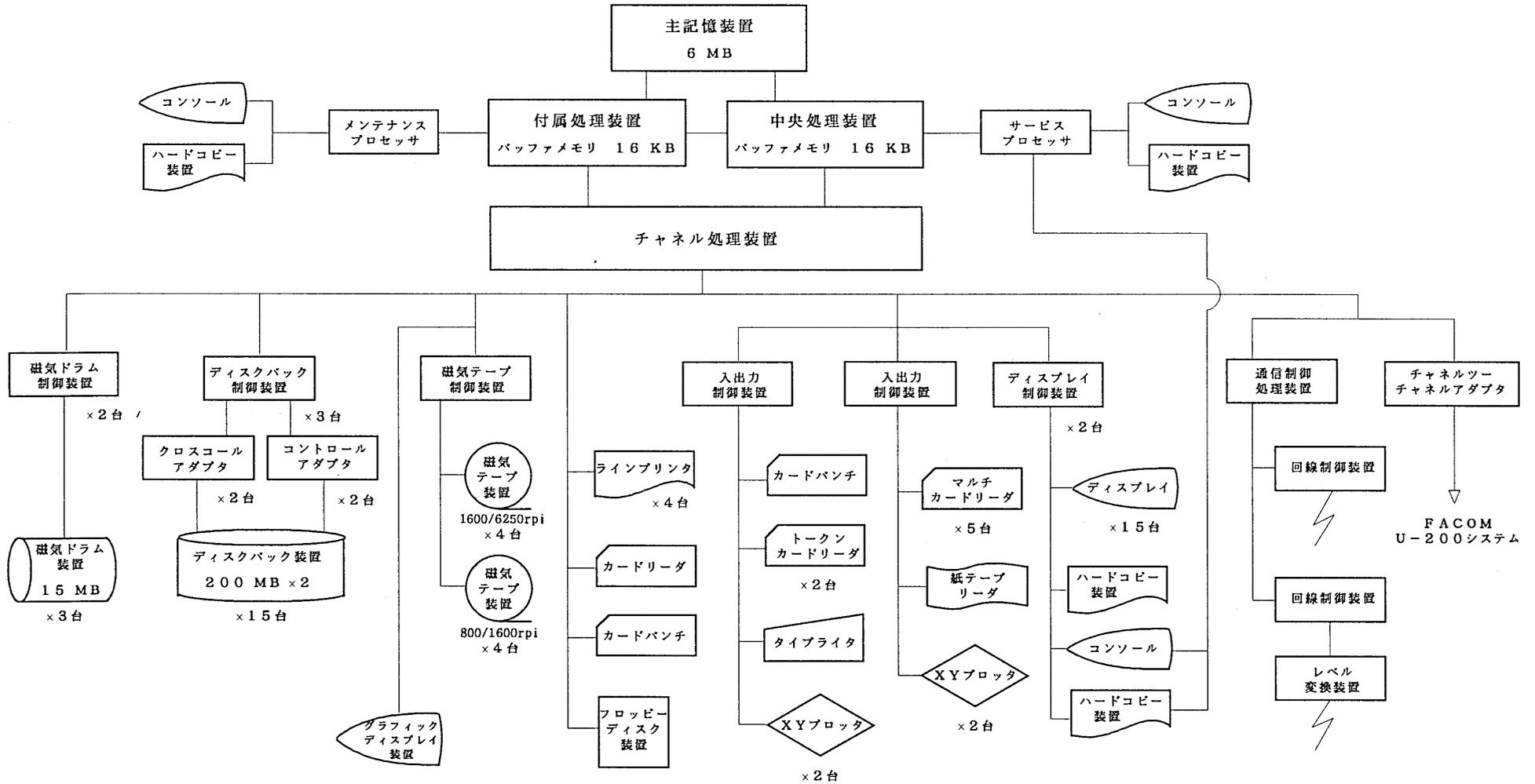
ディスク容量

[*1000MB]



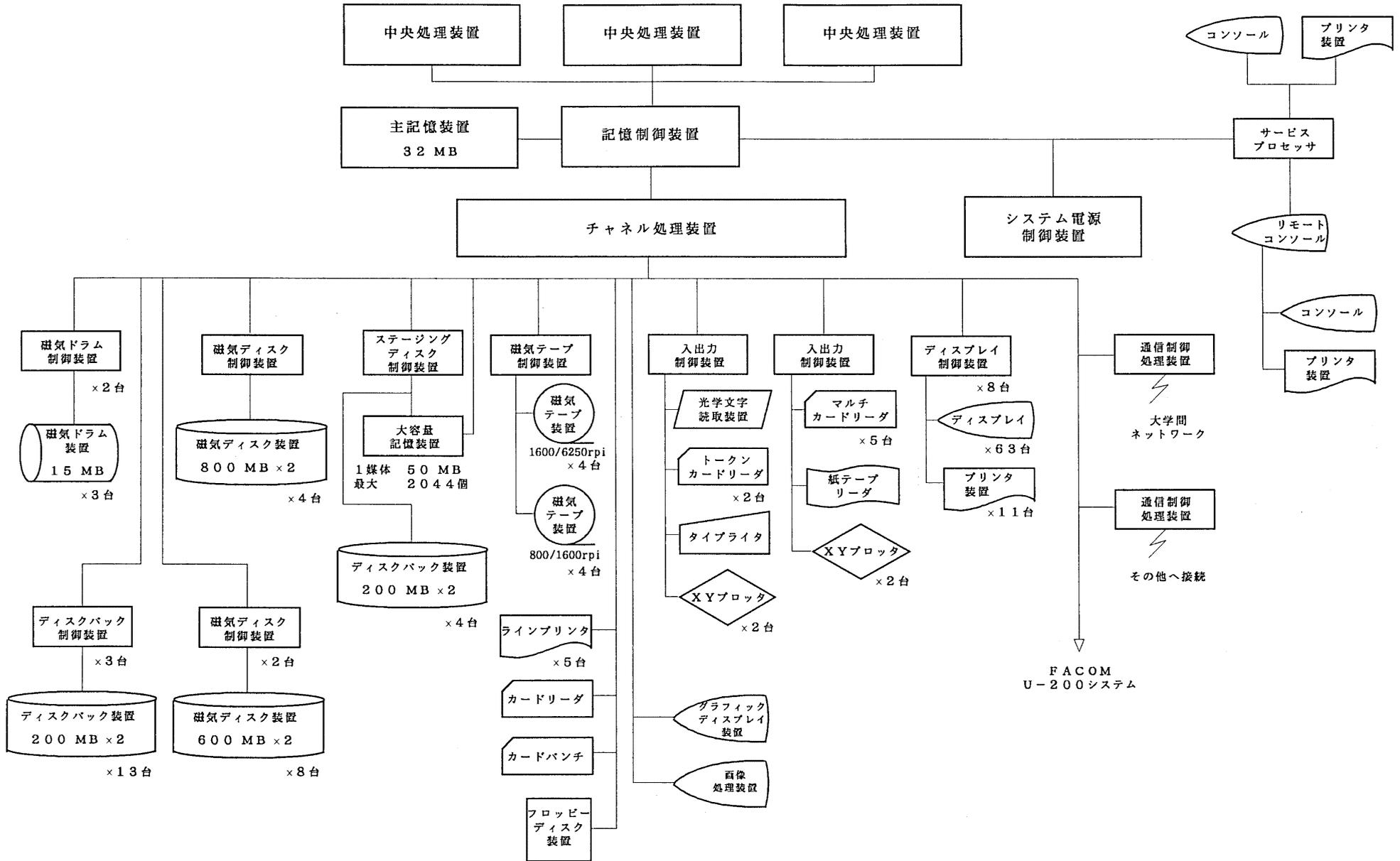
FACOM M-190 システム

(1977年11月~1979年10月)



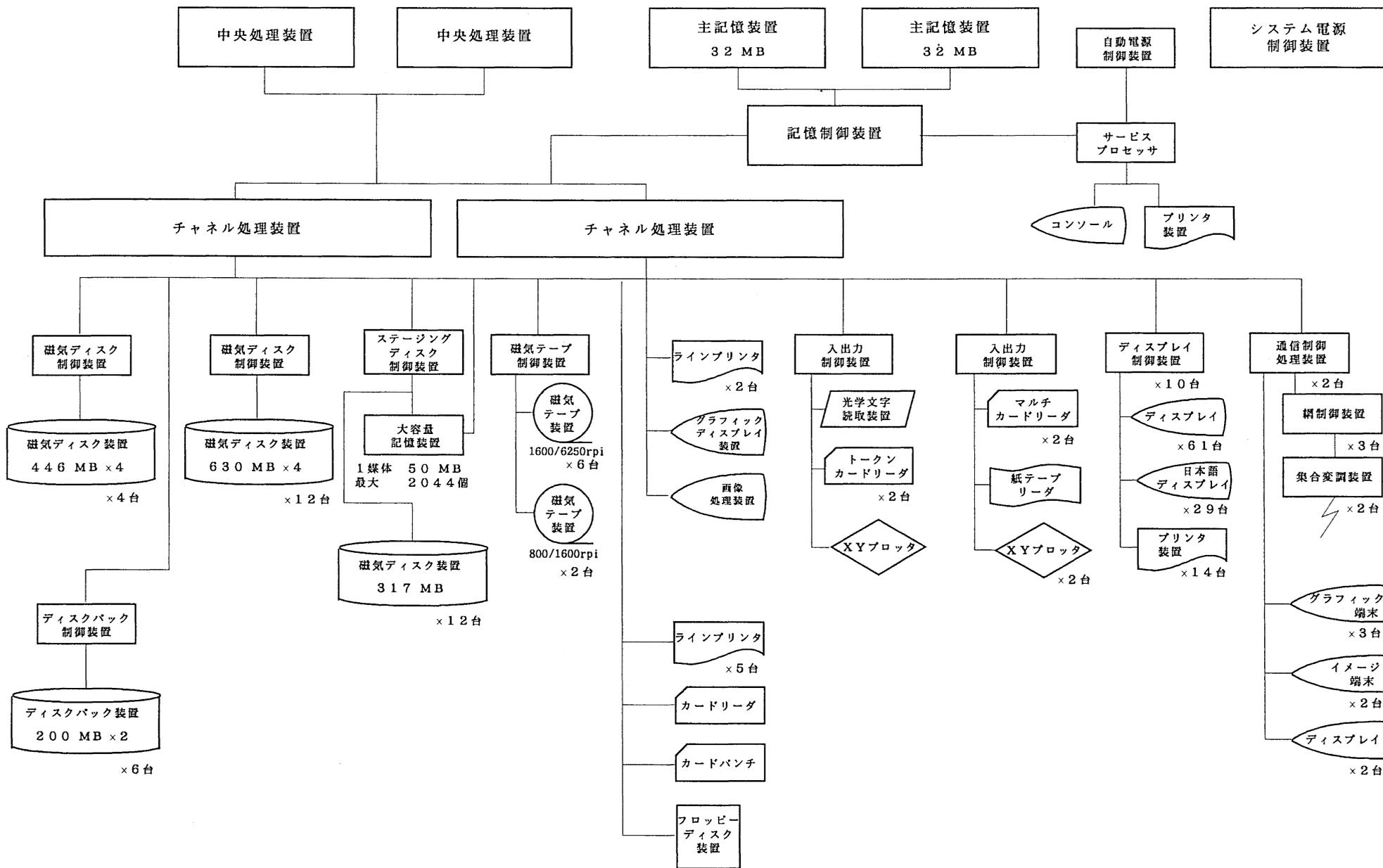
FACOM M-200 システム

(1979年11月~1983年7月)



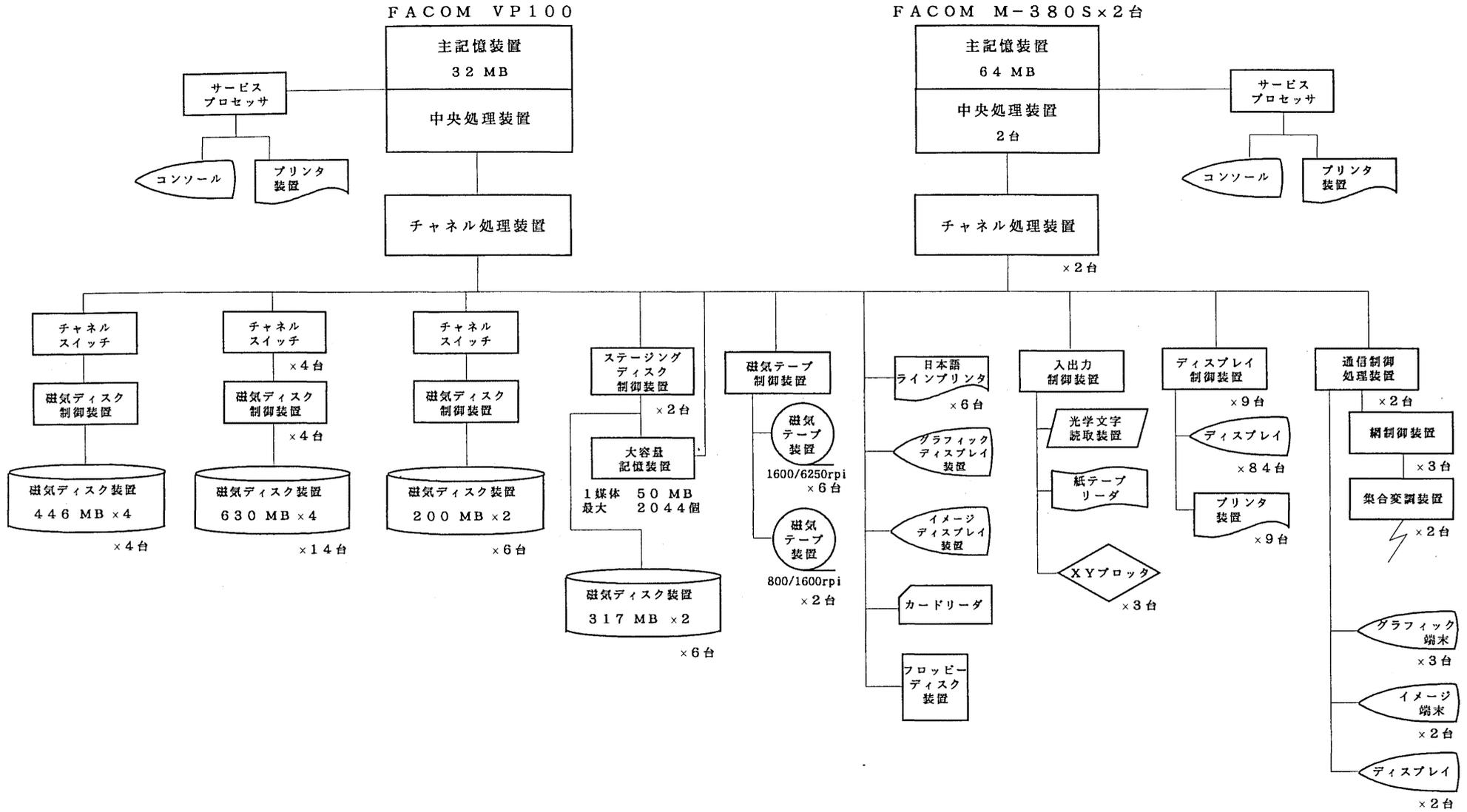
FACOM M-382 システム

(1983年8月~1985年12月)



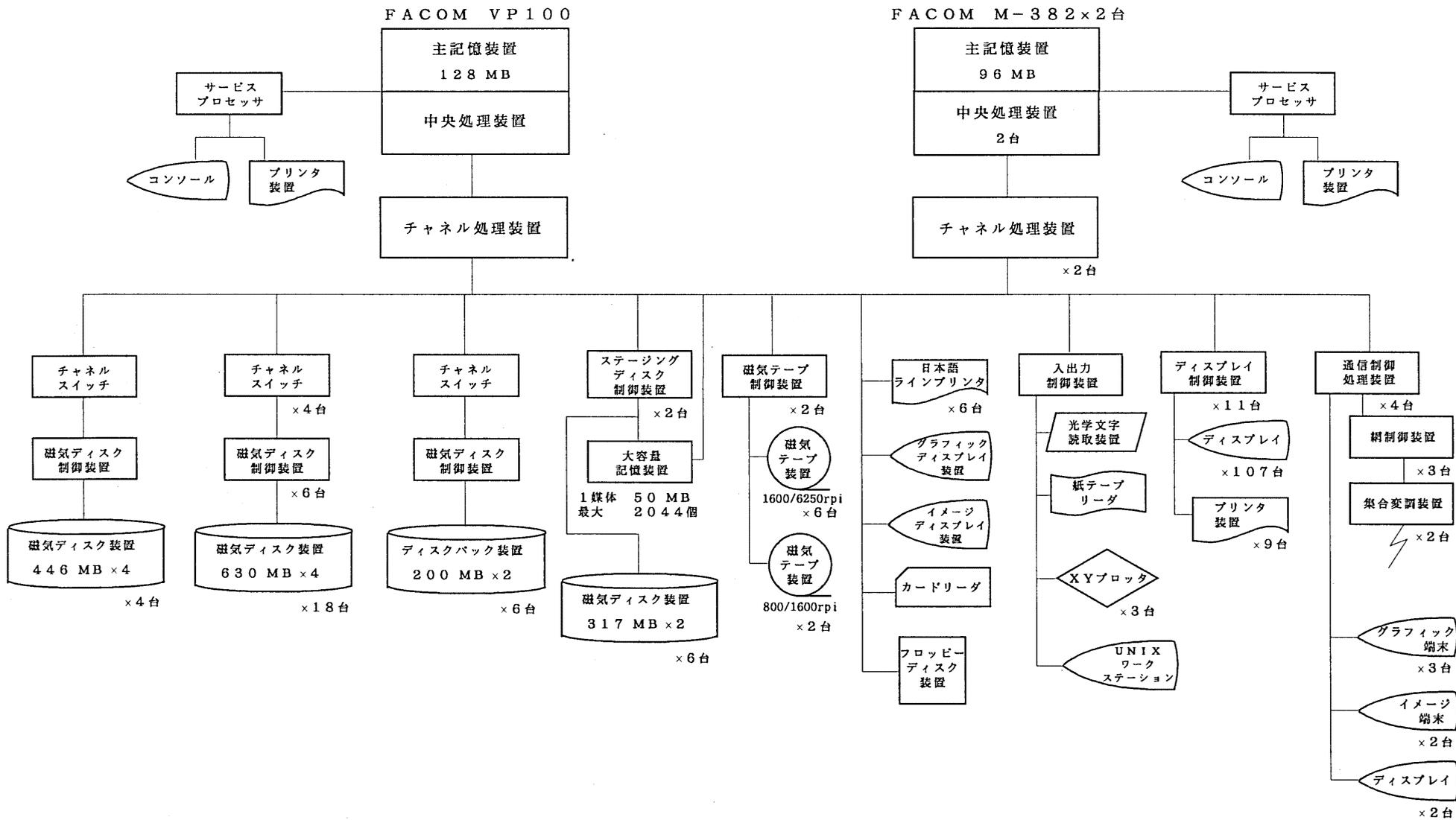
FACOM M-380S, FACOM VP100 システム

(1986年1月~1986年10月)



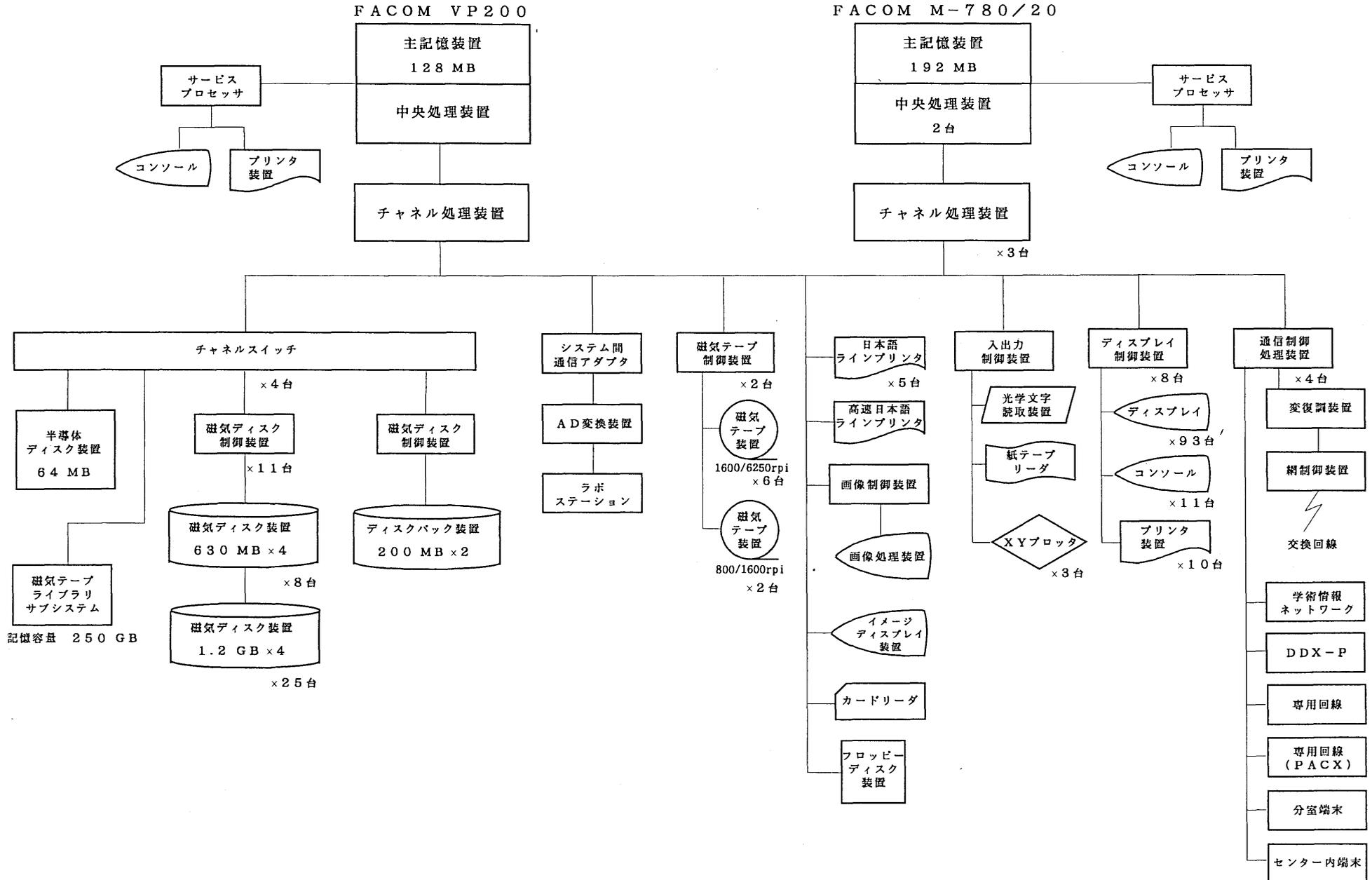
FACOM M-382, FACOM VP100 システム

(1986年11月~1987年7月)



FACOM M-780, FACOM VP200 システム

(1987年8月~1992年3月)

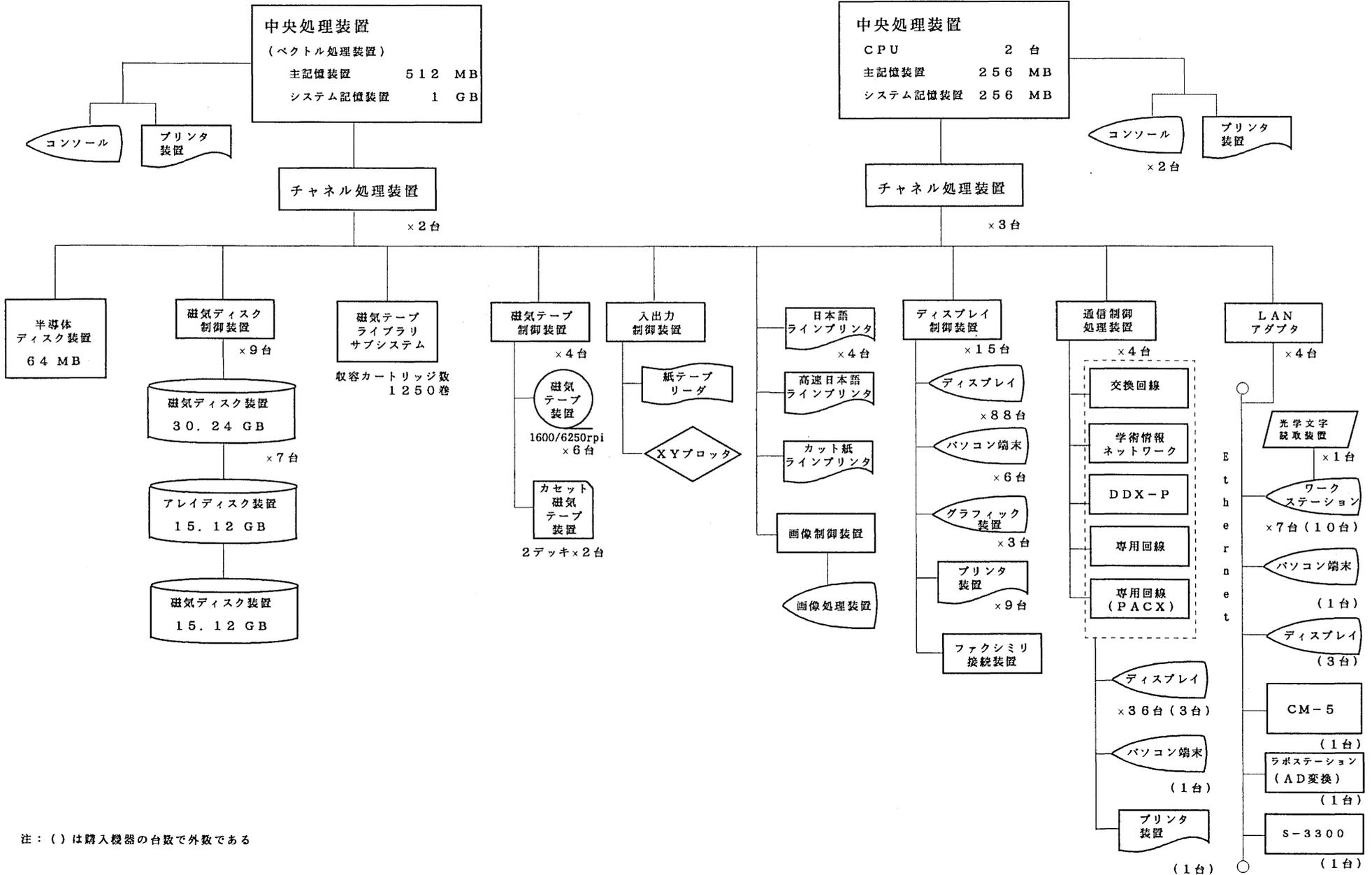


Fujitsu M-1800, Fujitsu VP2600 システム

(1992年3月~)

Fujitsu VP2600

Fujitsu M-1800



注：() は購入機器の台数で外数である

創立10周年以降の運用方式の変更

年	月	内 容
1979	4	汎用OSの変更 OS W/F4 E20C→OSW/F4 E30C 記録密度6250rpiのMTサービス
	5	英小文字のLP出力
	1 1	汎用コンピュータの更新 F A C O M M - 2 0 0 CPU: 2台, 主記憶: 10MB 利用負担金の改訂 演算 (CPU) 負担金の季節による変動制, ファイルアクセス負担金の新設 ジョブ制限値の変更 リージョン, LP出力枚数, EXCP回数等
	1 2	情報検索システムFAIRS-1によるデータベース INSPEC-Cサービス
1980	4	センター建物工事に伴うオープンパソコン室, ターミナル室, オープンステーションの移動について
	5	新FORTRANの FORTRAN77サービス 光学文字読取装置 (OCR: F6312B) のサービス
	8	ジョブ制限値の変更 TSSのリージョン
	1 0	カード穿孔のサービス停止 利用負担金の改訂 カード穿孔負担金を削除 情報検索システムFAIRS-1によるデータベース INSPEC-A, INSPEC-B, INSPEC-J サービス
	1 1	汎用コンピュータ M-200の増強 CPU: 1台 (計3台), 主記憶: 6MB (計16MB) 大容量記憶装置 (MSS: 35GB) の導入 日本語ライブラリ (NLP), 漢字端末のサービス
	1 2	罫線なしプリント用紙の運用 プロッタWX625 (渡辺測器製) のサービス 日本語情報システムJEF のサービス
	1 2	罫線なしプリント用紙の運用 プロッタWX625 (渡辺測器製) のサービス 日本語情報システムJEF のサービス
1981	1	OCRで OCR-Bフォント活字 のサポート PFU-200 による AD変換サービス
	4	利用負担金の改訂 ファイルアクセス料金の値下げ, センター内端末接続時間負担金の新設 MSS (マストレージ) / 日本語プリンタ / WX625プロッタ負担金の新設 ジョブ制限値の変更 リージョン, 出力行数等 利用者貸し出しMSS (マストレージ) のサービス 汎用OSの変更 OS W/F4 E40 (ADF, RACF, PFD等のサポート)
	8	仮想計算機モジュール AVM の運用 単一計算機で複数VMのサポート
	1 0	利用負担金の改訂 ネットワーク利用負担金の新設
	1 2	DDX網による大学間 (N-1) ネットワークの運用 汎用コンピュータ M-200の増強 主記憶: 8MB (計24MB) FORTRAN77の日本語サポート
	1 2	DDX網による大学間 (N-1) ネットワークの運用 汎用コンピュータ M-200の増強 主記憶: 8MB (計24MB) FORTRAN77の日本語サポート
	1 2	DDX網による大学間 (N-1) ネットワークの運用 汎用コンピュータ M-200の増強 主記憶: 8MB (計24MB) FORTRAN77の日本語サポート
1982	3	画像処理装置グラフィカ (I-5000) のサービス 夜間無人運転システムの運用 サービス時間の延長
	4	ジョブ制限値の変更 TSSリージョン

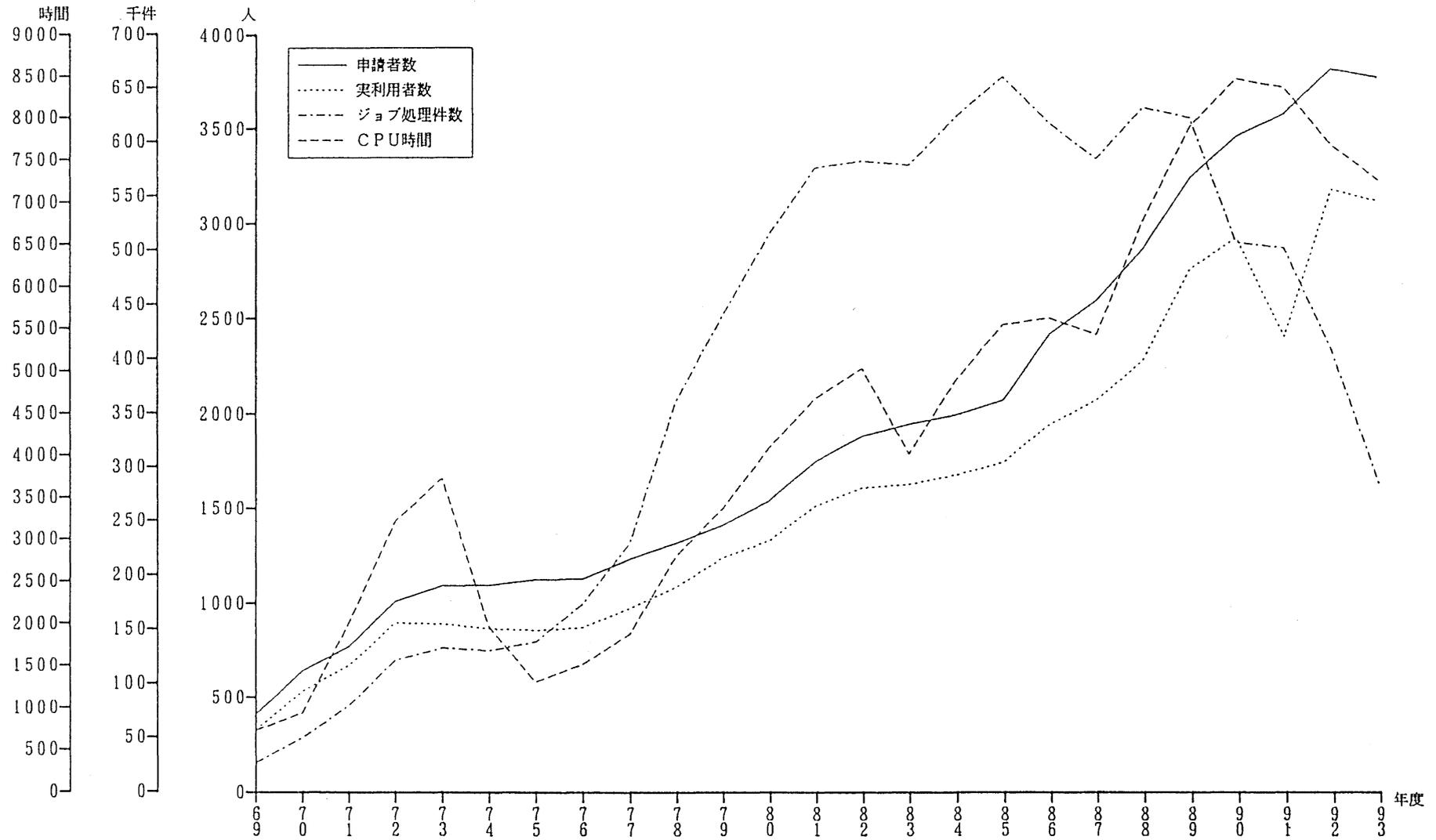
		<p>XY7°ロッタ WX625 のサービス停止</p> <p>1 0 利用負担金の改訂 図形文字パターン数負担金新設 LP出力行数/日本語°リツタ出力/WX625°ロッタ負担金の削除 ジ°ョフ制限値の変更 MTジ°ョフのリ°ジ°ョン/LP枚数等</p> <p>1 1 汎用コンピュータ M-200の増強 主記憶:8MB (計32MB) データ°ベース管理システムAdbisによる CXCB (ケ°フ°リツジ°結晶データ°ベース) のサービス</p>
1983	2	定電圧定周波電源装置の更新 (MG:300KVA→CVCF:400KVA) の導入
	3	データ通信専用交換機 (PACX) の運用
	4	DDXパ°ケット交換網と専用/交換回線の相互接続サービス ジ°ョフ制限値の変更 リ°ジ°ョン, カ°ト°出力枚数等
	7	データ°ベース管理システムSIGMAによる日本語単語辞書, ト°マス°マン°ファイル, DNA塩基配列 GENEDBサービス
	8	汎用コンピュータの更新 FACOM M-382 CPU:2台, 主記憶:48MB
	10	ディスクキャッシュ導入によるファイルアクセスの高速化
	11	MSSヘデータ°セットの自動バックアップ°開始
	12	計算機室改修工事 (12.10~1.14) に伴う負担金値下げ (ディスク/MSS負担金) センター案内・相談支援システムNGUIDE のサービス
1984	1	データ°ベース管理システム AIR による INSPECサービス (AIR → FAIRS-1) TTY端末のフルスクリーン機能 (PFD-TTY) のサービス
	3	MSSの増強 (35GB → 102GB) FORTRAN77 へ統一 (FORTRAN GE/HEのサービス停止)
	4	利用負担金の改訂 CPU段階課金/長時間割引適用 ファイルアクセス/マストレージ°負担金値下げ
	5	汎用OS変更 OS W/F4 E40→OS W/F4 MSP E20 (IDFカタログ°, インテ°ックスVTOCサ°ホ°ト°) 通信管理システムの変更 VTAM-F → VTAM-G 利用通知書の様式変更 封筒による通知をTSSコマ°ト°, 葉書に変更
	8	夜間の完全無人運転 オ°フ°ン室の夜間開放 (NLP, MT, XYP) リモ°トジ°ョフ (ジ°ョフ°クラス A) の優先処理
1985	1	利用負担金の改訂 ディスク/°プリンタ負担金値下げ, カ°ト°入力負担金削除 メモリ多用ジ°ョフ°の実行優先度制御
	3	S-3300 の導入
	4	汎用コンピュータ M-382の増強 主記憶:16MB (計64MB)
	6	FORTRANのア°ドレス拡張機能サ°ホ°ト°
	7	TSS交換回線 2400bps, TTY手順 サービス 国際標準V.22規格モ°デ°ム によるTSSサービス
	9	MSSヘデータ°セットの自動マイグ°レーション°開始
1986	1	汎用コンピュータの更新 FACOM M-380S CPU:2台, 主記憶:64MB スーパーコンピュータの導入 FACOM VP100 CPU:1台, 主記憶:32MB ス°パ°コンピュータ (VP) のOS OSW/F4 VDP

		<p>インパクト式LP, カート出力, トークンカートリッジ等のサービス停止</p> <p>ジョブ制限値の変更 VP導入に伴う変更. リージョン最大18MB等</p> <p>VP導入に伴う FORTRAN77/VP のサービス</p> <p>4 共通利用番号制 (全センター共通の登録番号の発行) の運用開始</p> <p>第二種パケット交換によるTSSサービス</p> <p>7 TSS交換回線で 2400bps, HDLC手順 サービス</p> <p>9 VPのOS変更 VDP → MSP+VPCF</p> <p>1 1 汎用コンピュータの更新 FACOM M-382 CPU: 2台, 主記憶: 64MB</p> <p>1 2 ソフトウェア 名大数学ルーチンパッケージ NUMPAC のサービス</p>
1987	<p>1 汎用コンピュータ M-382の増強 主記憶: 32MB (計 96MB)</p> <p>スーパーコンピュータ VP100の増強 主記憶: 96MB (計128MB)</p> <p>ジョブ制限値の変更 リージョン最大30MB, LP出力, EXCP等</p> <p>バッチジョブ 投入件数の緩和 (8件→20件)</p> <p>4 学術情報センターで情報検索サービス開始</p> <p>COBOL の COBOL85 移行</p> <p>5 N-1ネットワークの学術情報パケット網への逐次移行</p> <p>ジョブ制限値の変更 VPリージョン最大60MB</p> <p>6 C のサービス</p> <p>フルスクリーンNVTユーザ (FNVT) のサービス</p> <p>8 汎用コンピュータの更新 FACOM M-780/20 CPU: 2台, 主記憶: 192MB</p> <p>スーパーコンピュータの更新 FACOM VP200 CPU: 1台, 主記憶: 128MB</p> <p>画像システムFIVIS のサービス</p> <p>グラフィックディスプレイ装置F6233L のサービス停止</p> <p>9 A4版高速NLP のサービス</p> <p>AVMによりM780で UTS (UNIX) の運用開始</p> <p>汎用UTSのOS UTS/M</p> <p>1 0 利用負担金の改訂 ネットワーク利用負担金の削除</p> <p>N-1電子メールのサービス</p> <p>センター内LANのためのイーサネットケーブル敷設</p>	
1988	<p>1 MSPのジョブ制限値の変更 LP枚数, EXCP等</p> <p>2 端末分室設置 機能物質研究所, 総合理工学研究科</p> <p>学術情報パケット網によるN-1ネットワークの運用</p> <p>MSSの代替ディスク60GB (計160GB) の導入</p> <p>3 MSPのジョブ制限値の変更 汎用のリージョン最大90MB</p> <p>4 端末分室 歯学部, 薬学部, 中央計数施設</p> <p>MSS媒体障害頻発のためマストレージの新規貸し出し停止</p> <p>5 MSPのジョブ制限値の変更 VPのリージョン最大90MB</p> <p>MSSのサービス停止</p> <p>7 TSS交換回線で 9600bps, TTY手順サービス</p> <p>中央計数施設の端末分室でF7740ホステーションによるAD変換サービス</p>	

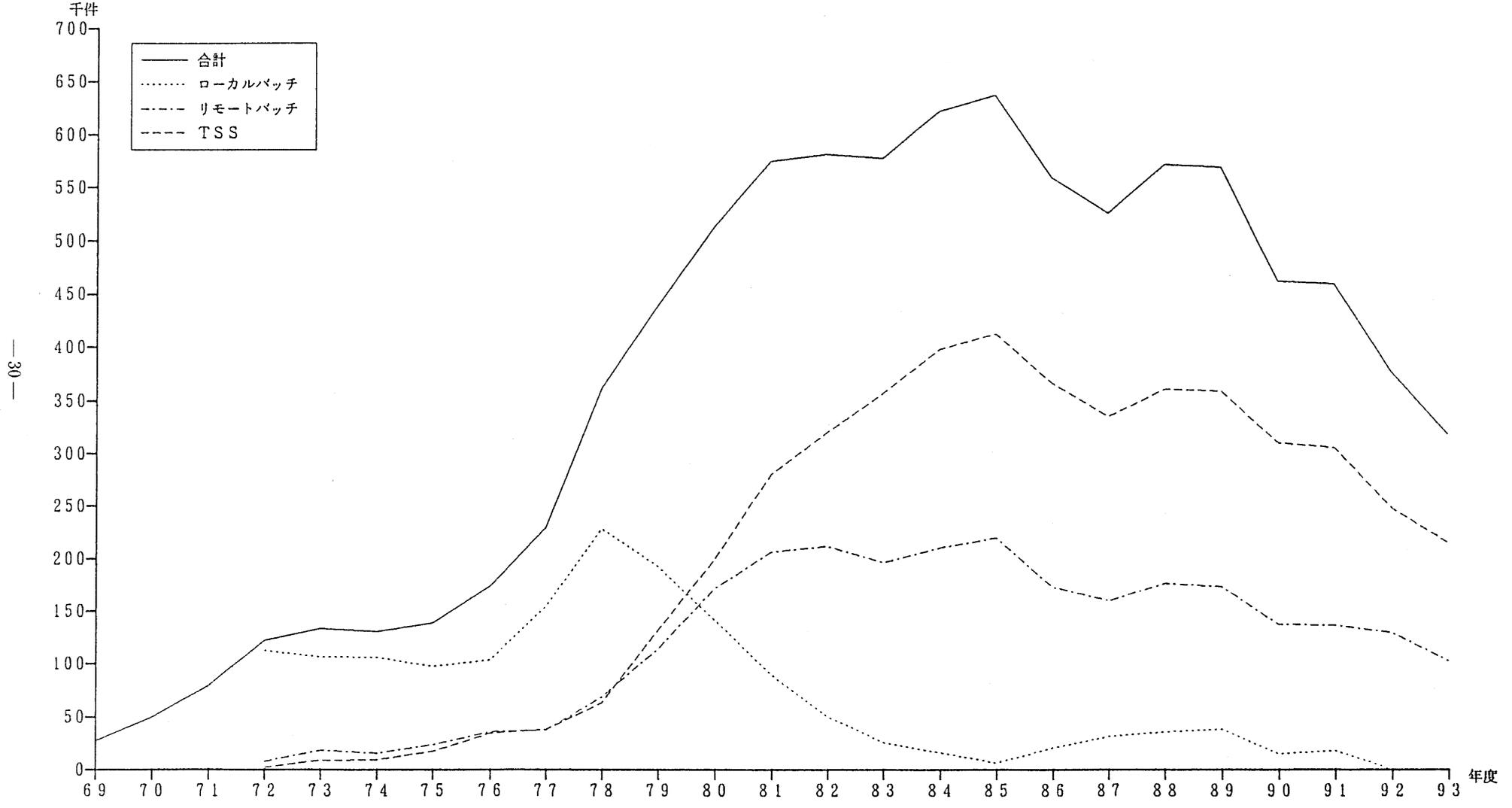
	9	BITNETの電子メールサービス TSS交換回線で 9600bps, HDLC手順サービス
	10	利用負担金の改訂 ファイルアクセス, ディスク負担金の値下げ UTSでの NUMPAC サービス
1989	1	JUNETの電子メールサービス N-1, BITNET, JUNET間のメール中継
	4	利用負担金の改訂 消費税導入に伴う各区分共通負担金の新設 磁気テープライブラリ装置 (MTL: 250GB) の導入 支払い責任者への利用通知書の廃止 MNPモデムによるTSSサービス UTSで X-Window のサービス
	7	カット紙ラインプリンタ (CLP) のサービス MSPの計算機の内部コード系の省略値変更 (International EBCDICに変更) MSPのジョブ制限値の変更 CPU最大120分
	8	端末分室の設置 経済学部
	9	端末分室の設置 教養部
	10	日本語ホストスクリーンプリンタ のサービス
	12	広報, センターニュースの目次等の検索コマンド KOHO のサービス
1990	1	ワークステーション (G-150) による OCRサービス UTSで SUN-3/80 によるメディア変換サービス
	2	ISDN交換機の導入
	6	MTLヘッダセットの自動バックアップ開始
	7	カラーXウィンドウ端末のサービス パソコン通信ソフトのオンラインコピーサービス
	9	MSPのデータセットアクセス権の管理強化 (RACFの更新)
	10	利用負担金の改訂 ワークステーション負担金の新設
	11	INS網による MSP/UTSのTSSサービス ファクシミリ接続装置 (CFCII) によるFAX出力サービス
1991	2	利用者貸し出しMTL (マストレージ) サービス
	4	VADICモデムによる交換回線サービス停止 MHS電子メール のサービス
	9	汎用MSPのOS変更 OS W/MSP (MSP/EX: システム記憶等のサポート)
	11	FORTRANの新コンパイラ FORTRAN77 EX のサービス
	12	カードリーダー, 800rpmMT 等のサービス停止
1992	1	汎用コンピュータの更新 M-1800/20 CPU: 2台, 主記憶: 256MB, システム記憶: 256MB 汎用UTSのOS変更 UTS/M → UXP/M MSPのジョブ制限値の変更 ファイルアクセス
	2	BITNETのサービス停止 カートリッジ型磁気テープ装置 (CMT) のサービス
	3	スーパーコンピュータの更新

	<p>VP 2600/10 CPU:1台, 主記憶:512MB, システム記憶:1GB</p> <p>利用負担金の改訂 汎用とVPのCPU負担金分離, ファイルアクセス負担金の値下げ</p> <p>MSPのジョブ制限値の変更 CPU最大180分, リージョン最大 汎用100MB/VPは200MB等</p> <p>FORTRAN77 EX への統一 (FORTRAN 77のサービス停止)</p> <p>5 MSPのジョブ制限値の変更 VPでシステム記憶 (SSU) のサービス, TSSのファイルアクセス 土曜閉庁に伴う土曜日閉館 (土曜日は無人運転によるTSSサービス)</p> <p>MSPで TELNET等 のTISPサービス</p> <p>7 MSPで実行中ジョブの凍結と再実行 (SAVEHALT機能) 機能による長時間ジョブのサービス</p> <p>MSPで TSSのマルチセッションサポート</p> <p>10 カラープリンタCP-3000 のサービス</p> <p>12 MSPのジョブ制限値の変更 リージョン最大 汎用200MB/VPは300MB</p> <p>繁忙期の計算サービス時間の延長 (月曜日12:30から土曜日17:00まで連続運転)</p>
1993	<p>1 スーパーコンピュータでAVMによる UXP (UNIX) 運用開始</p> <p>VPのUXPのOS UXP/M</p> <p>VPのUXPのジョブ制限値 CPU最大60分, リージョン最大50MB</p> <p>2 データベース管理システムSeep により, UXPで GENEDBをサービス</p> <p>MHSメールのディレクトリサービス</p> <p>3 情報処理データ解析システム (並列計算機) の導入</p> <p>CM-5 ノードプロセッサ:16個, 主記憶:256MB (シンキング・マシンス社)</p> <p>4 九州大学附属図書館の OPACとの接続</p> <p>5 UXPのジョブ制限値の変更 汎用でCPU180分, リージョン64MB (利用者変更可)</p> <p>9 NI-メールサービス停止 MHSメールへの移行</p> <p>10 利用負担金の改訂 カラープリンタ負担金新設, ファイルアクセス負担金の値下げ</p>
1994	<p>1 MSPのジョブ制限値の変更 汎用でSSUサービス開始</p> <p>UXPのジョブ制限値の変更 VPのリージョン最大56MB</p> <p>九州大学総合情報伝達システム KITE 運用開始</p> <p>4 並列計算機 CM-5 のテスト運用開始</p> <p>5 UXPでSUN-4/10によるメディア変換サービス</p>

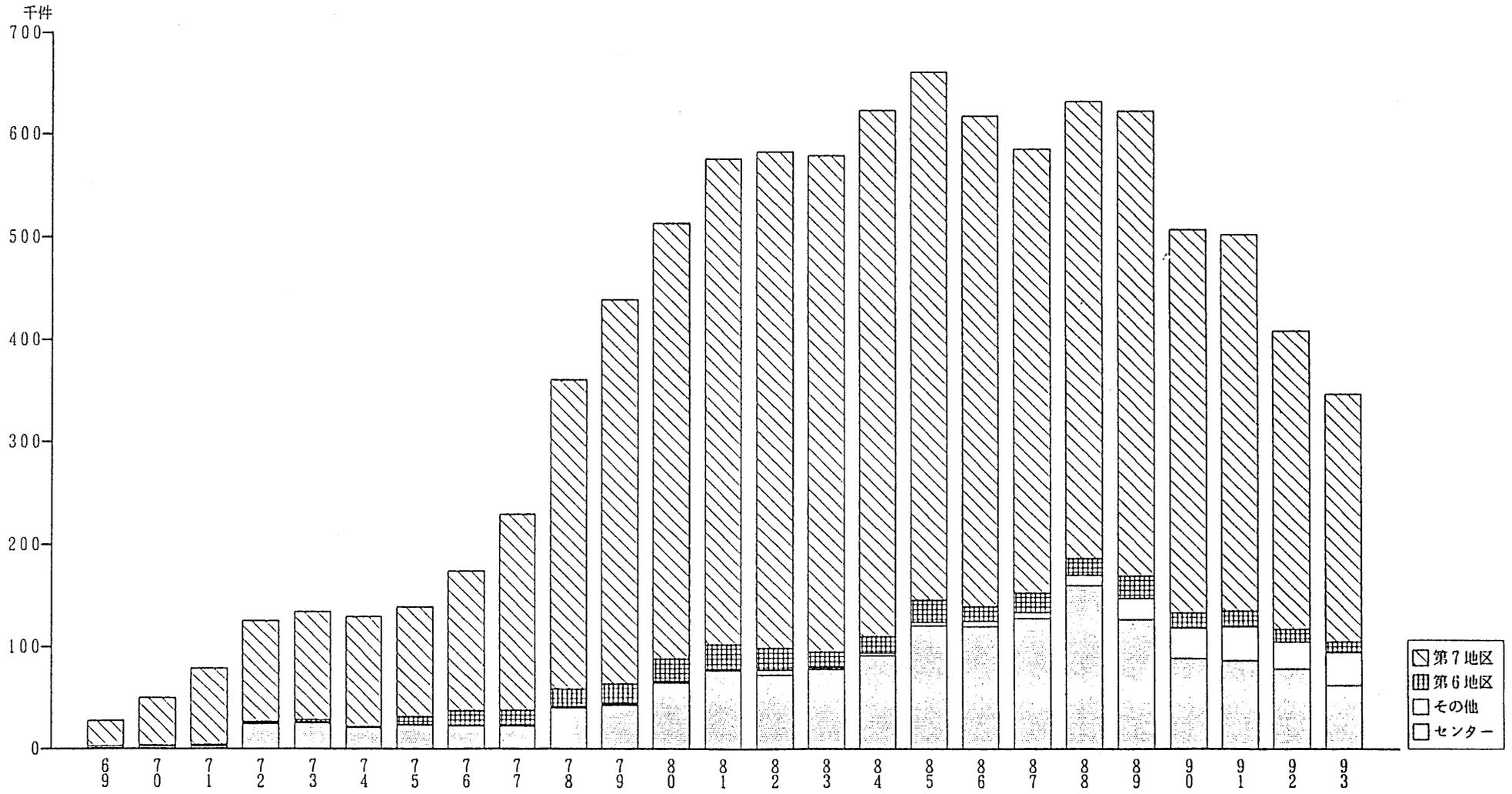
利用者, CPU時間, 処理件数の推移



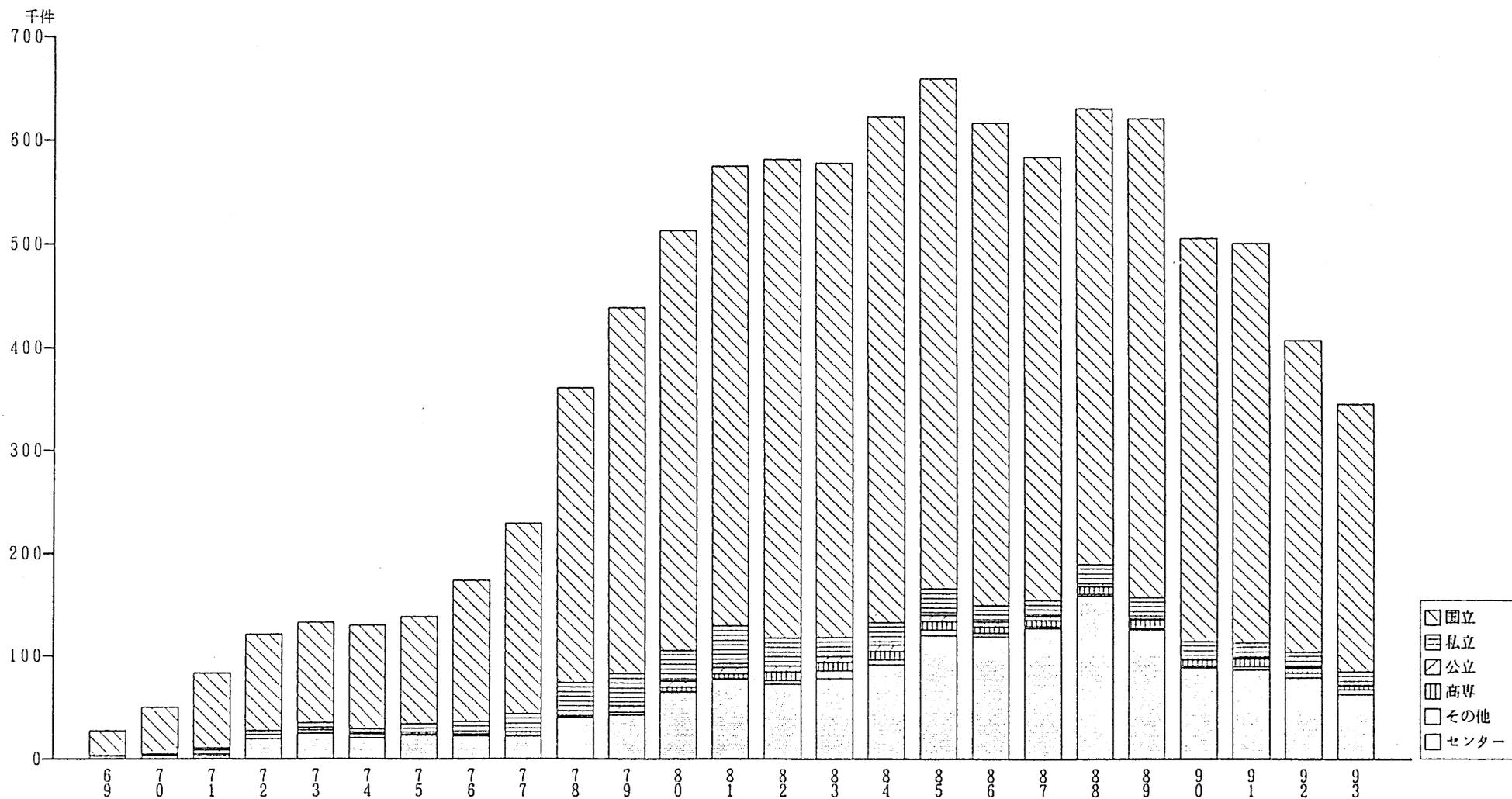
汎用計算機の処理件数の推移（ジョブ区分別）



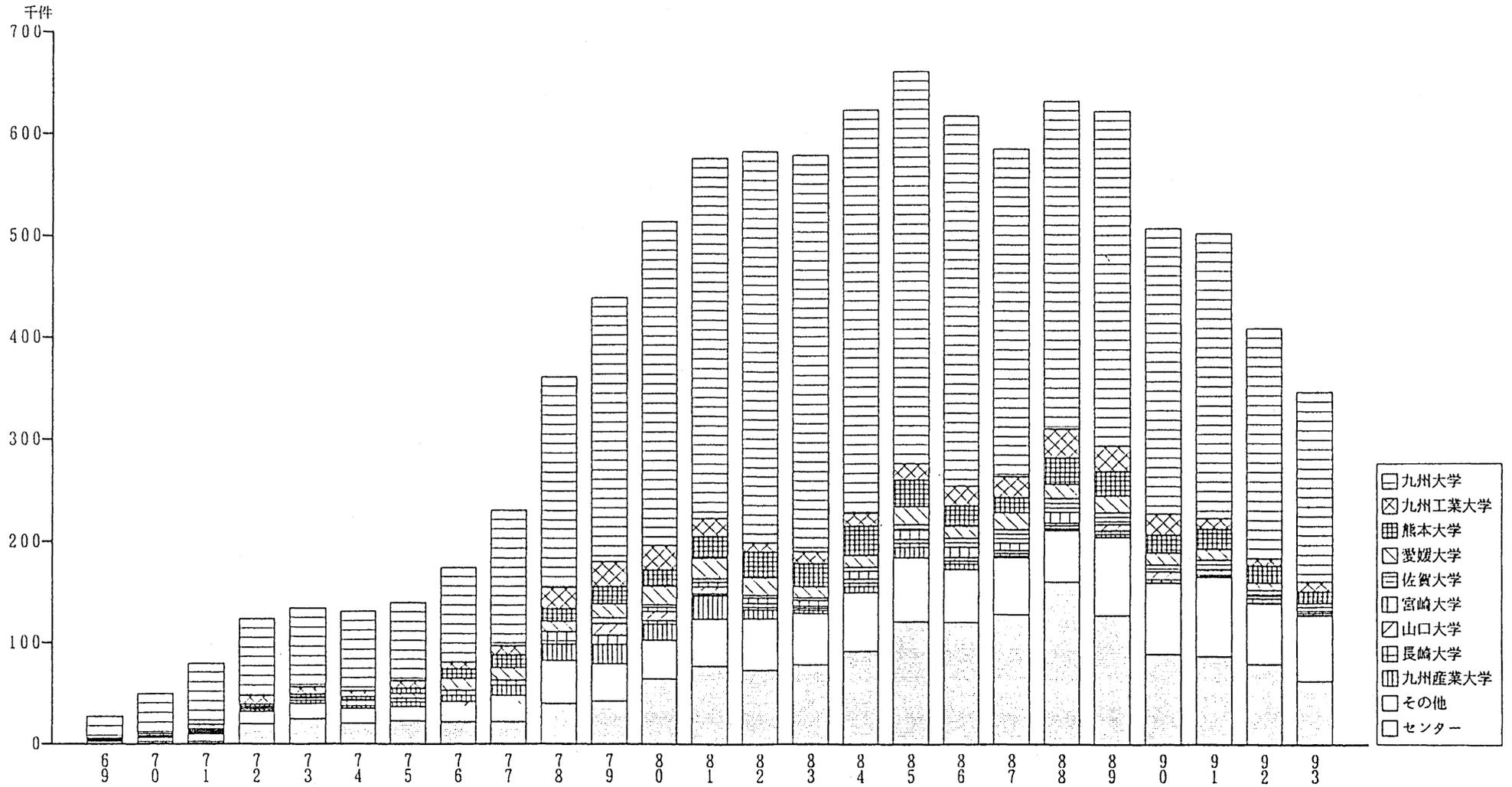
ジョブ処理件数の推移 (地区別)



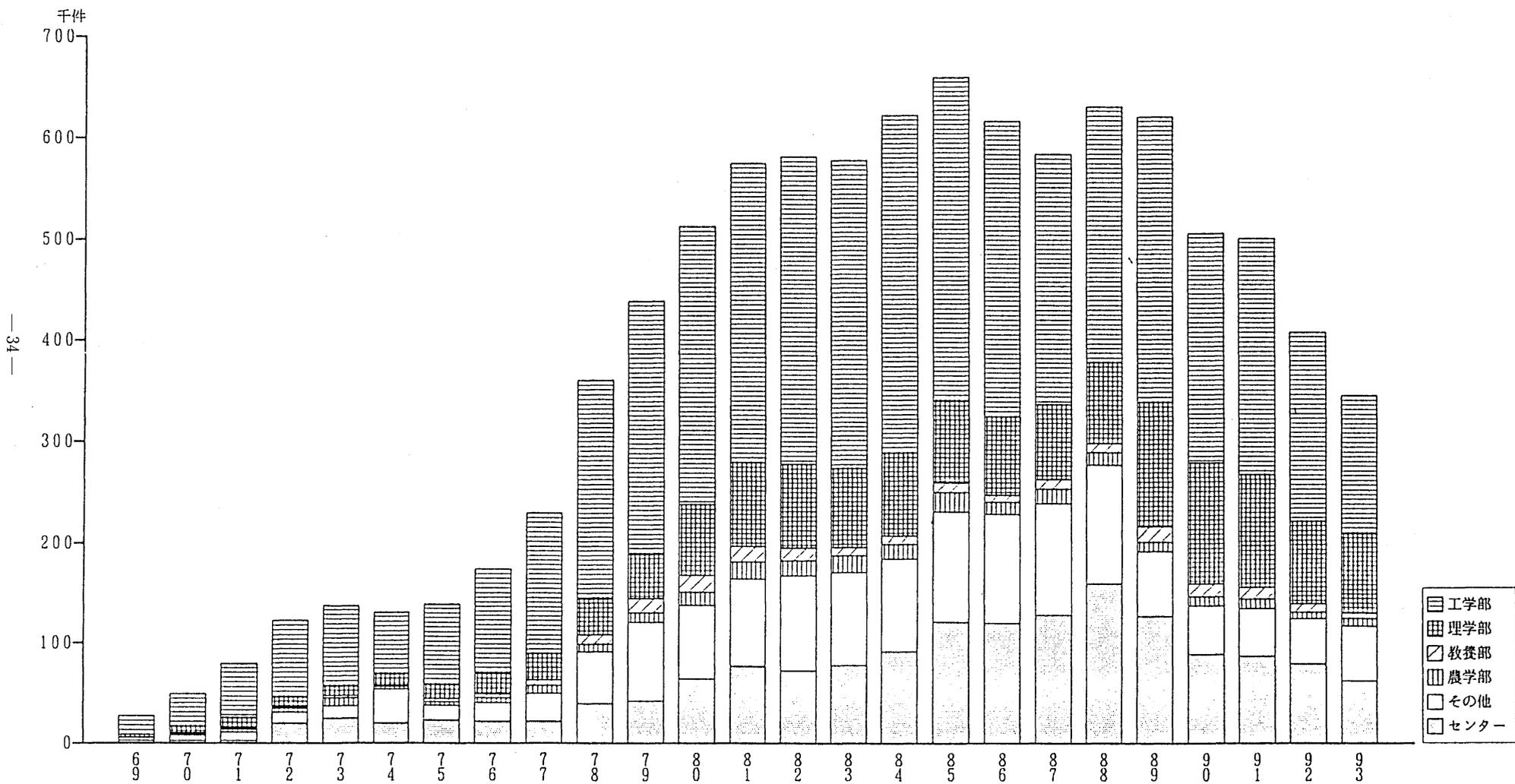
ジョブ処理件数の推移 (学校別)



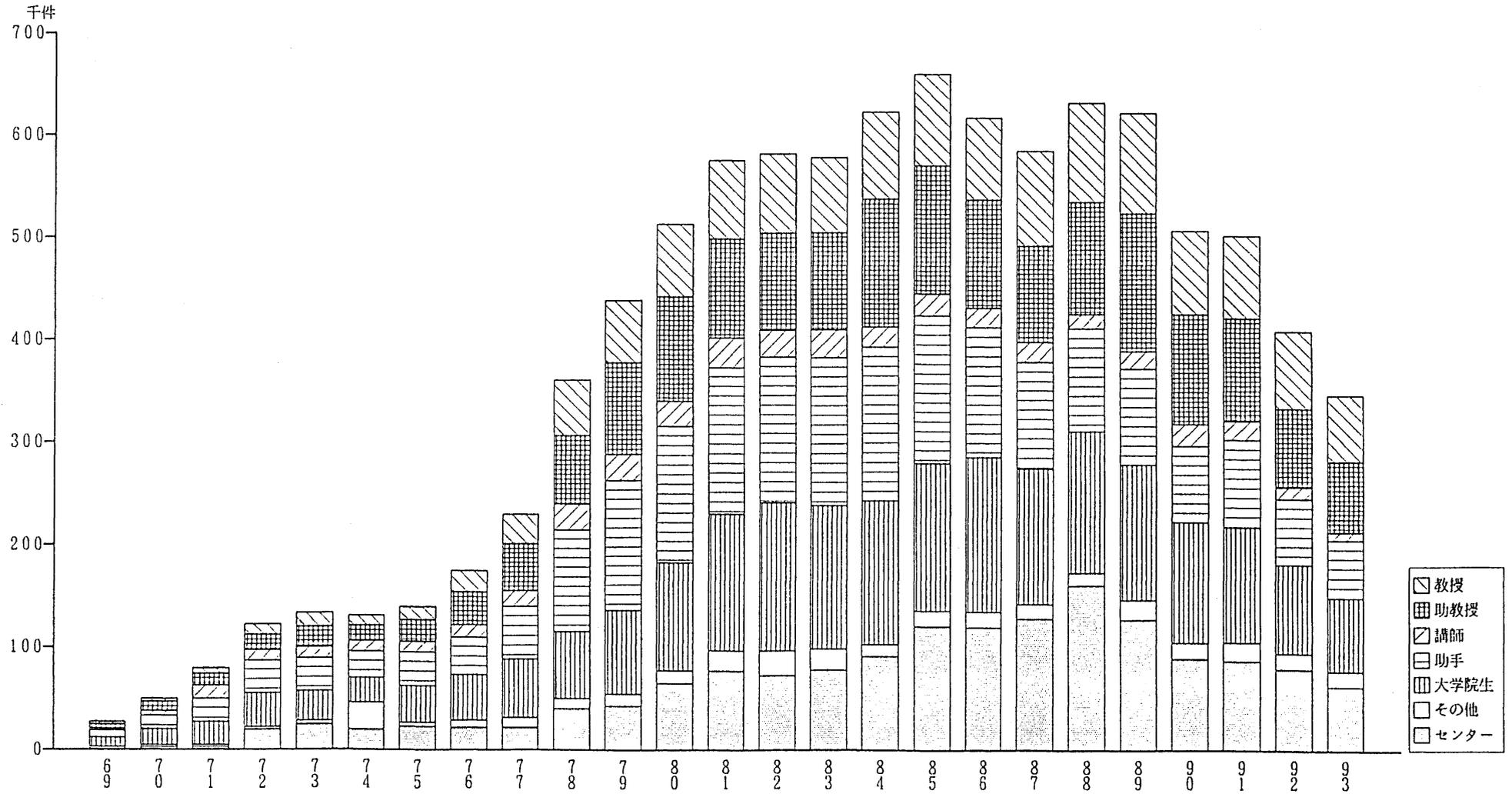
ジョブ処理件数の推移 (大学別)



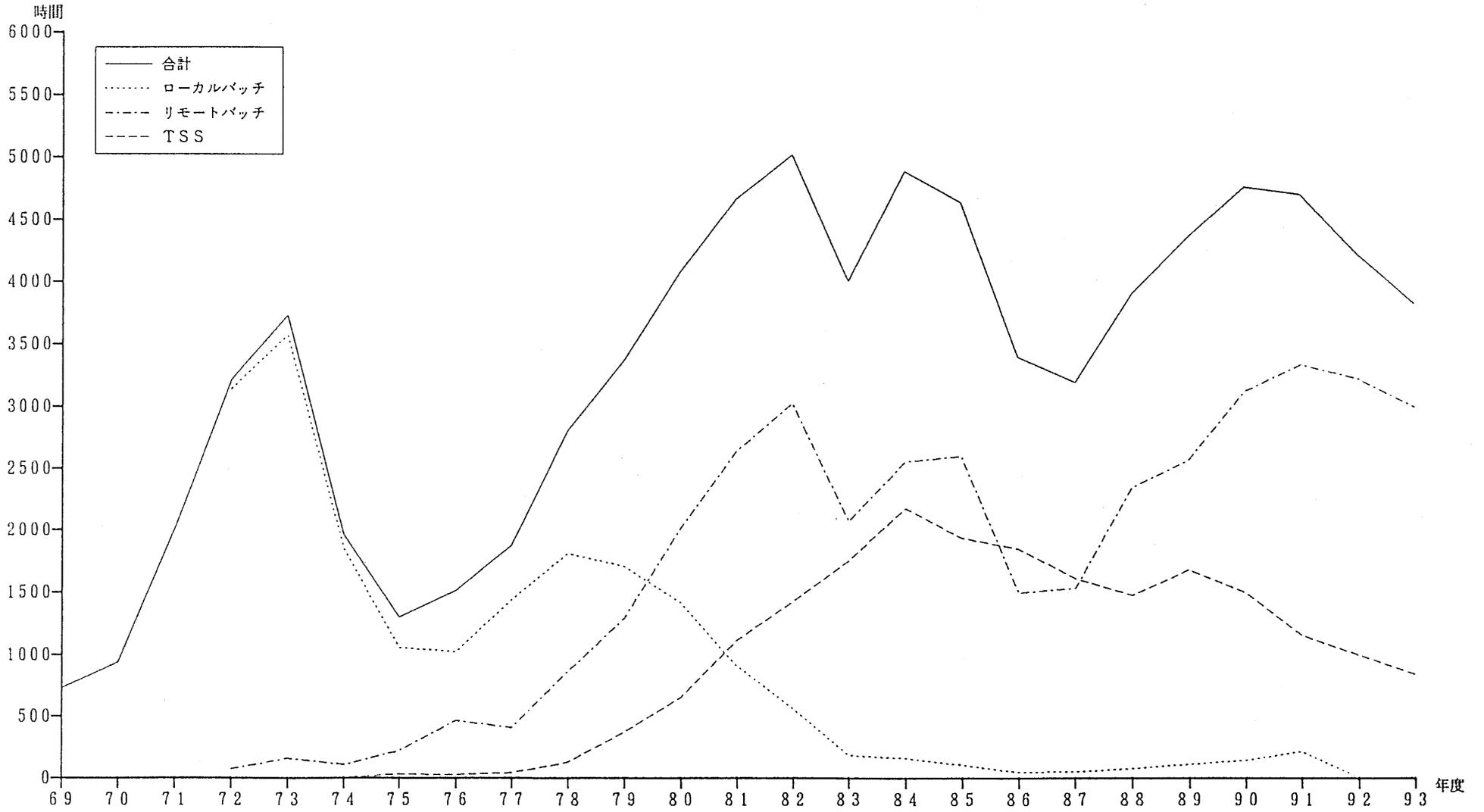
ジョブ処理件数の推移 (学部別)



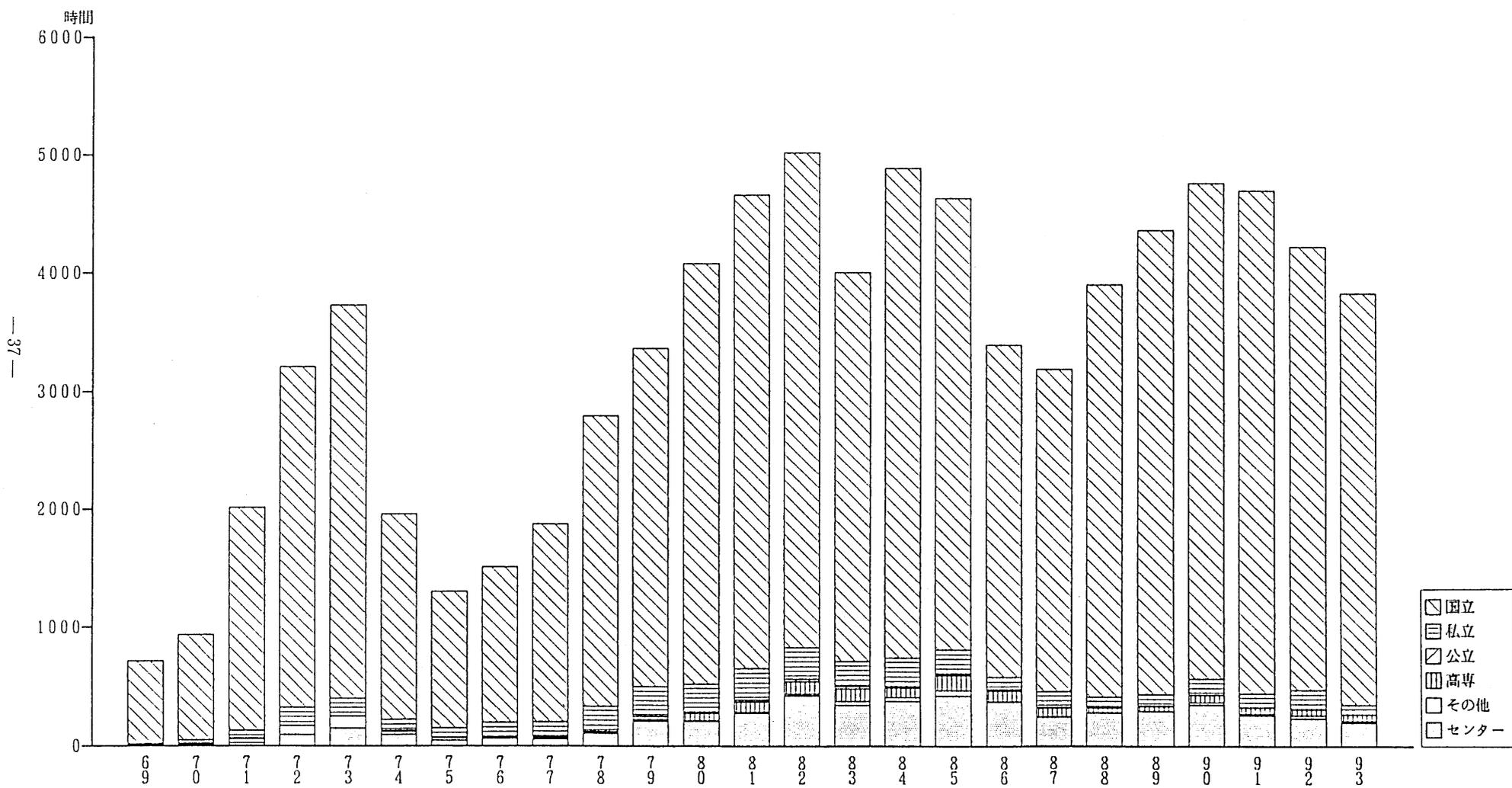
ジョブ処理件数の推移（職種別）



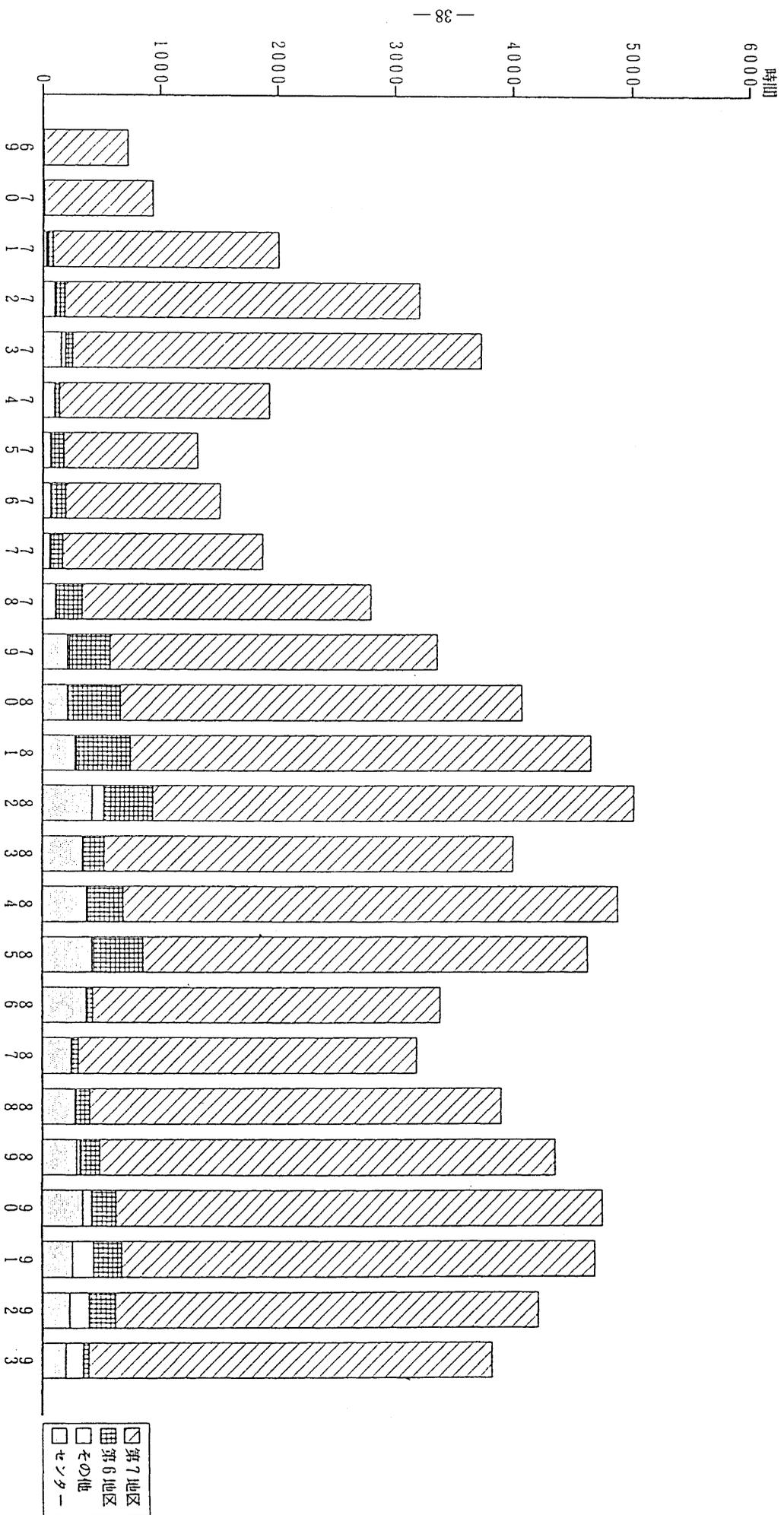
汎用計算機のCPU時間の推移（ジョブ区分別）



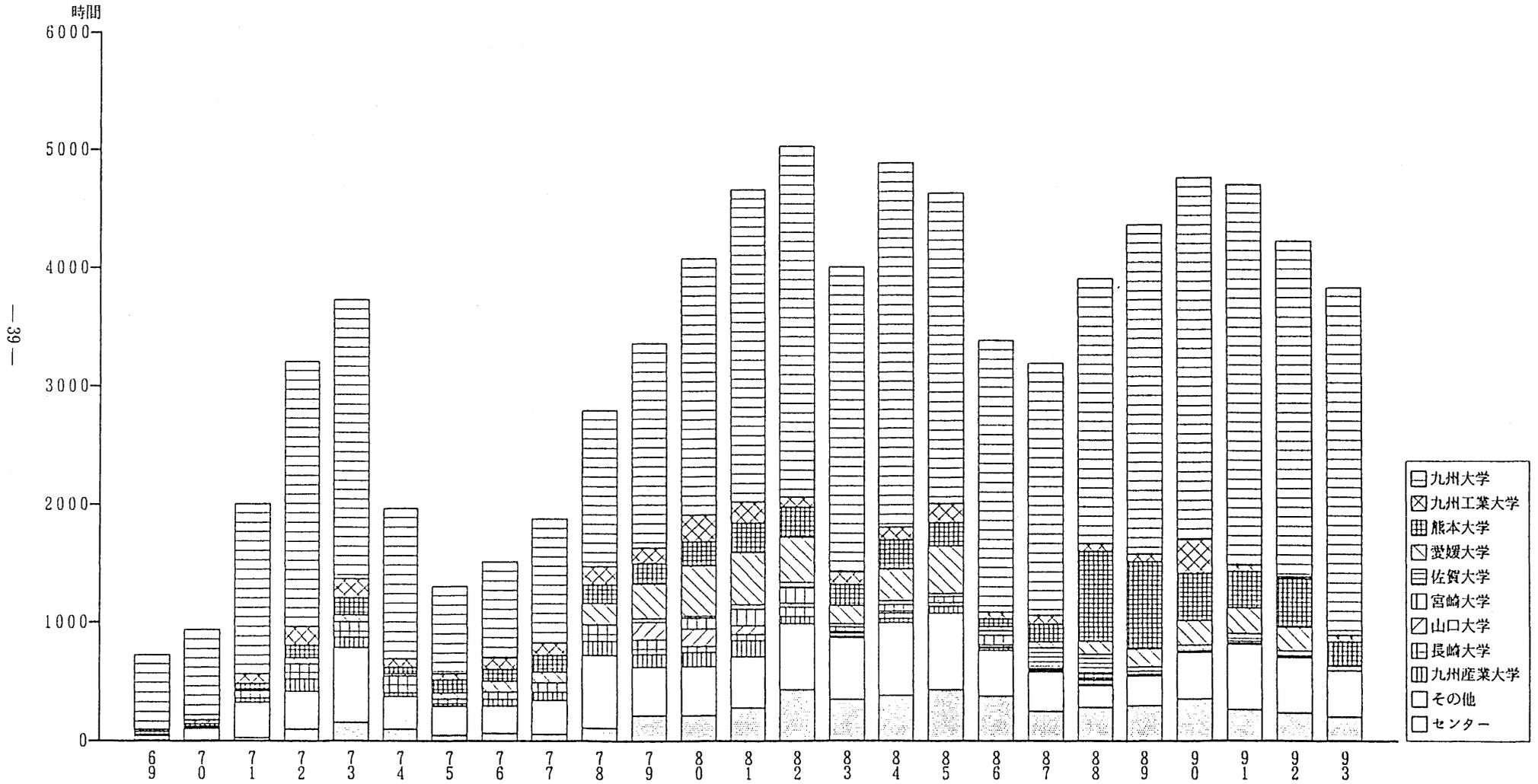
CPU時間の推移 (学校別)



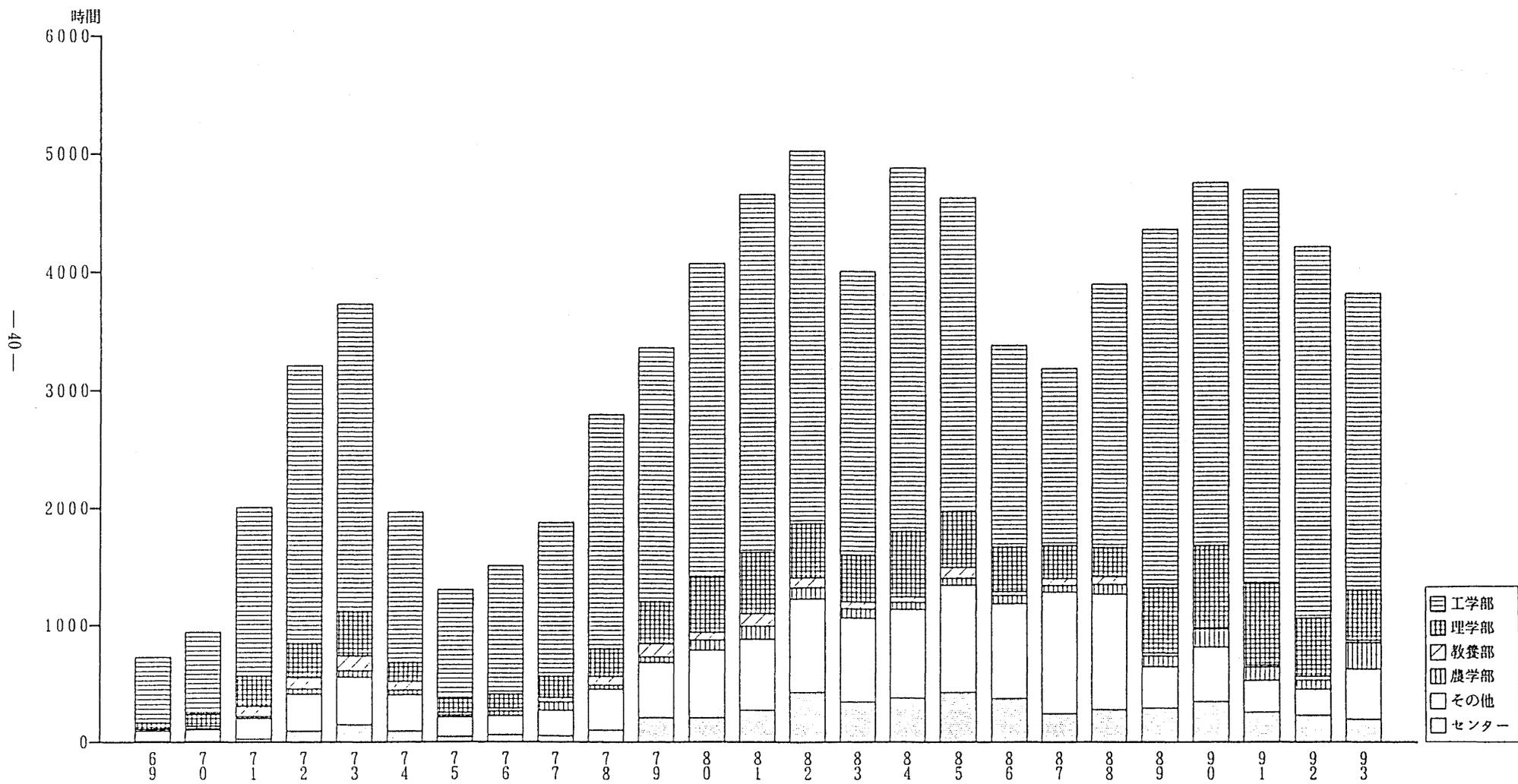
CPU時間の推移 (地区別)



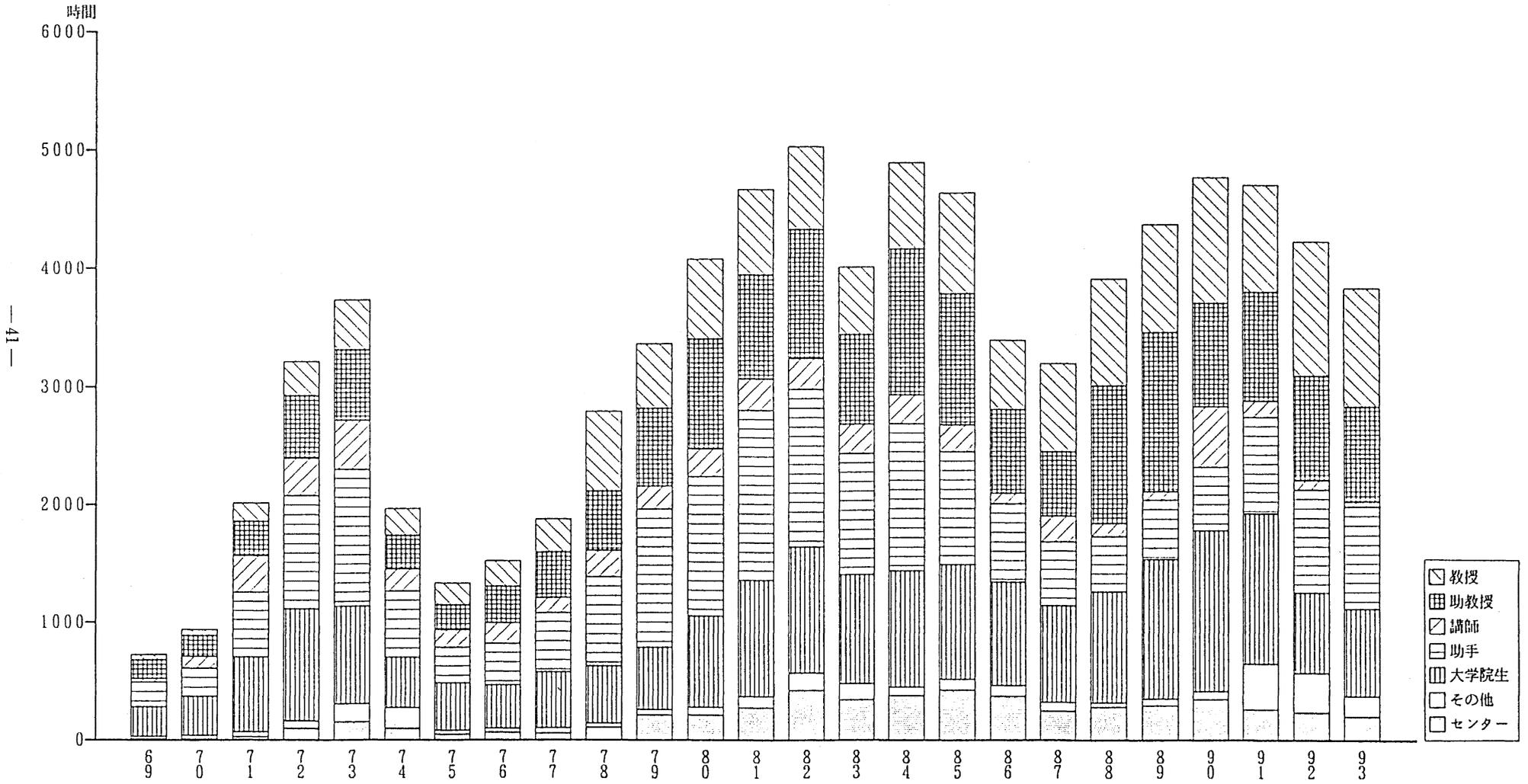
CPU時間の推移 (大学別)



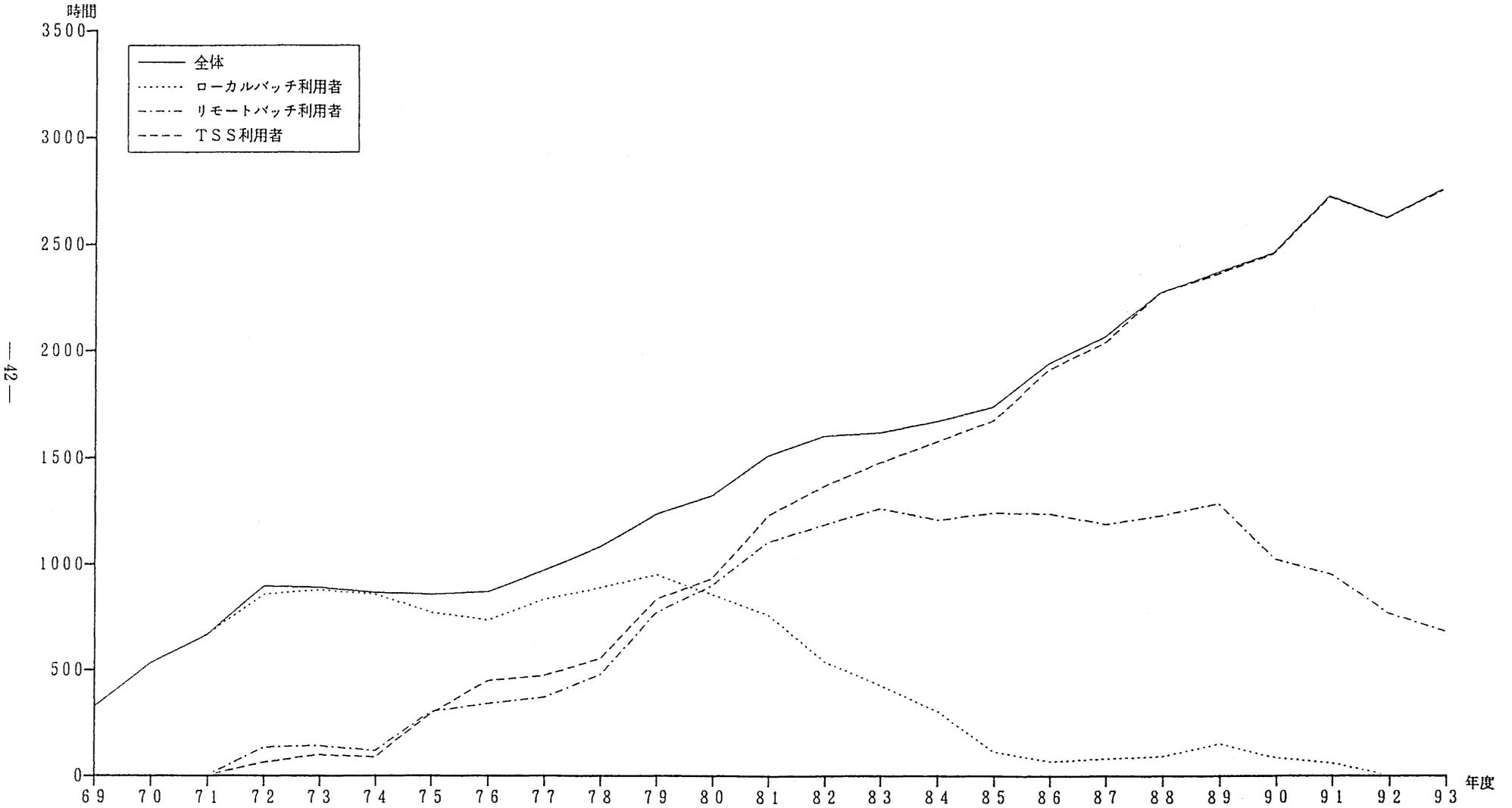
CPU時間の推移 (学部別)



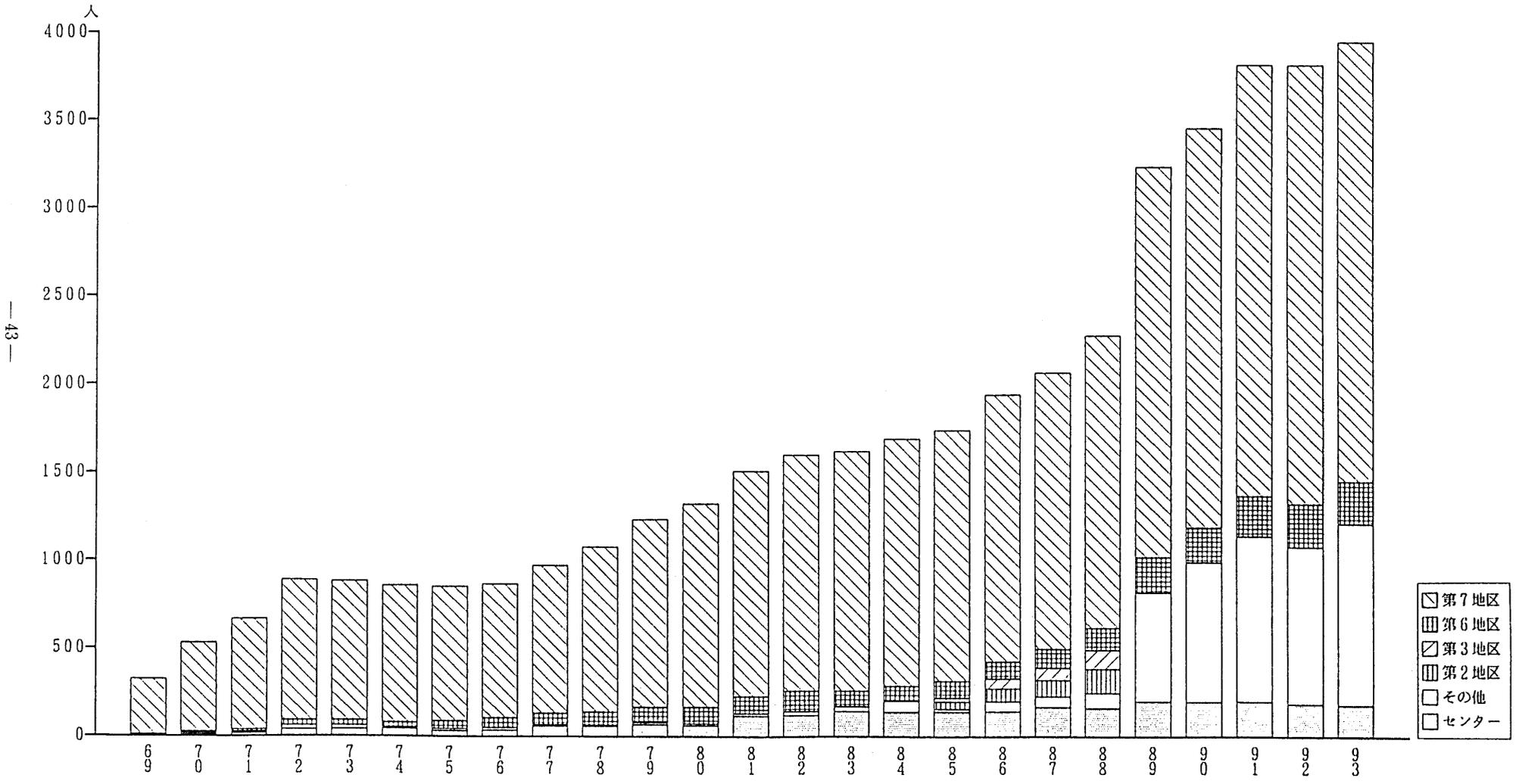
C P U時間の推移（職種別）



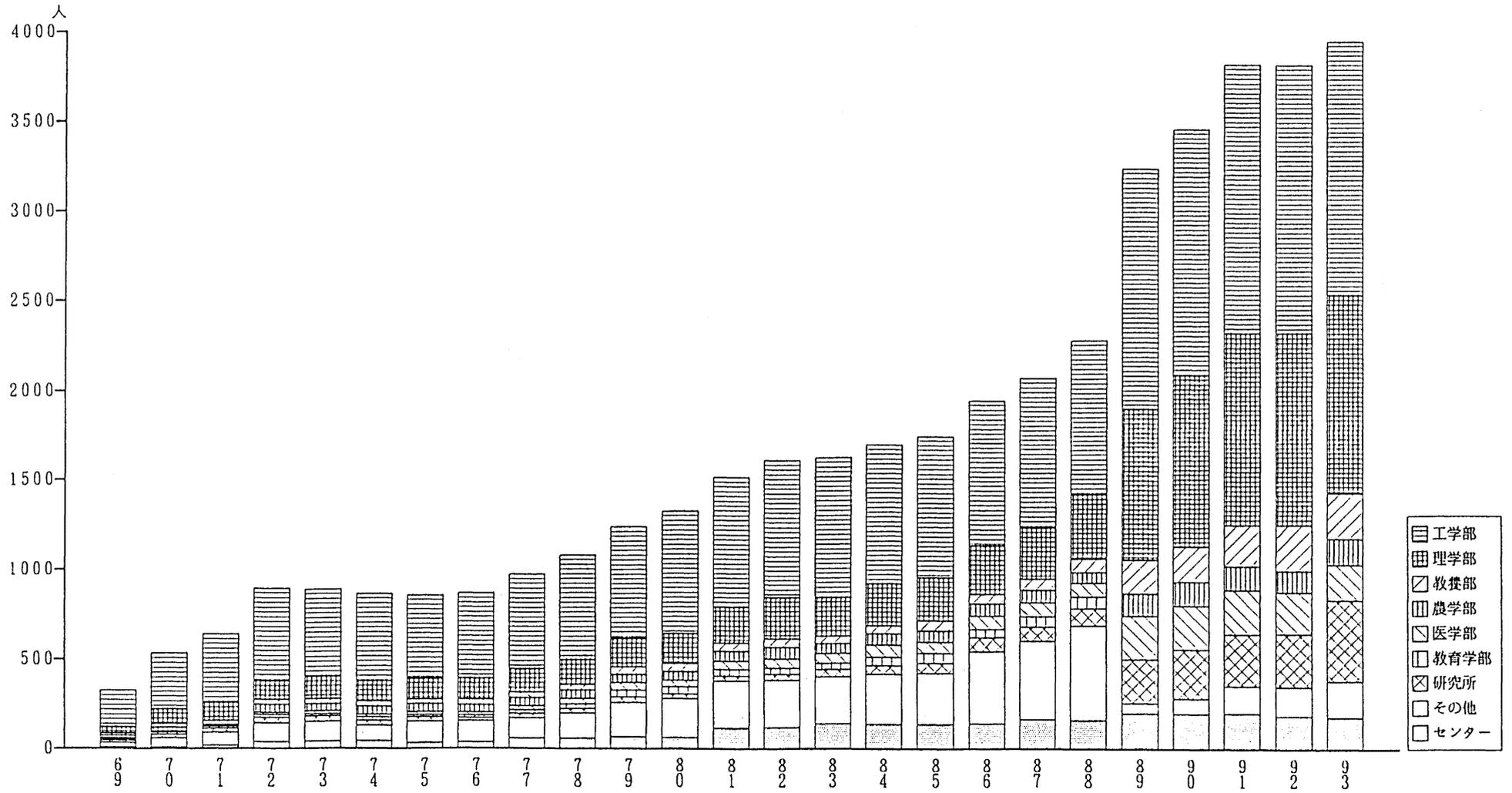
実利用者の推移 (ジョブ区分別)



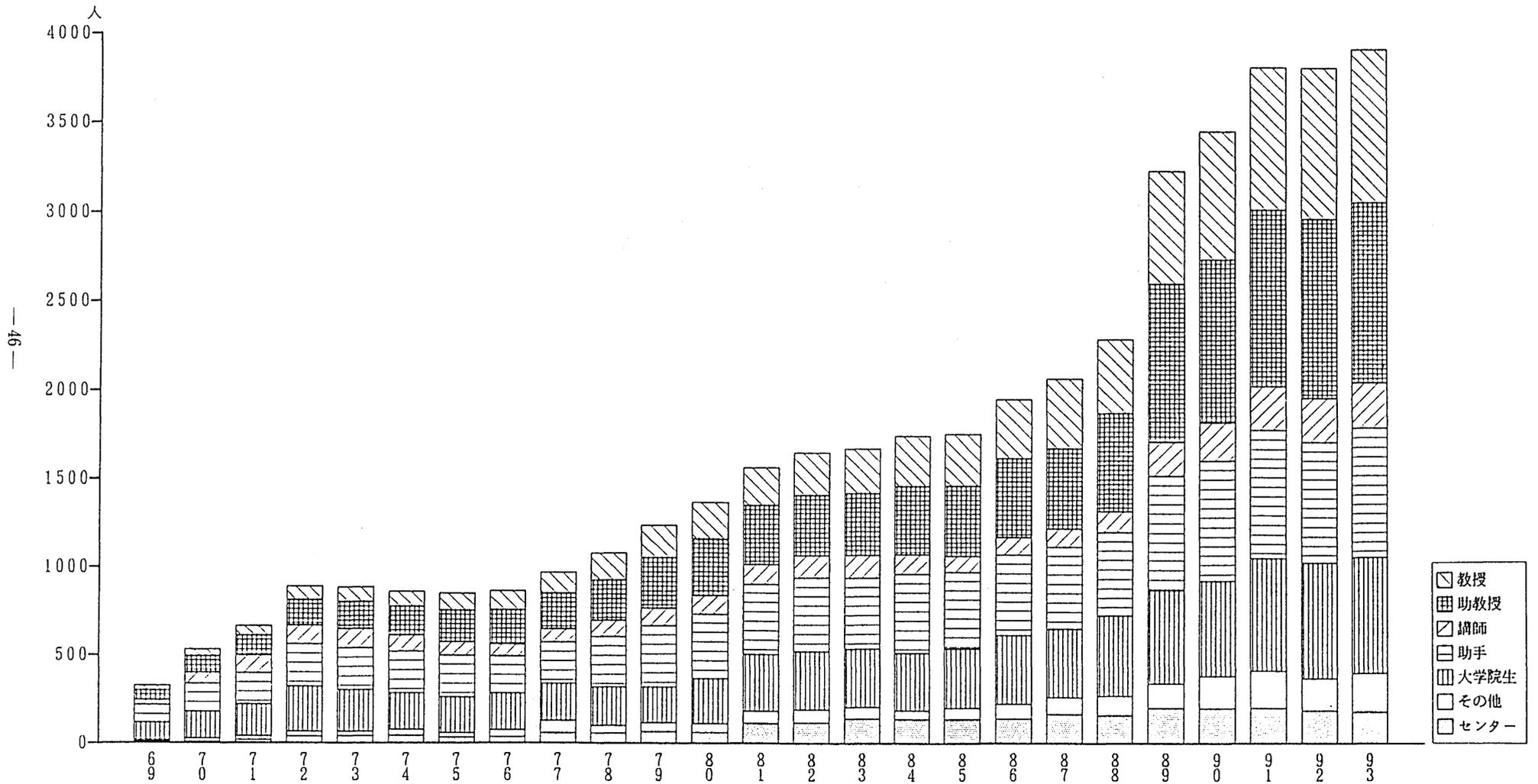
実利用者数の推移（地区別）



実利用者数の推移（学部別）

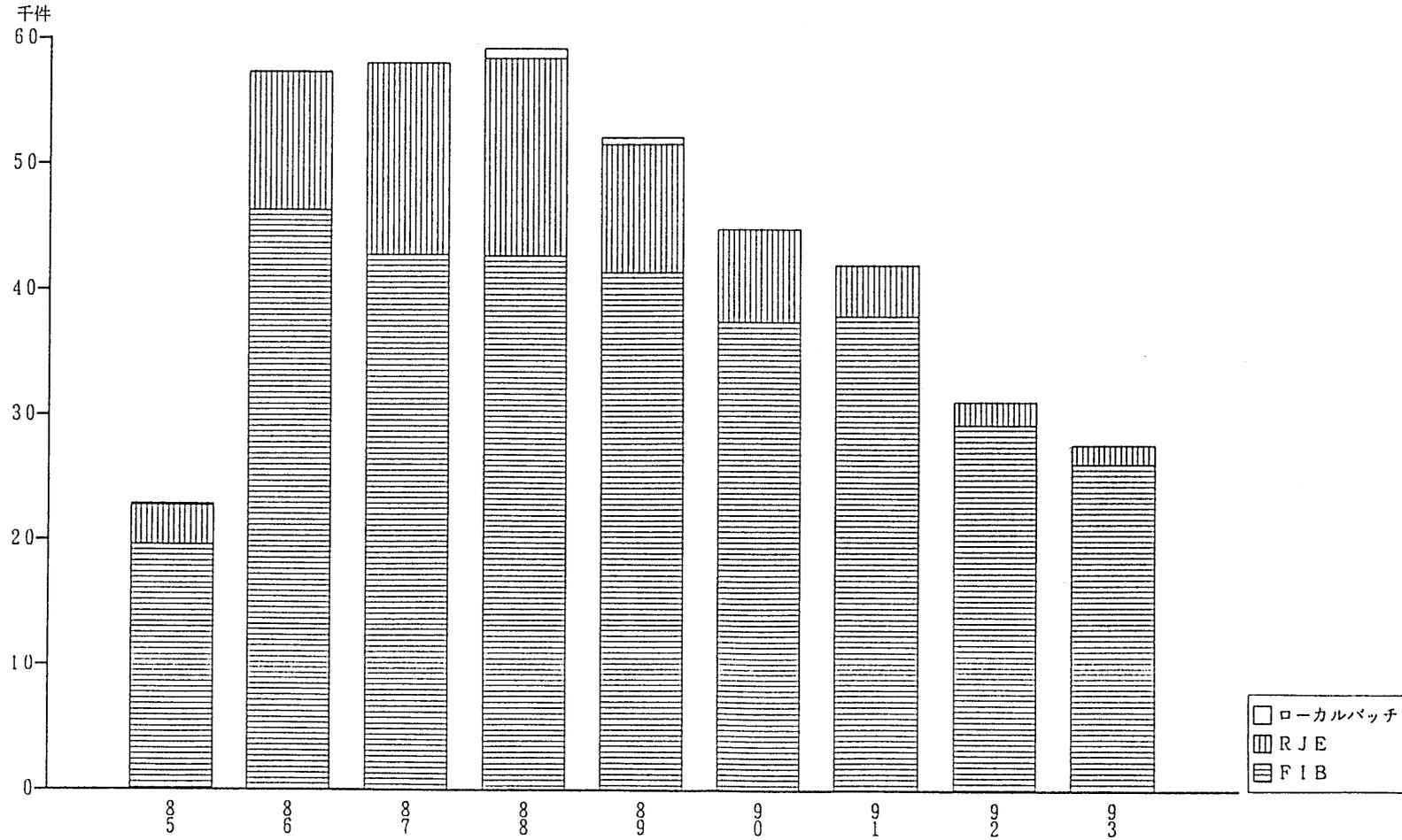


実利用者数の推移（職種別）



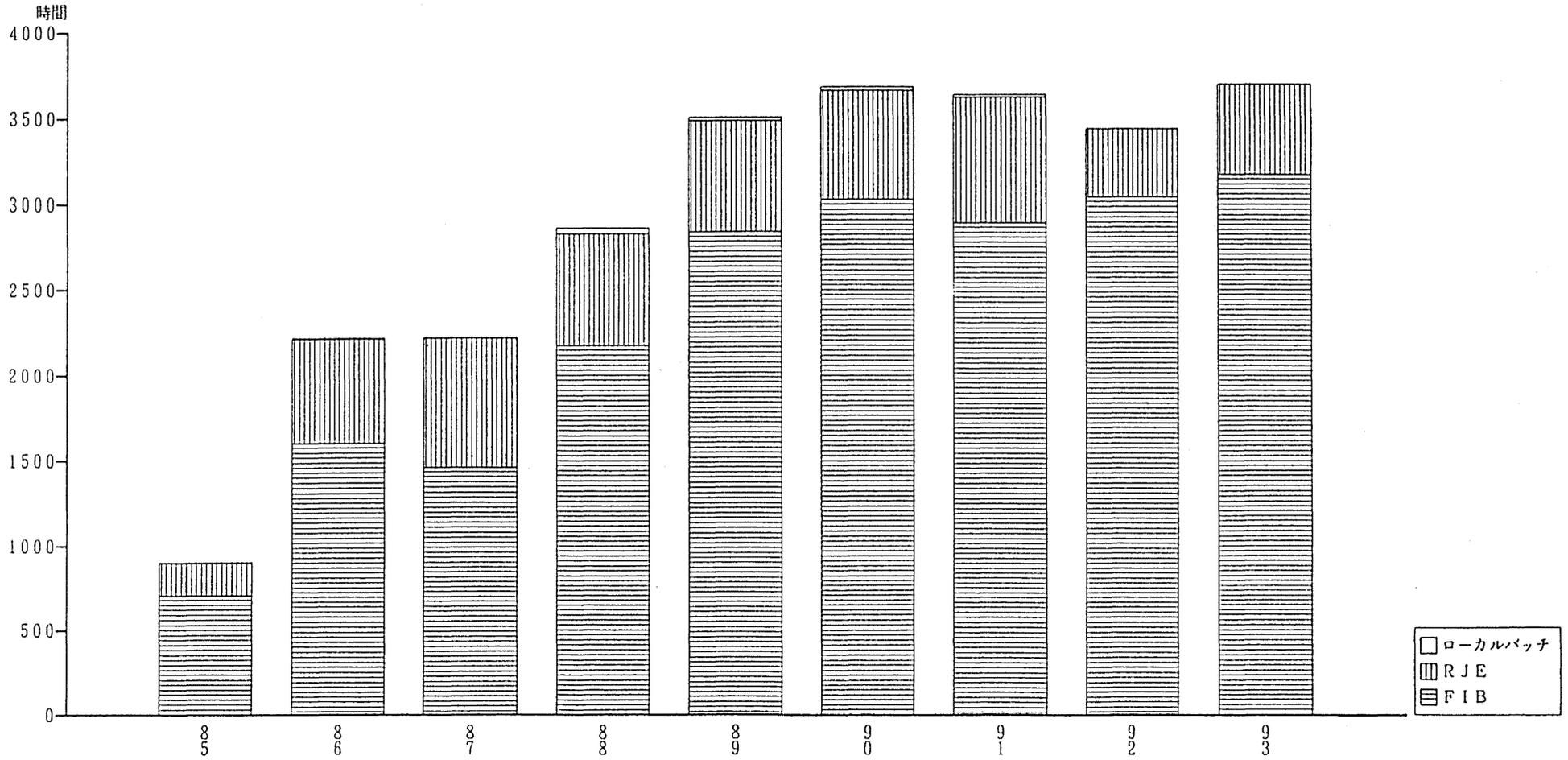
スーパーコンピュータの処理件数の推移

(ジョブ区別別)



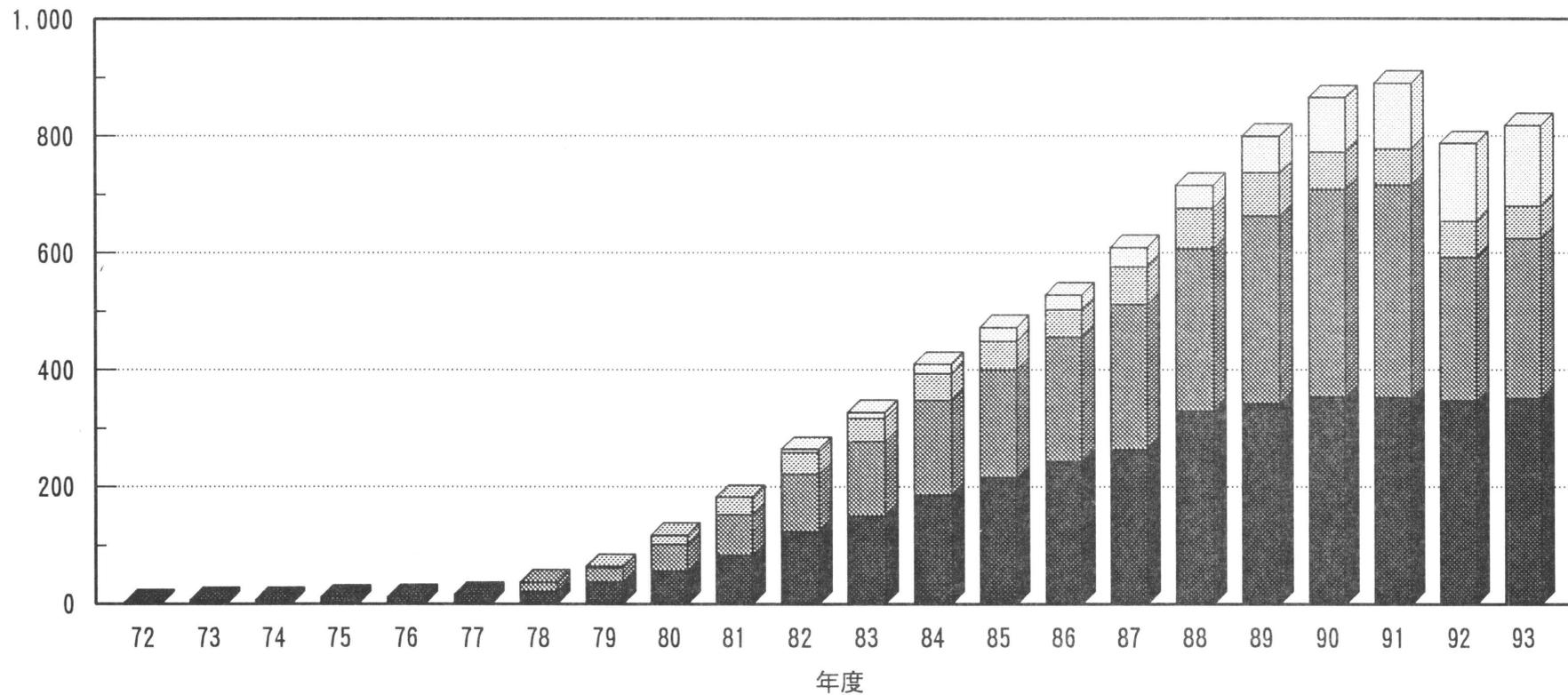
スーパーコンピュータのCPU時間の推移

(ジョブ区分別)



端末接続数の推移

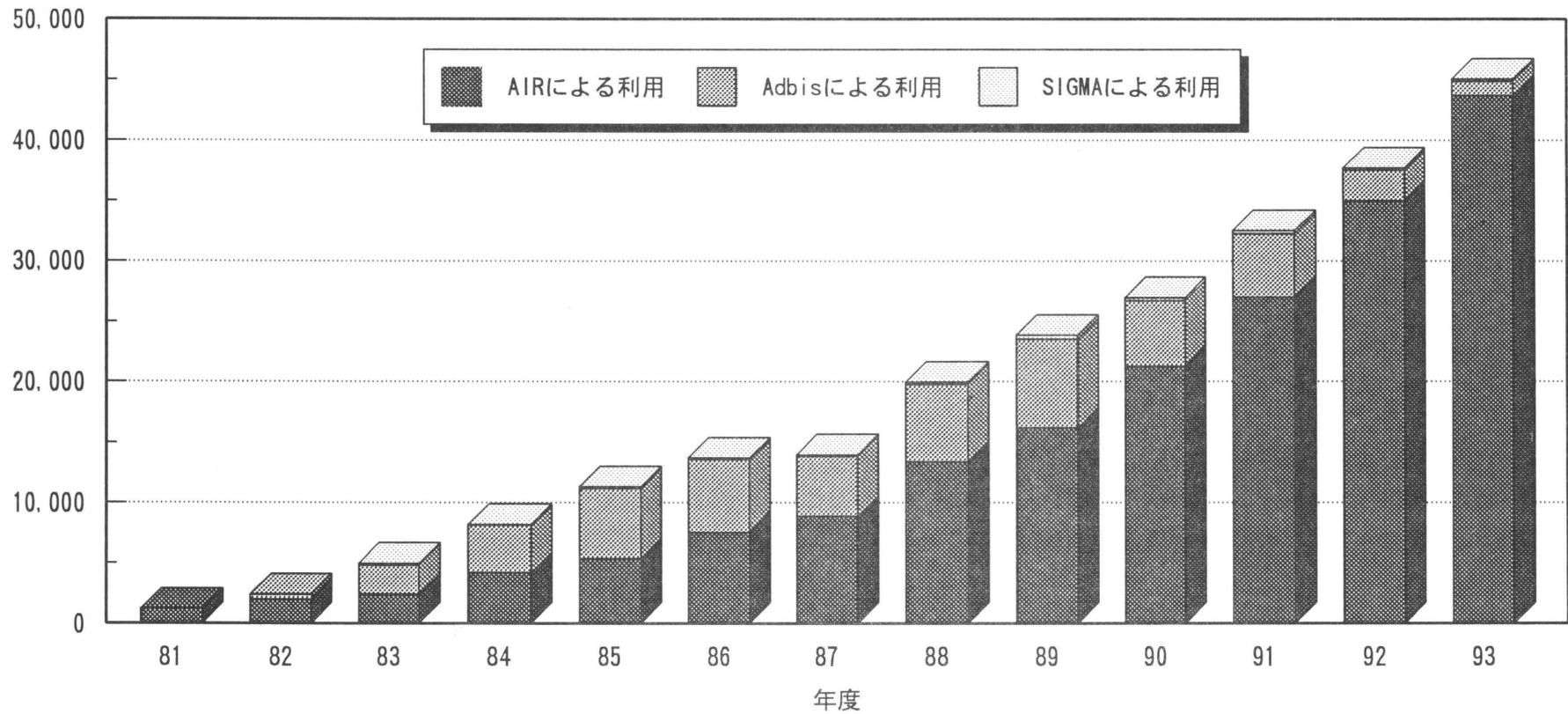
端末接続数



専用回線 交換回線 センター内チャネル接続 ネットワーク接続(N-1)

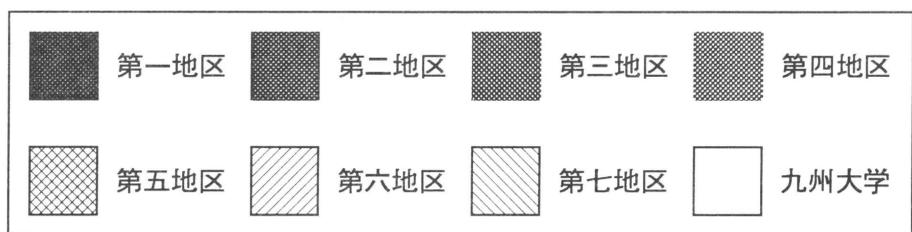
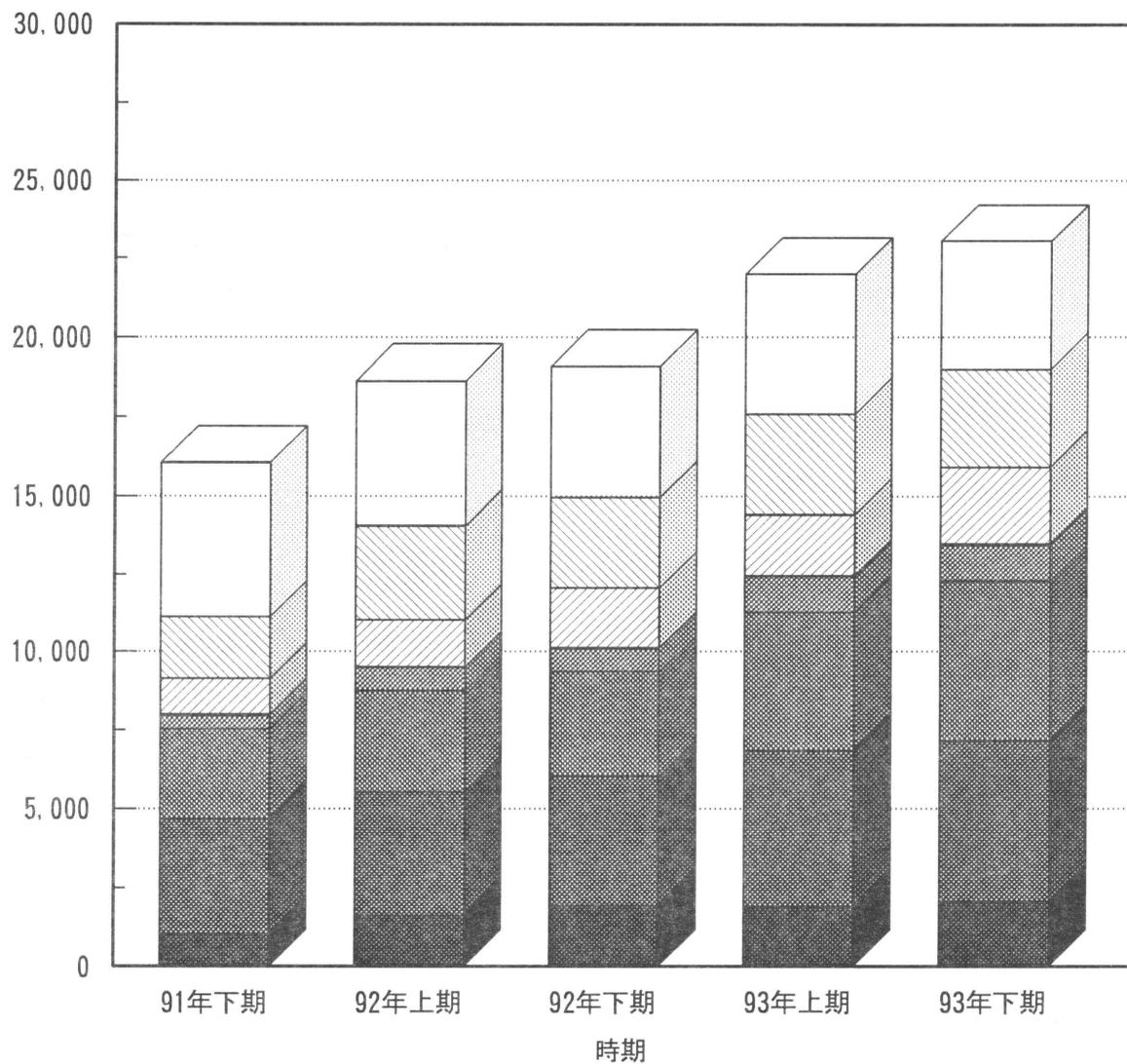
公用データベース延べ利用者数の推移 (データベース管理システム別)

延べ利用者数・人



公用データベース延べ利用者数の推移 (地区別)

延べ利用者数・人



第七地区は九州大学を除く

プログラムライブラリ開発課題一覧 (1972 ~ 1994)

この資料は、1972年から開始された九州大学大型計算機センタープログラム・ライブラリ開発課題として開発を承認された課題の一覧です。見出しの年は年度を意味します。また、開発課題に付けられた番号は、センターで便宜的にふった番号です。また、開発者の所属は当時のものです。

1972

- 1.1
複素数係数4次代数方程式の解法 (フェラーリ法)
楠田 哲也 (九州大・工)
- 1.2
CGTO についての分子積分
竹田 宏 (九州大・教養)
- 1.3
CGTO ベース Roothaan SCF 計算プログラム
竹田 宏 (九州大・教養)
- 1.4
解析関数の数値微分
角 秀吉 (久留米高専)
- 1.5
多原子分子の規準振動
塩川 浩三 (九州大・工)
- 1.6
real symmetric band matrix の固有値, 固有ベクトル
塩川 浩三 (九州大・工)
- 1.7
結晶構造解析用プログラム UNICS
河野 重昭 (九州大・教養), 加藤 敏郎 (山口大)
三浦 保範 (山口大), 吉柳 節夫 (九州大・薬)
上地 哲雄 (九州大・教養)
- 1.8
紙テープユーティリティの作成
国宗 真 (福岡女子大), 塩川 浩三 (九州大・工)
山岸 和子 (九州大・大計)
- 1.9
多重回帰分析における変量選別プログラムの開発
工藤 昭夫 (九州大・理), 大崎 紘一 (岡山大)
伊藤 孝一 (南山大)
- 1.10
離散変量の回帰分析
工藤 昭夫 (九州大・理), 大崎 紘一 (岡山大)
伊藤 孝一 (南山大)
- 1.11
疑似乱数の検定, 乱数発生ルーチン
中山 泰雄 (九州電気工業短大)
- 1.12
電子顕微鏡像の Computer Simulation
江口 鉄男 (九州大・工), 木下 智見 (九州大・工)
友清 芳二 (九州大・工)
- 1.13
因子分析法 1 (主成分分析)
柳川 堯 (九州大・理), 工藤 奈津子 (九州大・大計)
- 1.14
因子分析法 2 (因子分析)
柳川 堯 (九州大・理), 工藤 奈津子 (九州大・大計)
- 1.15
長精度演算のための初等関数ルーチンの作成
国宗 真 (福岡女子大), 塩川 浩三 (九州大・工)
武藤 直彦 (九州大・大計)

1973

- 2.1
多重回帰分析における変量選別プログラムの開発
工藤 昭夫 (九州大・理), 大崎 紘一 (岡山大)
伊藤 孝一 (南山大)
- 2.2
離散変量の回帰分析 (1.10 の更新)
工藤 昭夫 (九州大・理), 大崎 紘一 (岡山大)
伊藤 孝一 (南山大)
- 2.3
結晶構造解析用プログラム UNICS (1.7 の更新)
河野 重昭 (九州大・教養), 加藤 敏郎 (山口大)
上田 幾彦 (九州大・教養), 三浦 保範 (山口大)
- 2.4
因子分析法 (1.13, 1.14 の更新)
柳川 堯 (九州大・理), 工藤 奈津子 (九州大・大計)
- 2.5
電子顕微鏡像の Computer Simulation
(1.12 の更新)
江口 鉄男 (九州大・工), 木下 智見 (九州大・工)
友清 芳二 (九州大・工)
- 2.6
長精度演算のための初等関数ルーチンの作成
(1.15 の更新)
国宗 真 (福岡女子大), 塩川 浩三 (九州大・工)
- 2.7
複素数係数4次代数方程式の解法 (フェラーリ法)
(1.1 の更新)
楠田 哲也 (九州大・工)
- 2.8
「原子核構造解析コード」
I. 殻模型によるエネルギー要素
上村 正康 (九州大・理), 松瀬 文浩 (九州大・理)
- 2.9
ヘリックス分子鎖の規準振動
塩川 浩三 (九州大・工)
- 2.10
デミング法による非線形関数の最小二乗近似
吉村 靖生 (九州大・農)

1974

- 3.1
電子顕微鏡像の Computer Simulation (2.5 の更新)
江口 鉄男 (九州大・工), 木下 智見 (九州大・工)
友清 芳二 (九州大・工)
- 3.2
ヘリックス分子鎖の規準振動 (2.9 の更新)
塩川 浩三 (九州大・工)
- 3.3
東大ライブラリー・304 Y3/TC/CC01
殻模型における有効相互作用の FORTRAN による

書換え作業

板谷 三夫 (九州産業大), 永井 弘之 (九州工業大)
田中 洋介 (九州共立大)

1975

- 4.1
「微視的モデルによる核反応解析コード」
I. 積分方程式および微積分方程式の散乱解の変分法による解法
上村 正康 (九州大・理), 見戸 義英 (九州大・理)

1976

- 5.1
東大センター「原子核ライブラリ」の一部 (6 コード) 書替え
河合 光路 (九州大・理), 上村 正康 (九州大・理)
竹追 一雄 (九州大・理)
- 5.2
 γ 線スペクトルによる環境核種の定量分析
高島 良正 (九州大・理), 中山 祐輔 (愛媛大・工)
大崎 進 (九州大・理)

1977

- 6.1
プログラム言語 PASCAL コンパイラの作成
井上 信之 (九州大・理)
- 6.2
 γ 線スペクトルによる環境核種の定量分析
(5.2 の更新)
高島 良正 (九州大・理), 中山 祐輔 (愛媛大・工)
大崎 進 (九州大・理)
- 6.3
CGTO についての分子積分 (改訂)
竹田 宏 (九州大・教養)
- 6.4
CGTO ベース SCF 計算に必要な分子積分
竹田 宏 (九州大・教養)
- 6.5
流線および速度ベクトル図の X-Y プロッター処理
伊藤 繁 (九州産業大・工)
- 6.6
直接法による位相の決定のためのプログラムの改良
伊田 喜光 (九州大・薬)
- 6.7
楕円型偏微分方程式の半数値的解法およびその電界計算への応用
村島 定行 (鹿児島大・工)
加藤 三三男 (鹿児島大・工)
- 6.8
Cobol プログラム輪郭作成システムの実現
牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
- 6.9
Fortran プログラムテスト/デバッグ支援システムの実現
牛島 和夫 (九州大・工), 河村 豊実 (九州大・工)

1978

- 7.1
Cobol プログラム輪郭作成システムの実現

(6.8 の更新)

牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)

- 7.2
Fortran プログラムテスト / デバッグ支援システムの実現 (6.9 の更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 河村 豊実 (九州大・工)
- 7.3
楕円形偏微分方程式の半数値的解法およびその電界計算への応用
村島 定行 (鹿児島大・工)
- 7.4
大規模社会・経済システムのモデリングとシミュレーションに関する専用シミュレータの開発
川畑 興求 (広島修道大・商)
- 7.5
X-Y プロッタによる流れの可視化
伊藤 繁 (九州産業大・工)
- 7.6
等角写像による座標変換
伊藤 繁 (九州産業大・工)
- 7.7
英文清書システム ROFF の実現
牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
中村 義昭 (九州大・工)
- 7.8
SNOBOL4 処理系の実現
牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
高比良 尚 (九州大・工)
- 7.9
PASCAL プログラム作成支援システムの実現
牛島 和夫 (九州大・工), 荒木 啓二郎 (九州大・工)
江嶋 博 (九州大・工)
- 7.10
IN-CORE SORTING
国宗 真 (福岡女子大)
- 7.11
結晶構造解析用プログラム UNICS III の開発
河野 重昭 (九州大・教養), 上地 哲雄 (九州大・教養)
- 7.12
二変数関数のグラフィックディスプレイ装置による等高線図と立体図の表示
五條堀 孝 (九州大・理)

1979

- 8.1
ラインプリンタ, PLOT10, XY プロッタによる等高線作図プログラム
三木 信博 (九州大・工)
- 8.2
二変数関数のグラフィックディスプレイ装置による等高線図と立体図の表示 (7.12 の更新)
五條堀 孝 (九州大・理)
- 8.3
HLISP モニタ
南 俊朗 (九州大・理)
- 8.4
Fortran プログラムテスト / デバッグ支援システム Forprex の機能拡張と整備
牛島 和夫 (九州大・工), 河村 豊実 (九州大・工)

- 8.5
Cobol プログラム輪郭作成システムの保守と改善
牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
- 8.6
SNOBOL4 処理系の改善と支援システムの実現
牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
吉田 和幸 (九州大・工)
- 8.7
PASCAL プログラム作成支援システムの実現
(7.9の更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 江嶋 博 (九州大・工)
荒木 啓二郎 (九州大・工)
- 8.8
英文清書システム ROFF の実現と操作性の向上
牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
中村 義昭 (九州大・工), 荒木 啓二郎 (九州大・工)
- 8.9
JIS コード漢字の表示用ストロークパタンの開発
吉田 将 (九州大・工), 長田 一興 (九州大・工)
田中 武美 (九州大・工), 遠藤 俊明 (九州大・工)
長沢 勲 (九州大・工)
- 8.10
HEPROP (ヘリウム4の熱力学的および熱物理的物性
値を計算するプログラム・パッケージ) の九州大大型計
算機センターへの移し換え
伊藤 猛宏 (九州大・工), 松浦 一郎 (九州大・工)
- 8.11
結晶構造解析用プログラム UNICS III の開発
(7.11の更新)
河野 重昭 (九州大・教養), 古森 徹哉 (九州大・教養)
- 8.12
Gauss-70 プログラムの導入
榎 茂好 (熊本大・工)
- 8.13
英文清書システム ROFF に対するハイフン挿入手続き
の追加
牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
中村 義昭 (九州大・工)

1980

- 9.1
結晶構造解析用プログラム UNICS III の開発
(8.11の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 9.2
Fortran プログラム実行モニター Forprex の会話型によ
る使用
牛島 和夫 (九州大・工), 河村 豊実 (九州大・工)
- 9.3
英文清書システム ROFF に対する複数コラム出力の
実現
牛島 和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
横山 和彦 (九州大・工)
- 9.4
PASCAL プログラム作成支援システムの実現
(8.7の更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 荒木 啓二郎 (九州大・工)
吉田 和幸 (九州大・工)
- 9.5
SPSS 会話形利用のためのプログラム EASYSPPSS の
拡張

廣田 安夫 (九州歯科大), 大石 範子 (九州歯科大)
佐々木 晃代 (九州歯科大)

- 9.6
長精度演算ルーチン
国宗 真 (福岡女子大), 塩川 浩三 (九州大・工)
- 9.7
ランダムデータ (離散点) の等高線作図プログラム
三木 信博 (九州大・工)
- 9.8
単語チェックシステム SPELL の改善
牛島和夫 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・工)
横山 和彦 (九州大・工)
- 9.9
グラフィック装置を用いた会話型原子核反応スペクトル
処理プログラムの開発
桑折 範彦 (九州大・工), 松本 譲 (九州大・工)
川村 憲造 (九州大・工)
- 9.10
FORTRAN プログラム作成保守支援ツール AUDIE の
利用システムの開発
牛島 和夫 (九州大・工), 田町 典子 (九州大・工)
- 9.11
高級型グラフィック装置による画面作成システム
大脇 信一 (熊本大・教養)
- 9.12
LALS プログラムの FACOM への書替えとデバッグ
奥山 健二 (九州大・工)
- 9.13
1969 年機械学会蒸気表の機械計算
伊藤 猛宏 (九州大・工), 黒木 虎人 (九州大・工)

1981

- 10.1
グラフィック装置を用いた会話型原子核反応スペクトル
処理プログラムの開発 (9.9の更新)
桑折 範彦 (九州大・工), 松本 譲 (九州大・工)
川村 憲造 (九州大・工)
- 10.2
多次元データ入出力のための対話型システム開発
大脇 信一 (熊本大・教養)
- 10.3
単語チェックシステム SPELL の改善 (9.8の更新)
牛島和夫 (九州大・工), 横山 和彦 (九州大・工)
藤村 直美 (九州大・情教セ)
- 10.4
Fortran プログラム実行モニター Forprex と手続き間
情報の解析と整理のツール AUDIE の統合
牛島 和夫 (九州大・工), 河村 豊実 (九州大・工)
- 10.5
英文清書システム ROFF における図表等挿入位置指定
機能の拡張 (9.3の更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 横山 和彦 (九州大・工)
藤村 直美 (九州大・情教セ)
- 10.6
LALS プログラムの FACOM への書替えとデバッグ
奥山 健二 (九州大・工)
- 10.7
1968 年機械学会蒸気表の機械計算 (9.13の更新)
伊藤 猛宏 (九州大・工), 黒木 虎人 (九州大・工)

- 10.8
長精度演算ルーチン (9.6 の更新)
国宗 真 (福岡女子大), 塩川 浩三 (九州大・工)
- 10.9
各種のラインを描くためのサブルーチンおよびラインを
スムージングするためのサブルーチンの開発
三木 信博 (大分大・工)
- 10.10
グラフィック装置を用いた2次元原子核反応スペクトル
処理プログラムの開発 (10.1 の年度内更新)
桑折 範彦 (九州大・工), 松本 譲 (九州大・工)
川村 憲造 (九州大・工), 酒井 日出男 (九州大・工)
- 10.11
ユーザ定義文字のNLP出力支援プログラムの開発
国宗 真 (福岡女子大), 南 俊朗 (九州大・理)
- 10.12
多変数関数型データの動的表示解析システム開発
大脇 信一 (熊本大・教養)

1982

- 11.1
多変数関数型データの動的表示解析システム開発
(10.12 の更新)
大脇 信一 (熊本大・教養)
- 11.2
グラフィック装置を用いた2次元原子核反応スペクトル
処理プログラムの開発 (10.10 の更新)
桑折 範彦 (九州大・工), 松本 譲 (九州大・工)
川村 憲造 (九州大・工), 酒井 日出男 (九州大・工)
- 11.3
英文清書システム ROFF における図表等挿入位置指定
機能の拡張 (10.5 の更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 荒木 啓二郎 (九州大・工)
吉田 和幸 (九州大・工), 藤村 直美 (九州大・情教セ)
- 11.4
手続き間情報の解析と整理のツール AUDIE の会話的
利用と機能強化
牛島 和夫 (九州大・工), 河村 豊実 (九州大・工)
- 11.5
ユーザ定義文字のNLP出力支援プログラムの開発
(10.11 の更新)
国宗 真 (福岡女子大), 南 俊朗 (九州大・理)
- 11.6
PROLOG インタプリタの開発
長沢 勲 (九州大・工), 古川 由美子 (九州大・工)
- 11.7
Bickley-Naylor 関数の近似式の作成
上宇都 幸一 (九州大・工)
- 11.8
PROLOG インタプリタの開発
(11.6 の年度内更新)
長沢 勲 (九州大・工), 古川 由美子 (九州大・工)
- 11.9
多元連立微積分方程式の散乱解のチャンネル結合変分法に
よる解法
上村 正康 (九州大・理), 八尋 正信 (九州大・理)
- 11.10
IPSP ルーチンによるリモートセンシングデータ視覚判
読分析のためのプログラム
梅干野 晃 (九州大・工), 小田 健一 (九州大・工)
藤井 修 (九州大・工)
- 11.11
言語処理系開発ツール MYLANG の機能増強
安在 弘幸 (九州工業大), 藤岡 明美 (九州工業大)
山之上 卓 (九州工業大)
- 11.12
ユーザ定義文字のNLP出力支援プログラムの開発
(11.12 の年度内更新)
国宗 真 (福岡女子大), 南 俊朗 (九州大・理)

1983

- 12.1
ユーザ定義文字のNLP出力支援プログラムの開発
(11.4 の更新)
国宗 真 (福岡女子大), 南 俊朗 (九州大・理)
- 12.2
多元連立微積分方程式の散乱解のチャンネル結合変分法に
よる解法 (11.9 の更新)
上村 正康 (九州大・理), 八尋 正信 (水産大)
- 12.3
IPSP ルーチンによるリモートセンシングデータ視覚判
読分析のためのプログラム (11.10 の更新)
梅干野 晃 (九州大・工), 小田 健一 (九州大・工)
藤井 修 (九州大・工)
- 12.4
言語処理系開発ツール MYLANG の機能増強
(11.11 の更新)
安在 弘幸 (九州工業大), 山之上 卓 (九州工業大)
- 12.5
多変数関数型データの表示解析システム
大脇 信一 (熊本大・教養)
- 12.6
画面管理ライブラリとこれを用いた画面指向型 TSS
コマンド処理支援システムの開発
宇津宮 孝一 (九州大・総理工)
吉岡 和幸 (九州大・総理工)
畠山 貴次 (九州大・総理工)
- 12.7
熱物性値機械計算汎用プログラム・パッケージおよび
ヘリウム4熱物性値機械計算プログラム・パッケージの
開発
伊藤 猛宏 (九州大・工), 黒木 虎人 (九州大・工)
- 12.8
日本語 SNOBOL4 の高速化と整備
牛島 和夫 (九州大・工), 吉田 和幸 (九州大・工)
日並 順二 (九州大・工)
- 12.9
日本語文章作成支援ツールの公開
牛島 和夫 (九州大・工), 日並 順二 (九州大・工)
吉田 和幸 (九州大・工), 荒木 啓二郎 (九州大・工)
高木 利久 (九州大・工)
- 12.10
ユーザ定義文字のNLP出力支援プログラムの開発
(12.1 の年度内更新)
国宗 真 (福岡女子大), 南 俊朗 (九州大・理)

1984

- 13.1
日本語 SNOBOL4 の整備
牛島 和夫 (九州大・工), 吉田 和幸 (大分大・工)
日並 順二 (九州大・工)

- 13.2
日本語推敲支援ツールの高速化と拡張
牛島 和夫 (九州大・工), 日並 順二 (九州大・工)
尹 志熙 (九州大・工), 荒木 啓二郎 (九州大・工)
高木 利久 (九州大・工)
- 13.3
ユーザ定義文字の NLP 出力支援プログラムの開発
(12.10 の更新)
国宗 真 (福岡女子大), 吉田 和幸 (大分大・工)
- 13.4
熱物性値機械計算用汎用プログラム・パッケージの開発
伊藤 猛宏 (九州大・工), 黒木 虎人 (九州大・工)
茂地 徹 (長崎大), 高田 保之 (九州大・工)
松本 健一 (久留米高専), 山下 宏幸 (福岡大)
- 13.5
言語処理系開発ツール MYLANG の機能増強
(12.4 の更新)
安在 弘幸 (九州工業大), 山之上 卓 (九州工業大)
- 13.6
画面管理ライブラリとこれを用いた画面指向型 TSS
コマンド処理支援システムの開発 (12.6 の更新)
宇津宮 孝一 (九州大・総理工)
島山 貴次 (九州大・総理工)
- 13.7
IPSP ルーチンによるリモートセンシングデータ視覚判
読分析のためのプログラム (12.3 の更新)
梅干野 晃 (九州大・工), 南川 喜伸 (九州大・工)
- 13.8
ADL システムの機能拡張
長沢 勲 (九州大・工), 古川 由美子 (九州大・工)
- 13.9
ユーザ定義文字の NLP 出力支援プログラムの開発
(13.3 の年度内更新)
国宗 真 (福岡女子大), 吉田 和幸 (大分大・工)
- 13.10
日本語推敲支援ツールの高速化と拡張
(13.2 の年度内更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 日並 順二 (九州大・工)
尹 志熙 (九州大・工), 荒木 啓二郎 (九州大・工)
高木 利久 (九州大・工)
- 13.11
熱物性値機械計算用汎用プログラム・パッケージの開発
(13.4 の年度内更新)
伊藤 猛宏 (九州大・工), 黒木 虎人 (九州大・工)
高田 保之 (九州大・工), 茂地 徹 (長崎大)
松本 健一 (久留米高専), 山下 宏幸 (福岡大)
- 13.12
IPSP ルーチンによるリモートセンシングデータ視覚判
読分析のためのプログラム (13.7 の年度内更新)
梅干野 晃 (九州大・工), 南川 喜伸 (九州大・工)
加藤 倍敬 (九州大・工)
- 13.13
ADL システムの機能拡張 (13.8 の年度内更新)
長沢 勲 (九州大・工), 古川 由美子 (九州大・工)
- 13.14
Prosid ユーザのための支援ツールの開発
後藤 恵之輔 (長崎大・工), 森 正寿 (長崎大・工)
- 14.1
ADL システムの機能拡張 (13.13 の更新)
長沢 勲 (九州大・工), 古川 由美子 (九州大・工)
- 14.2
熱物性値機械計算用汎用プログラム・パッケージの開発
(13.11 の更新)
伊藤 猛宏 (九州大), 黒木 虎人 (九州大)
高田 保之 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)
宮本 政英 (山口大), 茂地 徹 (長崎大)
本田 知宏 (福岡大), 山下 宏幸 (福岡大)
増岡 隆士 (九州工業大), 安田 嘉明 (九州工業大)
松本 健一 (久留米高専)
- 14.3
ユーザ定義文字の NLP 出力支援プログラムの開発
(13.9 の更新)
国宗 真 (福岡女子大), 吉田 和幸 (大分大・工)
- 14.4
日本語 SNOBOL4 の整備 (13.1 の更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 吉田 和幸 (大分大・工)
- 14.5
日本語推敲支援ツールの高速化と拡張
(13.10 の更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 尹 志熙 (九州大・工)
石田 真美 (九州大・工), 松尾 篤弥 (九州大・工)
荒木 啓二郎 (九州大・工), 高木 利久 (九州大・工)
- 14.6
IPSP ルーチンによるリモートセンシングデータ視覚判
読分析のためのプログラム (13.7 の更新)
梅干野 晃 (九州大・工), 加藤 倍敬 (九州大・工)
- 14.7
Prosid ユーザのための支援ツールの開発
(13.14 の更新)
後藤 恵之輔 (長崎大・工), 森 正寿 (長崎大・工)
- 14.8
3次元固有関数系の節曲面の特異点探索のアルゴリズム
の開発
大脇 信一 (熊本大・教養)
- 14.9
分子軌道計算プログラムシステム JAMOL3 の移植とモ
デルポテンシャル関数の組込み
酒井 嘉子 (九州大・教養), 三好 永作 (福岡歯科大)
- 14.10
形状モデラ GEOMAP3 の移植
長沢 勲 (九州大・工), 大曲 五男 (九州大・工)

1986

- 15.1
熱物性値機械計算用汎用プログラム・パッケージの開発
(14.2 の更新)
伊藤 猛宏 (九州大), 黒木 虎人 (九州大)
高田 保之 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)
宮本 政英 (山口大), 茂地 徹 (長崎大)
本田 知宏 (福岡大), 山下 宏幸 (福岡大)
増岡 隆士 (九州工業大), 安田 嘉明 (九州工業大)
松本 健一 (久留米高専)
- 15.2
ユーザ定義文字の NLP 出力支援プログラムの開発
(14.3 の更新)
国宗 真 (福岡女子大), 吉田 和幸 (大分大・工)
江口 三合一 (九州大・情教セ)
- 15.3
日本語推敲支援ツールの高速化と拡張 (14.5 の更新)
牛島 和夫 (九州大・工), 尹 志熙 (九州大・工)
荒木 啓二郎 (九州大・工), 高木 利久 (九州大・工)

1985

- 14.1
ADL システムの機能拡張 (13.13 の更新)
長沢 勲 (九州大・工), 古川 由美子 (九州大・工)

- 15.4
Prosid ユーザのための支援ツールの開発
(14.7の更新)
後藤 恵之輔 (長崎大・工), 森 正寿 (長崎大・工)
- 15.5
分子軌道計算プログラムシステム JAMOL3 の移植とモデルポテンシャル関数の組込み (14.9の更新)
酒井 嘉子 (九州大・教養), 三好 永作 (福岡歯科大)
- 15.6
形状モデラ GEOMAP3 の移植 (14.10の更新)
長沢 勲 (九州大・工), 大曲 五男 (九州大・工)
- 15.7
3次元固有関数系の節曲面の特異点探索のアルゴリズムの開発 (14.8の更新)
大脇 信一 (熊本大・教養)
- 15.8
VP用電磁流体粒子コードの開発整備
中島 秀紀 (九州大・総理工)
芝 剛之 (九州大・総理工)
吉岡 譲 (九州大・総理工)
須藤 宏之 (九州大・総理工)
志堂寺 栄治 (九州大・総理工)
- 15.9
直円管内单相流定常熱流動解析汎用プログラムの開発
伊藤 猛宏 (九州大・工), 山口 方士 (九州大・工)
山本 健 (九州大・工)
- 15.10
熱物性値機械計算汎用プログラム・パッケージの開発
(15.1の年度内更新)
伊藤 猛宏 (九州大), 黒木 虎人 (九州大)
高田 保之 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)
宮本 政英 (山口大), 茂地 徹 (長崎大)
本田 知宏 (福岡大), 山下 宏幸 (福岡大)
増岡 隆士 (九州工業大), 松本 健一 (久留米高専)
吉岡 啓介 (大分大)

1987

- 16.1
熱物性値機械計算汎用プログラム・パッケージの開発
(15.10の更新)
伊藤 猛宏 (九州大), 黒木 虎人 (九州大)
高田 保之 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)
宮本 政英 (山口大), 茂地 徹 (長崎大)
本田 知宏 (福岡大), 山下 宏幸 (福岡大)
増岡 隆士 (九州工業大), 松本 健一 (久留米高専)
吉岡 啓介 (大分大)
- 16.2
Prosid ユーザのための支援ツールの開発
(15.4の更新)
後藤 恵之輔 (長崎大・工), 森 正寿 (長崎大・工)
- 16.3
形状モデラ GEOMAP3 の移植 (15.6の更新)
長沢 勲 (九州大・工), 大曲 五男 (九州大・工)
- 16.4
VP用電磁流体粒子コードの開発整備 (15.8の更新)
中島 秀紀 (九州大・総理工)
芝 剛史 (九州大・総理工)
志堂寺 栄治 (九州大・総理工)
- 16.5
直円管内单相流定常熱流動解析汎用プログラムの開発
(15.9の更新)
伊藤 猛宏 (九州大・工), 山口 方士 (九州大・工)
山本 健 (九州大・工)

- 16.6
三次元定常熱伝導の境界要素解析プログラムの開発
木須 博之 (長崎大・工), 金丸 邦康 (長崎大・工)
浦 晟 (長崎大・工), 河原 哲也 (長崎大・工)
- 16.7
英論文編集清書システム ATF 利用のためのユーティリティの開発
国宗 真 (福岡女子大), 森山 聡之 (九州大・工)
- 16.8
ベキ級数の演算処理
田村 英之 (九州大・工), 末岡 淳男 (九州大・工)
深田 悟 (九州大・工), 綾部 隆 (九州大・工)
岡部 匡 (九州大・工)
- 16.9
調和バランス法による定常振動の計算
田村 英之 (九州大・工), 末岡 淳男 (九州大・工)
深田 悟 (九州大・工), 綾部 隆 (九州大・工)
岡部 匡 (九州大・工)
- 16.10
フーリエ級数の関数のフーリエ展開
末岡 淳男 (九州大・工), 田村 英之 (九州大・工)
深田 悟 (九州大・工), 綾部 隆 (九州大・工)
岡部 匡 (九州大・工)
- 16.11
最良多項式による陰関数の陽表示
末岡 淳男 (九州大・工), 田村 英之 (九州大・工)
深田 悟 (九州大・工), 綾部 隆 (九州大・工)
岡部 匡 (九州大・工)

1988

- 17.1
三次元定常熱伝導の境界要素解析プログラムの開発
(16.6の更新)
木須 博之 (長崎大・工), 河原 哲也 (長崎大・工)
- 17.2
英論文編集清書システム ATF 利用のためのユーティリティの開発 (16.7の更新)
国宗 真 (福岡女子大), 森山 聡之 (九州大・工)
- 17.3
熱物性値機械計算汎用プログラム・パッケージ
第 6.1 版の開発
伊藤 猛宏 (九州大), 黒木 虎人 (九州大)
高田 保之 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)
宮本 政英 (山口大), 芝地 徹 (長崎大)
本田 知宏 (福岡大), 山下 宏幸 (福岡大)
谷川 洋文 (九州工業大), 増岡 隆士 (九州工業大)
吉岡 啓介 (大分大)
- 17.4
分子計算プログラムシステム GSCF3 の移植と電子積分
計算へのベクトルアルゴリズムの導入
権藤 恭彦 (九州大・理), 八尋 秀一 (九州大・理)
- 17.5
SAS を使用するユーザのためのデータ編集支援マクロ
プログラム DATAEDIT の開発
広田 安夫 (九州歯科大)

1989

- 18.1
流体の熱物性値機械計算汎用プログラムパッケージ
PROPATH 第 7.1 版の開発
伊藤 猛宏 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)

黒木 虎人 (九州大), 芝地 徹 (長崎大)
高田 保之 (九州大), 谷川 洋文 (九州工業大)
本田 知宏 (福岡大), 増岡 隆士 (九州工業大)
宮本 政英 (山口大), 山下 宏幸 (福岡大)
吉岡 啓介 (大分大)

- 18.2
日本語清書システム JTeX の UTS への移植と出力ドライバの開発
溝口 佳寛 (九州工業大)
- 18.3
分子計算プログラムシステム GSCF3 の移植と電子積分計算へのベクトルマシナリズムの導入
(17.4 の更新)
権藤 泰彦 (九州大・理), 八尋 秀一 (九州大・理)
- 18.4
日本語清書システム JTeX の UTS への移植と出力ドライバの開発 (18.2 の年度内更新)
溝口 佳寛 (九州工業大)

1990

- 19.1
一般座標格子上で等高線図作成用プログラムサブルーチン
古川 雅人 (九州大・工)

1991

- 20.1
無衝突プラズマ波動の分散関係
羽田 亨 (九州大・教養)
- 20.2
流体の熱物性値機械計算用汎用プログラムパッケージ PROPATH 第 8.1 版の開発
伊藤 猛宏 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)
黒木 虎人 (九州大), 芝地 徹 (長崎大)
高田 保之 (九州大), 谷川 洋文 (九州工業大)
谷口 博 (北海道大), 藤田 稔彦 (東京商船大)
本田 知宏 (福岡大), 増岡 隆士 (九州工業大)
宮本 政英 (山口大), 山下 宏幸 (福岡大)
吉岡 啓介 (大分大)
- 20.3
データセットバックアップ支援ツール MTUNLOAD の改訂
水野 裕重 (九州共立大)
- 20.4
分子置換法による X 線結晶構造解析プログラムの開発
塩野 正明 (九州大・理), 阿知波 紀郎 (九州大・理)
- 20.5
建築音響計算ライブラリーの開発
大鶴 徹 (大分大・工)

1992

- 21.1
流体の熱物性値機械計算用汎用プログラムパッケージ PROPATH 第 8.1 版の開発 (20.2 の更新)
伊藤 猛宏 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)
黒木 虎人 (九州大), 芝地 徹 (長崎大)
高田 保之 (九州大), 谷川 洋文 (九州工業大)
谷口 博 (北海道大), 藤田 稔彦 (東京商船大)
本田 知宏 (福岡大), 増岡 隆士 (九州工業大)
宮本 政英 (山口大), 山下 宏幸 (福岡大)
吉岡 啓介 (大分大)

- 21.2
データセットバックアップ支援ツール MTUNLOAD の改訂 (20.3 の更新)
水野 裕重 (九州共立大)
- 21.3
建築音響計算ライブラリーの開発 (20.5 の更新)
大鶴 徹 (大分大・工)
- 21.4
デバイスシミュレータ MINIMOS の移植
黒木 幸令 (九州大・工)
- 21.5
データセットバックアップ支援ツール MTUNLOAD の改訂 (21.2 の年度内更新)
水野 裕重 (九州共立大)

1993

- 22.1
デバイスシミュレータ MINIMOS の移植
(21.4 の更新)
黒木 幸令 (九州大・工)
- 22.2
X 線結晶構造解析用プログラム UNICS VI の開発
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 22.3
流体の熱物性値機械計算用汎用プログラムパッケージ PROPATH 第 9.1 版の開発
伊藤 猛宏 (九州大), 加藤 泰生 (山口大)
黒木 虎人 (九州大), 芝地 徹 (長崎大)
高田 保之 (九州大), 谷川 洋文 (九州工業大)
谷口 博 (北海道大), 藤田 稔彦 (東京商船大)
本田 知宏 (福岡大), 増岡 隆士 (九州工業大)
宮本 政英 (山口大), 桃木 悟 (長崎大)
山下 宏幸 (福岡大), 吉岡 啓介 (大分大)

1994

- 23.1
流体の熱物性値機械計算用汎用プログラムパッケージ PROPATH 第 9.1 版の開発 (22.3 の更新)
伊藤 猛宏 (九州大), 岩本 哲夫 (大分大)
加藤 泰生 (山口大), 黒木 虎人 (九州大)
芝地 徹 (長崎大), 高田 保之 (九州大)
谷川 洋文 (九州工業大), 谷口 博 (北海道大)
濱武 俊朗 (大分大), 藤田 稔彦 (東京商船大)
本田 知宏 (福岡大), 増岡 隆士 (九州工業大)
宮本 政英 (山口大), 桃木 悟 (長崎大)
山下 宏幸 (福岡大), 吉岡 啓介 (大分大)

公用データベース開発課題一覧 (1982 ~ 1993)

この資料は、1982年から開始された九州大学大型計算機センター公用データベース開発課題として開発を承認された課題の一覧です。見出しの年は年度を意味します。また、開発課題に付けられた番号は、センターで便宜的にふつた番号です。また、開発者の所属は当時のものです。

1982

- 1.1
ケンブリッジ・ファイルの提供
河野 重昭 (九州大・教養)
- 1.2
ケンブリッジ結晶データのデータベースのためのアプリケーション・プログラムの開発
河野 重昭 (九州大・教養)
- 1.3
日本語単語辞書の提供
吉田 将, 日高 達, 田中 武美,
吉村 賢治 (九州大・工)
- 1.4
日本語単語辞書利用のためのソフトウェアの開発
吉田 将, 日高 達, 田中 武美,
吉村 賢治 (九州大・工)
- 1.5
トーマス・マン・ファイルの提供
樋口 忠治 (九州大・教養)
- 1.6
DNA塩基配列ファイルの提供
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)
- 1.7
DNA塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)

1983

- 2.1
ケンブリッジ・ファイルの提供 (1.1の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 2.2
ケンブリッジ結晶データのデータベースのためのアプリケーション・プログラムの開発 (1.2の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 2.3
日本語単語辞書の提供 (1.3の更新)
吉田 将, 日高 達, 田中 武美,
吉村 賢治 (九州大・工)
- 2.4
日本語単語辞書利用のためのソフトウェアの開発 (1.4の更新)
吉田 将, 日高 達, 田中 武美,
吉村 賢治 (九州大・工)
- 2.5
トーマス・マン・ファイルの提供 (1.5の更新)
樋口 忠治 (九州大・教養)
- 2.6
DNA塩基配列ファイルの提供 (1.6の更新)
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)

- 2.7
DNA塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (1.7の更新)
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)

1984

- 3.1
ケンブリッジ・ファイルの提供 (2.1の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 3.2
ケンブリッジ結晶データのデータベースのためのアプリケーション・プログラムの開発 (2.2の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 3.3
日本語単語辞書の提供 (2.3の更新)
吉田 将, 日高 達, 田中 武美 (九州大・工),
吉村 賢治 (福岡大・工)
- 3.4
日本語単語辞書利用のためのソフトウェアの開発 (2.4の更新)
吉田 将, 日高 達, 田中 武美 (九州大・工),
吉村 賢治 (福岡大・工)
- 3.5
トーマス・マン・ファイルの提供 (2.5の更新)
樋口 忠治 (九州大・教養)
- 3.6
DNA塩基配列ファイルの提供 (2.6の更新)
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)
- 3.7
DNA塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (2.7の更新)
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)
- 3.8
サザニーフファイル
西村 重雄, 児玉 寛, 滝沢 栄治 (九州大・法)
- 3.9
RAMBIOS
林 健児, 和田 雅美 (東京理科大・理)

1985

- 4.1
ケンブリッジ・ファイルの提供 (3.1の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 4.2
ケンブリッジ結晶データのデータベースのためのアプリケーション・プログラムの開発 (3.2の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 4.3
日本語単語辞書の提供 (3.3の更新)
吉田 将, 日高 達, 中村 貞吾,
松延 栄治 (九州大・工)

- 4.4
日本語単語辞書利用のためのソフトウェアの開発 (3.4の更新)
吉田 将, 日高 達, 中村 貞吾,
松延 栄治 (九州大・工)
- 4.5
トーマス・マン・ファイルの提供 (3.5の更新)
樋口 忠治 (九州大・教養)
- 4.6
DNA 塩基配列ファイルの提供 (3.6の更新)
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)
- 4.7
DNA 塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (3.7の更新)
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)
- 4.8
サヴィニーファイル (3.8の更新)
西村 重雄, 児玉 寛, 滝沢 栄治 (九州大・法)
- 4.9
RAMBIOS (3.9の更新)
林 健児, 森田 晶宏, 和田 雅美 (東京理科大・理)
- 4.10
JMARC
平木 しげ子 (京都産業大・理)
- 4.11
ネットワーク用検索システム TROIKA の作成
平木 しげ子 (京都産業大・理)
- 4.12
昆虫ファイル
多田内 修 (九州大・農)

1986

- 5.1
ケンブリッジ・ファイルの提供 (4.1の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 5.2
ケンブリッジ結晶データのデータベースのためのアプリケーション・プログラムの開発 (4.2の更新)
河野 重昭 (九州大・教養)
- 5.3
日本語単語辞書の提供 (4.3の更新)
吉田 将, 日高 達, 中村 貞吾,
松延 栄治 (九州大・工)
- 5.4
日本語単語辞書利用のためのソフトウェアの開発 (4.4の更新)
吉田 将, 日高 達, 中村 貞吾,
松延 栄治 (九州大・工)
- 5.5
トーマス・マン・ファイルの提供 (4.5の更新)
樋口 忠治 (九州大・教養)
- 5.6
DNA 塩基配列ファイルの提供 (4.6の更新)
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)
- 5.7
DNA 塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (4.7の更新)
榊 佳之 (九州大・医), 久原 哲 (九州大・農)
- 5.8
サヴィニーファイルの提供 (4.8の更新)
西村 重雄, 児玉 寛 (九州大・法)

- 5.9
RAMBIOS の提供 (4.9の更新)
林 健児, 森田 晶宏, 和田 雅美 (東京理科大・理)
- 5.10
昆虫ファイルの提供 (4.12の更新)
多田内 修 (九州大・農)
- 5.11
プロテイン・データバンクの提供
郷 信広 (九州大・理), 野口 俊之 (九州大・工)
- 5.12
自然災害科学データベースの提供
平野 宗夫 (九州大・工)

1987

- 6.1
ケンブリッジ・ファイルの提供 (5.1の更新)
上地 哲雄, 川東 哲雄 (九州大・教養) 河野 重昭 (九州女学院短大)
- 6.2
ケンブリッジ結晶データのためのアプリケーション・プログラムの開発 (5.2の更新)
上地 哲雄, 川東 哲雄 (九州大・教養) 河野 重昭 (九州女学院短大)
- 6.3
日本語単語辞書の提供 (5.3の更新)
日高 達, 中村 貞吾, 富浦 洋一 (九州大・工),
吉田 将 (九州工業大・情報工)
- 6.4
トーマス・マン・ファイルの提供 (5.5の更新)
樋口 忠治 (九州大・教養)
- 6.5
DNA 塩基配列ファイルの提供 (5.6の更新)
榊 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 6.6
DNA 塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (5.7の更新)
榊 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 6.7
サヴィニー・ファイルの提供 (5.8の更新)
西村 重雄, 児玉 寛 (九州大・法)
- 6.8
RAMBIOS の提供 (5.9の更新)
林 健児, 森田 晶宏, 和田 雅美 (東京理科大・理)
- 6.9
昆虫ファイルの提供 (5.10の更新)
多田内 修 (九州大・農)
- 6.10
自然災害科学データベースの提供 (5.12の更新)
平野 宗夫, 森山 聡之, 林 重徳 (九州大・工)
- 6.11
テキストデータベース管理システム SIGMA の開発
有川 節夫, 武谷 俊一 (九州大・理),
篠原 武 (九州大・情報工),
宮原 哲治, 川崎 洋治, 井上 仁 (九州大・総理工)

1988

- 7.1
ケンブリッジ・ファイルの提供 (6.1の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)

- 7.2
ケンブリッジ結晶データのためのアプリケーション・プログラムの開発 (6.2の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 7.3
日本語単語辞書の提供 (6.3の更新)
日高 達, 中村 貞吾, 富浦 洋一 (九州大・工),
吉田 将 (九州工業大・情報工)
- 7.4
トーマス・マン・ファイルの提供 (6.4の更新)
樋口 忠治 (九州大・教養)
- 7.5
DNA塩基配列ファイルの提供 (6.5の更新)
榑 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 7.6
DNA塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (6.6の更新)
榑 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 7.7
サヴィニー・ファイルの提供 (6.7の更新)
西村 重雄, 児玉 寛 (九州大・法)
- 7.8
RAMBIOSの提供 (6.8の更新)
林 健児, 森田 晶宏, 和田 雅美 (東京理科大・理)
- 7.9
昆虫ファイルの提供 (6.9の更新)
多田内 修 (九州大・農)
- 7.10
自然災害科学データベースの提供 (6.10の更新)
平野 宗夫, 森山 聡之, 林 重徳 (九州大・工)
- 7.11
テキストデータベース管理システム SIGMA の開発 (6.11の更新)
有川 節夫 (九州大・理), 武谷 俊一 (九州大・計数),

篠原 武 (九州大・情報工), 宮原 哲治 (九州大・理),

竹田 正幸, 蓑原 伸一 (九州大・総理工)
- 7.12
ゲート・ファイルの提供
樋口 忠治 (九州大・教養)
- 8.6
DNA塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (7.6の更新)
榑 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 8.7
サヴィニー・ファイルの提供 (7.7の更新)
西村 重雄 (九州大・法), 児玉 寛 (大阪市立大)
- 8.8
RAMBIOSの提供 (7.8の更新)
林 健児, 森田 晶宏, 和田 雅美 (東京理科大・理)
- 8.9
昆虫ファイルの提供 (7.9の更新)
多田内 修 (九州大・農)
- 8.10
自然災害科学データベースの提供 (7.10の更新)
平野 宗夫, 森山 聡之, 林 重徳 (九州大・工)
- 8.11
テキストデータベース管理システム SIGMA の開発 (7.11の更新)
有川 節夫 (九州大・理), 武谷 俊一 (九州大・計数),

篠原 武 (九州工業大・情報工), 宮原 哲治 (九州大・理),
竹田 正幸, 蓑原 伸一 (九州大・総理工)
- 8.12
ゲート・ファイルの提供 (7.12の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)

1990

1989

- 8.1
ケンブリッジ結晶データベースの提供 (7.1の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 8.2
ケンブリッジ結晶データのためのアプリケーション・プログラムの開発 (7.2の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 8.3
日本語単語辞書の提供 (7.3の更新)
日高 達, 中村 貞吾, 富浦 洋一 (九州大・工),
吉田 将 (九州工業大・情報工)
- 8.4
トーマス・マン・ファイルの提供 (7.4の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)
- 8.5
DNA塩基配列ファイルの提供 (7.5の更新)
榑 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 9.1
ケンブリッジ結晶データベースの提供 (8.1の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 9.2
ケンブリッジ結晶データのためのアプリケーション・プログラムの開発 (8.2の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 9.3
日本語単語辞書の提供 (8.3の更新)
日高 達, 中村 貞吾, 富浦 洋一 (九州大・工)
吉田 将 (九州工業大・情報工)
- 9.4
トーマス・マン・ファイルの提供 (8.4の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)
- 9.5
DNA塩基配列ファイルの提供 (8.5の更新)
榑 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 9.6
DNA塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (8.6の更新)
榑 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 9.7
サヴィニー・ファイルの提供 (8.7の更新)
西村 重雄 (九州大・法), 児玉 寛 (大阪市立大)
- 9.8
RAMBIOSの提供 (8.8の更新)
林 健児, 森田 晶宏, 和田 雅美 (東京理科大・理)
- 9.9
昆虫学データベースの提供 (8.9の更新)
多田内 修 (九州大・農)

- 9.10
自然災害科学データベースの提供 (8.10の更新)
平野 宗夫, 熊谷 順, 林 重徳 (九州大・工)
- 9.11
テキストデータベース管理システム SIGMA の開発 (8.11の更新)
有川 節夫 (九州大・理), 武谷 俊一 (九州大・計数),

篠原 武 (九州工業大・情報工), 宮原 哲治 (九州大・教養),
竹田 正幸 (九州大・工), 内田 智之 (九州大・総理工)
- 9.12
ゲート・ファイルの提供 (8.12の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)

1991

- 10.1
ケンブリッジ結晶データベースの提供 (9.1の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 10.2
ケンブリッジ結晶データのためのアプリケーション・プログラムの開発 (9.2の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 10.3
日本語単語辞書の提供 (9.3の更新)
日高 達, 中村 貞吾, 富浦 洋一 (九州大・工),
吉田 将 (九州工業大・情報工)
- 10.4
トーマス・マン・ファイルの提供 (9.4の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)
- 10.5
GENEDB
榊 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 10.6
DNA塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (9.6の更新)
榊 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 10.7
サヴィニー・ファイルの提供 (9.7の更新)
西村 重雄 (九州大・法), 児玉 寛 (大阪市立大)
- 10.8
RAMBIOS の提供 (9.8の更新)
林 健児, 森田 晶宏, 和田 雅美 (東京理科大・理)
- 10.9
昆虫学データベースの提供 (9.9の更新)
多田内 修 (九州大・農)
- 10.10
自然災害科学データベースの提供 (9.10の更新)
平野 宗夫, 熊谷 順, 林 重徳 (九州大・工)
- 10.11
テキストデータベース管理システム SIGMA の開発 (9.11の更新)
有川 節夫 (九州大・理), 武谷 俊一 (九州大・計数),

篠原 武 (九州工業大・情報工), 宮原 哲治 (九州大・教養),
竹田 正幸 (九州大・工), 内田 智之 (九州大・総理工)
- 10.12
ゲート・ファイルの提供 (9.12の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)

- 10.13
情報検索システム AIR のメンテナンス
松尾 文視, 竹田 正幸 (九州大・工),
篠原 武 (九州工業大・情報工), 二村 祥一 (大分大・工)
- 10.14
有害動物学データベース
上村 清 (富山医科薬科大・医)
- 10.15
テキストデータベース管理システム adbis の保守
高木 利久 (九州大・情報)

1992

- 11.1
ケンブリッジ結晶データベースの提供 (10.1の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 11.2
ケンブリッジ結晶データのためのアプリケーション・プログラムの開発 (10.2の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 11.3
日本語単語辞書の提供 (10.3の更新)
日高 達, 中村 貞吾, 富浦 洋一 (九州大・工)
吉田 将 (九州工業大・情報工)
- 11.4
トーマス・マン・ファイルの提供 (10.4の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)
- 11.5
GENEDB (10.5の更新)
榊 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 11.6
DNA塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・プログラムの開発 (10.6の更新)
榊 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 11.7
サヴィニー・ファイルの提供 (10.7の更新)
西村 重雄 (九州大・法), 児玉 寛 (大阪市立大)
- 11.8
昆虫学データベースの提供 (10.8の更新)
多田内 修 (九州大・農)
- 11.9
自然災害科学データベースの提供 (10.9の更新)
平野 宗夫, 熊谷 順, 林 重徳 (九州大・工)
- 11.10
テキストデータベース管理システム SIGMA の開発 (10.11の更新)
有川 節夫 (九州大・理), 武谷 俊一 (九州大・計数),

篠原 武 (九州工業大・情報工), 宮原 哲治 (九州大・教養),
竹田 正幸 (九州大・工), 井上 仁 (九州大・計数)
- 11.11
ゲート・ファイルの提供 (10.12の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)
- 11.12
情報検索システム AIR のメンテナンス (10.13の更新)

松尾 文視, 竹田 正幸 (九州大・工),
篠原 武 (九州工業大・情報工), 二村 祥一 (大分大・工)

- 11.13
有害動物学データベース (10.14 の更新)
上村 清, 荒川 良 (富山医科薬科大・医),
前田 理 (元 京都市衛生研),
倉橋 弘 (国立予防衛生研),
宮城 一郎 (琉球大・医)
- 11.14
テキストデータベース管理システム adbis の保守 (10.15
の更新)
高木 利久 (東京大・医科研)

上村 清, 荒川 良 (富山医科薬科大・医),
前田 理 (元 京都市衛生研),
倉橋 弘 (国立予防衛生研),
宮城 一郎 (琉球大・医)

1993

- 12.1
ケンブリッジ結晶データベースの提供 (11.1 の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 12.2
ケンブリッジ結晶データのためのアプリケーション・プ
ログラムの開発 (11.2 の更新)
河野 重昭 (九州女学院短大)
- 12.3
日本語単語辞書の提供 (11.3 の更新)
日高 達, 中村 貞吾, 富浦 洋一 (九州大・工),
吉田 将 (九州工業大・情報工)
- 12.4
トーマス・マン・ファイルの提供 (11.4 の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)
- 12.5
GENEDB (11.5 の更新)
榊 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 12.6
DNA 塩基配列ファイル利用のためのアプリケーション・
プログラムの開発 (11.6 の更新)
榊 佳之 (九州大・遺伝情報), 久原 哲 (九州大・農)
- 12.7
サヴィニー・ファイルの提供 (11.7 の更新)
西村 重雄 (九州大・法), 児玉 寛 (大阪市立大)
- 12.8
昆虫学データベースの提供 (11.8 の更新)
多田内 修 (九州大・農)
- 12.9
自然災害科学データベースの提供 (11.9 の更新)
平野 宗夫, 熊谷 順, 林 重徳 (九州大・工)
- 12.10
テキストデータベース管理システム SIGMA の開発 (11.10
の更新)
有川 節夫 (九州大・理), 武谷 俊一 (九州大・計数),

篠原 武 (九州工業大・情報工), 宮原 哲治 (九州大・
教養),
井上 仁 (九州大・計数)
- 12.11
ゲーテ・ファイルの提供 (11.11 の更新)
樋口 忠治 (九州大・言語文化)
- 12.12
情報検索システム AIR のメンテナンス (11.12 の更新)

松尾 文観, 竹田 正幸 (九州大・工),
篠原 武 (九州工業大・情報工), 二村 祥一 (大分大・
工)
- 12.13
有害動物データベース (11.13 の更新)

九州大学大型計算機センター公用データベース一覧

(1994年5月現在)

データベース	データベースの内容	管理システム	データベース作成者	データベース提供者	サービス開始
INSPEC-A	英文二次文献 物理学関係 (1969～) 文献数 2,857,554	AIR	英国電気学会 (IEE)	九州大学 大型計算機センター	80年10月
INSPEC-B	英文二次文献 電気・電子工学関係 (1969～) 文献数 1,501,051	同上	同上	同上	同上
INSPEC-C	英文二次文献 制御工学, 計算機科学, 情報工学関係 (1969～) 文献数 1,164,035	同上	同上	同上	79年11月
INSPEC-J	INSPEC 収録雑誌 1993年版雑誌数 6,490	同上	同上	同上	80年10月
JICST-J	和文二次文献 情報工学関係 (1981～) 文献数 292,088	同上	日本科学技術情報 センター	同上	81年12月
CXDB	有機及び有機金属化合物 の結晶構造データ 1935年以降 123,159件 (Seep版)	Adbis	ケンブリッジ大学 結晶学データセンター	上地 哲雄 (九州大学教養部)	82年11月
日本語 単語辞書	日本語単語辞書 単語数 約 92,000 見出し語数 約 197,000	拡張 B 木 による検索 プログラム	稲永 紘之 (九州芸術工科大学)	日高 達 (九州大学工学部)	83年7月
トーマス・ マン・ ファイル	フィッシャー版 トーマス・マン全集 全 13 巻 11,410 頁	SIGMA	樋口 忠治 (九州大学言語文化部)	同左	同上
GENEDB	ヌクレオチド配列データ 塩基配列数 21,248 塩基配列数 22,938 蛋白質配列データ アミノ酸配列数 5,980	Adbis	EMBL ロスアラモス研究所 NBRF	榊 佳之 (東京大学医科学研究所) (注1)	同上
RAMBIOS	英文書誌情報 生物物理学, 生化学, 分子生物学, 分子生理学関係 件数 5,381	AIR	RAMBIOS 刊行会	九州大学 大型計算機センター	85年11月
昆虫学 データベース (KONCHU)	昆虫学雑誌からの 書誌情報 件数 約 50,000	SIGMA	多田内 修 (九州大学農学部)	同左	87年11月
ゲーテ・ ファイル	ハンブルク版ゲーテ全集 全 14 巻 約 6,800 頁 ワイマル版ゲーテ全集 1～40巻 約 10,000 頁	同上	樋口 忠治 (九州大学言語文化部)	同左	88年4月

注1: この公用データベースの提供のための課題は平成5年度で終了した。現在 UXP 上の新 GENEDB への移行が進められている。

データベース	データベースの内容	管理システム	データベース作成者	データベース提供者	サービス開始
GENEDB	ヌクレオチド配列データ および蛋白質配列データ 71,256 件	Seep	EMBL ロスアラモス研究所 NBRF	榊 佳之 (東京大学医科学研究所)	93 年 2 月 (注 2)
CXDB	有機及び有機金属化合物 の結晶構造データ 1935 年以降 123,159 件	Seep	ケンブリッジ大学 結晶学データセンター	上地 哲雄 (九州大学教養部)	94 年 6 月 (注 3)

注 2：センターニュースによる公表が行われた時期。

注 3：センター広報による公表が行われる予定時期。

講習会実施一覧

本センターで開催した講習会を開催順に列挙した。同一年度に複数回開催されたものはそのつど名前をあげている。

昭和43年度

ALGOL初級講習会
FORTRAN初級講習会
ALGOL中級講習会
FORTRAN中級講習会
FORTRAN中級講習会

昭和44年度

FORTRAN初級講習会
ALGOL初級講習会
FORTRAN中級講習会
ALGOL中級講習会
FORTRAN初級講習会
ALGOL初級講習会

昭和45年度

FORTRAN初級講習会
ALGOL初級講習会
FORTRAN初級講習会
FORTRAN中級講習会
ALGOL中級講習会
FORTRAN中級講習会
FORTRAN初級講習会

昭和46年度

FORTRAN初級講習会
ALGOL初級講習会
ファイル利用に関する講習会
FORTRAN中級講習会
ALGOL中級講習会
FORTRAN初級講習会

昭和47年度

アプリケーション上級講習会
FORTRAN初級講習会
ALGOL初級講習会
FORTRAN中級講習会
ALGOL中級講習会
FORTRAN初級講習会
TSS上級講習会
ファイル上級講習会

昭和48年度

ALGOL初心者講習会
FORTRAN初心者講習会
TSS講習会
ジョブ制御マクロ講習会
TSS講習会
X-Yプロッタ講習会
紙テープ講習会
ファイル講習会
ALGOL講習会
FORTRAN講習会
FORTRAN初心者講習会

昭和49年度

グラフィック講習会
グラフィック講習会
ALGOL講習会
FORTRAN初心者講習会
TSS講習会
TSS講習会
ファイル講習会
FORTRAN講習会
FORTRAN初心者講習会

昭和50年度

TSS講習会
ファイル講習会
FORTRAN初心者講習会
FORTRAN講習会
FORTRAN初心者講習会
FORTRAN-H講習会

昭和51年度

FORTRAN初心者講習会
SPSS講習会
ファイル講習会
TSS講習会
TSS講習会
ジョブ制御マクロ講習会
XYプロッタ講習会
初心者講習会

昭和52年度

センター利用説明会
ファイル講習会
TSS講習会
M-160利用説明会
新システム利用説明会
新システム利用説明会
FORTRAN利用説明会
データセット利用説明会
TSS利用説明会
データセット利用説明会
TSS利用説明会
磁気テープ利用説明会
FORTRAN利用説明会
データセット利用説明会
TSS利用説明会

昭和53年度

センター利用説明会
FORTRAN初心者向利用説明会
出力検索システム利用説明会
データセット利用説明会
TSS利用説明会
PL/I利用説明会
FORTRAN利用説明会
XYプロッタ, グラフィック利用説明会
フロッピーディスク利用説明会
PLOT10 利用説明会
PASCAL利用説明会

昭和54年度

センター利用説明会
ジョブ制御言語利用説明会
TSS利用説明会(第一回)
PASCAL利用説明会
FORTRAN利用説明会
PL/I利用説明会
XYプロッタ, グラフィック利用説明会
MCBS・CPR利用説明会
TSS利用説明会(第二回)
SALS利用説明会

昭和55年度

センター利用説明会
TSS講習会(第一回)
FORTRAN IV 初級講習会
数学ルーチン講習会

OCR講習会

APL講習会
プロッタ, グラフィックス講習会
SPSS講習会
FORTRAN 中級講習会
日本語処理講習会
TSS講習会(第二回)
FAIRS講習会

昭和56年度

センター利用説明会
FORTRAN 初級講習会
INSPEC検索講習会
オープン利用機器講習会
OCR講習会
TSS講習会
プロッタ講習会
JEF講習会
Adbis/DMP講習会
FAIRS/データベース作成講習会
FORTRAN講習会
SAS講習会
AXEL講習会
Adbis/HSI講習会

昭和57年度

センター利用説明会
FORTRAN初級講習会
FAIRS/データベース検索講習会
FAIRS/データベース作成講習会
TSS講習会
日本語情報システム(JEF)講習会
カラー画像表示装置グラフィカル
シリーズ講習会
統計解析システムSAS,
SAS/GRAPH講習会
XDT講習会

昭和58年度

センター利用講習会
FAIRS/データベース検索・作成講習会
SIGMAシステム利用講習会
画像データ処理システムPROSID講習会
DNA塩基配列データベースシステム
GENAS利用講習会
XDT講習会
INSPEC検索講習会

東大大型センターの
スーパーコンピュータ利用講習会
東大大型センター情報検索システム
TOOL-IRによるCASとULP検索講習会

昭和59年度

センター利用講習会
INSPEC検索講習会
FORTRAN講習会
TSS講習会
N-1ネットワーク講習会
日本語処理講習会
画像処理講習会
TSS初心者講習会
PFD-TTY講習会
統計データ処理パッケージ
ANALYST講習会
図形処理講習会
PFD-TTY講習会
画像データ処理システムPROSID講習会

昭和60年度

センター利用講習会
SAS講習会
N-1ネットワーク講習会
TSS初級講習会
INSPEC検索講習会
REDUCE講習会
PFD-TTY講習会
TSS初級講習会
PFD-TTY講習会
文書処理システムODM講習会
第一回VP講習会
ANALYST講習会
PROLOG講習会
図形処理講習会
GENAS講習会
第二回VP講習会
第三回VP講習会

昭和61年度

センター利用講習会
TSS支援ツール講習会
ICAD講習会
文献情報検索講習会
FORTRAN77講習会
VP講習会

TSS初級講習会
大学間ネットワーク講習会
パソコン端末講習会
TSS初級講習会
トーマス・マン・ファイル検索講習会
UTILISP講習会
フロッピーディスク講習会
VP講習会
APL入門講習会
文書処理システムODM講習会
統計データ処理パッケージ
ANALYST講習会

昭和62年度

センター利用講習会
FORTRAN77講習会
VP講習会
文献情報検索講習会
TSS初級講習会
TSS初級講習会
C言語講習会
パソコン端末講習会
PROLOG言語講習会
大学間ネットワーク講習会
TSS初級講習会
UTS利用講習会
フロッピーディスク講習会
画像処理システムFIVIS講習会(1)
FORTRAN77講習会
画像処理システムFIVIS講習会(2)
VP講習会
テキストデータベース管理システム
SIGMA, 公用データベーストーマス・
マン・ファイル, 昆虫学データ
ベース合同講習会

昭和63年度

センター利用講習会
UTS利用講習会
FORTRAN77講習会
文献情報検索講習会
TeX講習会
TSS初級講習会
VP講習会
TSS初級講習会
パソコン端末講習会
大学間ネットワーク講習会

AD変換講習会
トーマス・マン・ファイル検索講習会
VP講習会

平成元年度

TSS初級講習会(1)
FORTRAN77講習会
TSS初級講習会(2)
VP講習会(1)
UTS利用講習会
文献情報検索講習会
遺伝子情報データベース検索講習会
S講習会
SAS講習会
パソコン端末講習会
大学間ネットワーク講習会
LaTeX講習会
ANALYST講習会
SPSS/X講習会
IPEX入門講習会
トーマス・マン・ファイルと
ゲータ・ファイルの検索講習会
GRAPHMAN入門講習会
VP講習会(2)
ケンブリッジ結晶データベース講習会

平成2年度

TSS初級講習会(1)
FORTRAN77講習会
TSS初級講習会(2)
VP講習会
UTS利用講習会
文献情報検索講習会
昆虫学データベース講習会
SASによる統計解析講習会
S(UTS上の統計パッケージ)講習会
パソコン端末講習会
大学間ネットワーク講習会
JTeX入門講習会
遺伝子・蛋白質データベース
GENAS講習会
GKS85講習会

平成3年度

TSS初級講習会
FORTRAN77使用法講習会
UTS利用講習会

パソコン端末講習会
文献情報検索講習会
ISDN利用講習会
VP使用法講習会
トーマス・マン・ファイル及び
ゲータ・ファイルの検索講習会
SPSS-Xによるデータ解析講習会
電子メール利用講習会
ケンブリッジ結晶データベース講習会
MARC・MENTATの利用法講習会

平成4年度

TSS初級講習会
FORTRAN77使用法講習会
UXP利用講習会
TSS初級(臨時)講習会
文献情報検索講習会
パソコン端末講習会
VP講習会
電子メール利用講習会
PKS講習会
VPチューニングツール利用講習会
ANALYSTの使用法講習会
mathematica(UXP)講習会
ネットワークとセキュリティ
に関する講習会
ケンブリッジ結晶データベース講習会

平成5年度

TSS初級講習会
FORTRAN使用法(MSP)講習会
UXP利用講習会
パソコン端末講習会
文献情報検索講習会
VP講習会
電子メール講習会
PKS講習会
LANによるセンターホストの利用講習会
SPSS/X講習会
ケンブリッジ結晶データベース講習会
テキストデータベース講習会
AVS講習会

利用の手引一覧

昭和44年

「手続編」「制御文編」「T S S編」「ライブラリ編」「X-Yプロッタ・紙テープ編」

昭和47年

「手続編」「基本編」「制御文編」「ファイル編」「T S S編」

昭和48年

「ライブラリ編」「X-Yプロッタ・紙テープ編」

昭和51年

「ジョブ制御文編」「会話型処理編」「ライブラリ編」「紙テープ編」

昭和52年

「ジョブ制御文編(第1版)」「ファイル編」→「データセット編」

昭和53年

「基本編」「基本編(第2版)」「T S S編」

昭和54年

「基本編(第3版)」「ジョブ制御文編(第2版)」「T S S編」

昭和55年

「基本編(第4版)」

昭和56年

「基本編(第5版)」「ジョブ制御文編(第3版)」「T S S編」

昭和57年

「基本編(第6版)」

昭和59年

「基本編(第7版)」「T S S編」

昭和61年

「基本編(第8版)」

昭和63年

「基本編」「ネットワーク編」

平成元年

「T S S編」「ネットワーク編(第2版)」

平成2年

「基本編(第2版)」「T S S編」「センターコマンド編」「ネットワーク編(第3版)」

平成3年

「基本編(1991年版)」「バッチジョブ編」

平成4年

「基本編」「バッチジョブ編(第2版)」

平成5年

「基本編」「T S S編」「M S Pコマンド編」「ネットワーク編(第4版)」

平成6年

「基本編」「ライブラリ編(第2版)」「M S P : TCP/IP編」

研究開発部研究業績

このリストには、これまでに調査することのできた文献等のみを収録している。ここに含まれていない時期の研究業績の調査を引き続き行っている。

1 著書・解説・論文

1. 松尾文碩, 二村祥一, 高木利久, 吉田将: INSPEC データベース転置ファイル生成における不要語選択法, 九州大学工学集報, Vol. 54, No. 2, pp. 99-105, 1981.3.
2. 松尾文碩, 二村祥一, 高木利久, 吉田将: 高速検索のための単語辞書索引の一構成法, 九州大学工学集報, Vol. 54, No. 3, pp. 183-187, 1981.6.
3. 松尾文碩, 二村祥一, 吉田将: 英文テキスト圧縮についての一考究, 九州大学工学集報, Vol. 54, No. 4, pp. 407-409, 1981.8.
4. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 科学技術論文抄録における単語の統計的性質, 九州大学工学集報, Vol. 54, No. 4, pp. 411-416, 1981.8.
5. 松尾文碩, 二村祥一, 吉田将: 準最適テキスト圧縮符号, 九州大学工学集報, Vol. 55, No. 2, pp. 103-106, 1982.3.
6. 松尾文碩, 二村祥一, 高木利久: 推論関係型データベース管理システム Adbis, 情報処理学会論文誌, Vol. 24, No. 2, pp. 249-255, 1983.3.
7. Kuhara, S., Matsuo, F., Futamura, S., Fujita, A., Shinohara, T., Takagi, T., and Sakaki, Y.: GENAS: a Database System for Nucleic Acid Sequence Analysis, Nucleic Acids Res., Vol. 12, No. 1, pp. 89-99, 1984.1.
8. 松尾文碩: Horn 集合の決定性反証によって計算可能な数論的関数, 情報処理学会論文誌, 第 25 巻, 第 3 号, pp. 437-442, 1984.5.
9. 松尾文碩, 高木利久: データベース操作のための Horn 集合反証器, 情報処理学会論文誌, 第 25 巻, 第 3 号, pp. 458-464, 1984.5.
10. Arikawa, S. and Shinohara, T.: A Run-Time Efficient Realization of Aho-Corasick Pattern Matching Machines, New Generation Computing, Vol. 2, No. 2, pp. 171-186, 1984.5.
11. 松尾文碩, 二村祥一, 篠原武: 高順位単語の生起特性を利用した情報検索技法, 情報処理学会自然言語処理技術シンポジウム論文集, pp. 1-9, 1984.11.
12. Matsuo, F., Takagi, T., and Futamura, S.: A Horn Set Refuter for Information Systems, Proc. Int. Computer Symp. '84, pp. 1448-1454, 1984.12.
13. 松尾文碩, 高木利久, 二村祥一, 鬼塚千代子: N-1 ネットワーク上にある広域分散配置学術情報システム群のためのメタデータシステム metaDATA83, 情報処理学会アドバンスト・データベース・システム・シンポジウム論文集, pp. 51-60, 1984.12.
14. Shinohara, T: Inductive Inference from Negative Data, Bulletin of Informatics and Cybernetics, Vol. 21, No. 3-4. pp. 67-70, 1985.3.
15. Takagi, T., Matsuo, F., Futamura, S., and Ushijima, K.: Implementation of Inferential Relational Database System, Proc. Int. Conf. on Foundations of Data Organization, pp. 406-410, 1985.5.
16. Takagi, T., Matsuo, F., and Ushijima, K.: Frame-Based Interface for Question-Answering Systems, Proc. IEEE-CS 9th Int. Computer Software & Application Conf., pp. 388-393, 1985.10.
17. 篠原武: 帰納的推論, 創造性研究 2, 創造と企業, 日本創造学会編, pp. 179-191, 1985.11.

18. Matsuo, F., Futamura, S., and Shinohara, T.: Efficient Storage and Retrieval of Very Large Document Databases, Proc. 2nd Int. Conf. on Data Engineering, pp. 456-463, 1986.2.
19. 高木利久, 松尾文碩, 牛島和夫: Horn 集合反証に基づく会話型データベース問い合わせ言語, 情報処理学会論文誌, 第 27 卷, 第 2 号, pp. 228-235, 1986.2.
20. Shinohara, T.: Inductive Inference of Formal Systems from Positive Data, Bulletin of Informatics and Cybernetics, Vol. 22, No. 1-2, pp. 9-18, 1986.3.
21. Shinohara, T.: Pattern Matching Machines for Japanese Texts, Research Report 110, Research Institute of Fundamental Information Science, Kyushu University, 1986.3.
22. Shinohara, T.: Some Problems on Inductive Inference from Positive Data, Proc. MMSSSS'85 (Lecture Notes in Computer Science 215, Springer-Verlag), pp. 41-58, 1986.7.
23. 末永正, 景川耕宇, 武富敬: 計算機システムのジョブ処理効率測定モニタ (JPTM) について, 情報処理学会論文誌, 第 27 卷, 第 10 号, pp. 988-994, 1986.10.
24. 二村祥一, 松尾文碩: 順位符号に基づく英文二次文献情報のデータ圧縮法, 情報処理学会論文誌, 第 28 卷, 第 3 号, pp. 230-239, 1987.3.
25. 景川耕宇, 武富敬, 末永正: 2 レベル階層化補助記憶システムにおける最適制御方式について, 情報処理学会論文誌, 第 28 卷, 第 5 号, pp. 516-524, 1987.5.
26. 松崎浩一, 政村佳計, 松尾文碩, 吉田将: 日本語名詞の自動抽出について, 九州大学工学集報, 第 60 卷, 第 3 号, pp. 293-298, 1987.6.
27. 二村祥一, 松尾文碩: 英文科学技術文献情報に対する不要語除去法による自動索引, 情報処理学会論文誌, 第 28 卷, 第 7 号, pp. 737-747, 1987.7.
28. 末永正, 景川耕宇, 大槻説乎: TSS 環境におけるオブジェクト指向型ユーザ・インターフェース実現の試み, 情報処理学会論文誌, 第 28 卷, 第 10 号, pp. 1071-1079, 1987.10.
29. Kambayashi, Y., Furukawa, T., and Yamamoto, H.: Nested Relation Interfaces for Relational and Network Databases, Nested Relations and Complex Objects in Databases, Lecture Notes in Computer Science, Vol. 361, Springer-Verlag, pp. 217-228, 1989.6.
30. 島崎眞昭: スーパーコンピュータとプログラミング, 計算機科学/ソフトウェア技術講座 9, 共立出版, 1989.6.
31. 古川哲也, 上林彌彦: 複数の階層に基づくデータベースの設計, 京都大学数理解析研究所講究録, Vol. 695, pp. 135-144, 1989.6.
32. Takefu, M.: Bragg Scattering of Radio Waves by Ionospheric Wavelike Irregularities, J. Geomag. Geoelectr., Vol. 41, No. 8, pp. 647-672, 1989.8.
33. Takefu, M.: Effects of Scattering on the Partial Transparency of Sporadic-E Layers: Part I (Neglecting the Earth's Magnetic Field), J. Geomag. Geoelectr., Vol. 41, No. 8, pp. 673-697, 1989.8.
34. Takefu, M.: Effects of Scattering on the Partial Transparency of Sporadic-E Layers: Part II (Including the Earth's Magnetic Field), J. Geomag. Geoelectr., Vol. 41, No. 8, pp. 699-726, 1989.8.
35. 島崎眞昭: 数値計算におけるベンチマーク, 情報処理, Vol. 31, No. 3, pp. 313-320, 1990.3.
36. 古川哲也, 木實新一, 上林彌彦: 関係データベースにおける複数結合のための結合索引の階層化, 計算機科学研究報告, 九州大学大型計算機センター, 第 7 号, pp. 1-8, 1990.3.
37. 島崎眞昭: ベクトル計算機のための FP 言語の処理系の設計と実現, 計算機科学研究報告, 九州大学大型計算機センター, 第 7 号, pp. 47-53, 1990.3.
38. 古川哲也, 上林彌彦: オブジェクト指向データベースにおける参照によるオブジェクトの関連, 京都大学数理解析研究所講究録, Vol. 731, pp. 250-261, 1990.10.

39. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: リンク構造における検索処理効率と更新処理効率の関係について, 京都大学数理解析研究所講究録, Vol. 731, pp. 286-297, 1990.10.
40. 島崎眞昭: スーパーコンピュータとベクトル/並列処理, 情報処理学会九州支部講習会「情報処理の最近の話題」—分散処理・並列処理・オブジェクト指向—, pp. 45-77, 1990.10.
41. Sato, H: Attachment of a First-Order Data Constructor and Its Application, Advances in Software Science and Technology 2, Academic Press and Iwanami Shoten, pp. 1-12, 1990.12.
42. 櫻井尚子, 島崎眞昭, 原田裕夫: 大規模線形計算パッケージ LAPACK のベクトル計算機上での性能評価について, 計算機科学研究報告, 九州大学大型計算機センター, Vol. 8, pp. 1-8, 1991.3.
43. 松延栄治, 島崎眞昭: 九州大学大型計算機センターを中心とするネットワーク構築の現状と問題点, 計算機科学研究報告, 九州大学大型計算機センター, Vol. 8, pp. 25-34, 1991.3.
44. Konomi, S. and Furukawa, T.: Updating Duplicate Values in Distributed Multidatabase Systems, Proc. Int. Workshop on Interoperability in Multidatabase Systems, pp. 243-246, 1991.4.
45. Iwaihara, M., Furukawa, T., and Kambayashi, Y.: Navigation and Schema Transformations for Producing Nested Relations from Networks, Proc. IEEE Int. Conf. on Data Engineering, 1991.4.
46. Shimasaki, M.: Needs and Seeds of Supercomputing, Introduction, Supercomputing—Applications, Algorithms, and Architectures (Ed. J. Kondo), Springer, pp. 163-166, 1991.5.
47. Takefu, M. and Hiroshige, N.: Numerical Studies of HF Doppler Variations Caused by Ionospheric Disturbances, J. Geomag. Geoelectr., Vol. 43, No. 6, pp. 477-492, 1991.6.
48. Sato, H. and Shimasaki, M.: Communication in Linda/Q – Datatypes and Unification –, Proc. 20th Int. Conf. on Parallel Processing, Vol. II, pp. 219-226, 1991.8.
49. 古川哲也, 上林彌彦: ネットワークデータ質問の非冗長な解, 電子情報通信学会論文誌, Vol. J74-D-I, No. 8, pp. 527-536, 1991.8.
50. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: ネットワーク構造における効率の良い更新処理のための条件, 電子情報通信学会論文誌, Vol. J74-D-I, No. 8, pp. 537-544, 1991.8.
51. 岩井原瑞穂, 古川哲也, 上林彌彦: リンク構造を持つデータベースからの非正規関係の効率的生成, 電子情報通信学会論文誌, Vol. J74-D-I, No. 8, pp. 545-555, 1991.8.
52. Shimasaki M., Matsusaka, Y. and Nomura, M.: Fractals in Quaternions and their Application to Computer Graphics, Proc. IFIP Working Conf. on Programming Environments for High-Level Scientific Problem Solving, pp. 61-70, 1991.9.
53. 島崎眞昭: Fortran 90 の動向, システム制御情報学会誌, システム / 制御 / 情報, Vol. 36, No. 2, pp. 72-80, 1992.2.
54. 三浦健一, 島崎眞昭: 並列処理におけるスケジューリングアルゴリズムの性能評価について, 計算機科学研究報告, 九州大学大型計算機センター, 第9号, pp. 1-7, 1992.3.
55. 佐藤周行: ストリーム I/O を用いたプログラムの導出と検証の一手法, プログラムの演繹的導出法の調査研究中間報告書第一分冊, 情報処理振興事業協会技術センター, pp. 223-230, 1992.3.
56. Shimasaki, M., Matsusaka, Y. and Nomura, M.: Fractals in Quaternions and their Application to Computer Graphics, IFIP Transactions A-2, Programming Environments for High-Level Scientific Problem Solving, in Ed. P. W. Gaffney and E. N. Houstis, North-Holland, pp. 93-105, 1992.5.
57. Konomi, S., Furukawa, T., and Kambayashi, Y.: Conditions of Efficient Updates on Network Structures, Systems and Computers in Japan, Vol. 23, No. 6, pp. 26-34, 1992.6.

58. 島崎眞昭: スーパーコンピュータの最近の動向, システム制御情報学会誌, システム / 制御 / 情報, Vol. 36, No. 8, pp. 491-495, 1992.8.
59. Shimasaki, M.: Compiling Techniques for Supercomputers, Advances in Software Science and Technology, Japan Society for Software Science and Technology, Vol. 4, pp. 1-20, 1992.12.
60. 島崎眞昭: 応用数値における電子メール/ニュースの利用, 日本応用数値学会誌, Vol. 12, No. 4, pp. 53-58, 1992.12.
61. Sato, H., Kawazu, H., and Shimasaki, M.: A Statistical Analysis of Job Processing on the Vector Computer by Using Visualization in a Supercomputing Center, Technical Report 93-01, Kyushu Univ. Computer Center, 1993.1.
62. Watanabe, Y., Nakao, M. T.: Numerical Verifications of Solutions for Nonlinear Elliptic Equations, Japan J. Indust. Appl. Math., 10, pp. 165-178, 1993.2.
63. 渡部善隆, 中尾充宏: 非線形楕円型境界値問題の解に対する精度保証付き数値計算法, 計算機科学研究報告第 10 号, 九州大学大型計算機センター, pp. 1-6, 1993.3.
64. 木實新一, 古川哲也: 連合型データベースシステムにおける具現化した導出データの管理法, 計算機科学研究報告第 10 号, 九州大学大型計算機センター, pp. 31-38, 1993.3.
65. 徐海燕, 古川哲也, 上林彌彦: 設計データベースのための導出関連ビューの実現, 情報処理学会論文誌, Vol. 34, No. 3, pp. 468-477, 1993.3.
66. 渡部善隆, 山本野人, 中尾充宏: 微分不能項を持つ楕円型方程式の解に対する検証問題について, 短期共同研究・精度保証付き数値計算とその応用報告集, 京都大学数理解析研究所講義録, Vol. 831, pp. 141-148, 1993.4.
67. Shimasaki, M. (Ed): Workshop on Benchmarking and Performance Evaluation in High Performance Computing, Organizing Committee of WBPE, 1993.7.
68. Konomi, S. and Furukawa, T.: Placement fo Replicas Including Replicated Derived Data, Proc. Int. Symp. on Next Generation Database Syst. and Their Applications, pp. 265-271, 1993.9.
69. Kuwayama, M., Saisho, K., and Fukuda, A.: A Scheme for Organization of System Servers in Microkernel-Based Operating Systems and Its Performance, Proc. Joint Conf. on Software Eng. '93, pp. 193-199, 1993.11.
70. Konomi, S., Furukawa, T., and Kambayashi, Y.: Super-key Classes for Updating Materialized Derived Classes in Object Bases, Proc. Int. Conf. on Deductive and Object-Oriented Databases, Lecture Notes in Computer Science, Vol. 760, pp. 310-326, Springer-Verlag, 1993.12.
71. Saisho, K., Kashima, H., Soejima, K., and Furukawa, Z.: Design and Implementation of User Friendly Interface for Directory Services, Proc. the 8th Int. Joint Workshop on Computer Commun., pp. H2-3-1 - H2-3-8, 1993.12.

2 講演論文

1. 松尾文碩, 二村祥一, 高木利久, 鬼塚千代子, 古城久美子: 文献データベースにおける索引語の選択と判定, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 2, pp. 169-185, 1980.11.
2. 二村祥一, 松尾文碩, 高木利久: データベース統合支援システム Adbis のデータベース管理方式, 情報処理学会第 22 回全国大会 1L-3, 1981.9.
3. 二村祥一, 松尾文碩, 高木利久: データベース統合支援システム Adbis のファイル構成と構造, 電気四学会九州支部連合大会講演論文集 751, 1981.9.
4. 松尾文碩, 古城久美子, 鬼塚千代子, 二村祥一: 文章情報データベースの圧縮, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 3, pp. 98-103, 1981.12.

5. 松尾文碩, 二村祥一, 高木利久: データベース統合支援システム Adbis, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 3, pp. 104-107, 1981.12.
6. 松尾文碩, 二村祥一, 高木利久: データベース統合支援システム Adbis の実現, 情報処理学会第 23 回全国大会 6F-3, 1982.3.
7. 松尾文碩, 高木利久, 二村祥一: 知識ベース管理システムとしての Adbis, 情報処理学会第 24 回全国大会 2K-3, 1982.9.
8. 二村祥一, 松尾文碩: 準最適符号による英文テキスト圧縮プログラムの開発, 情報処理学会第 24 回全国大会 7F-7, 1982.9.
9. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 情報検索システム AIR, 電気四学会九州支部連合大会講演論文集 735, 1982.10.
10. 古城久美子, 篠原武, 二村祥一, 松尾文碩: JOIS 型漢字端末エミュレータによる FAIRS-I/JEF の和文文献検索, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 4, pp. 104-108, 1982.11.
11. 二村祥一, 松尾文碩: オンライン検索のための文献データ圧縮技法, 情報処理学会研究報告 データベースシステム 34-No.5, pp. 1-8, 1983.2.
12. 二村祥一, 松尾文碩, 篠原武: 英文二次文献データの圧縮, 情報処理学会第 25 回全国大会 3P-11, 1983.3.
13. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 情報検索システム AIR のファイル構成, 情報処理学会第 26 回全国大会 7F-2, 1983.9.
14. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 情報検索システム AIR の設計について, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 5, pp. 89-96, 1983.12.
15. 松尾文碩, 二村祥一, 篠原武: 情報検索システム AIR の構想, 情報処理学会第 28 回全国大会講演論文集 (II), 1E-2, 1984.3.
16. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 情報検索システム AIR の設計と実現, 情報処理学会第 28 回全国大会講演論文集 (II), 1E-3, 1984.3.
17. 篠原武, 二村祥一, 松尾文碩: 情報検索システム AIR による INSPEC の検索, 情報処理学会第 28 回全国大会講演論文集 (II), 1E-4, 1984.3.
18. 松尾文碩, 高木利久, 鬼塚千代子, 二村祥一: 広域分散配置学術情報システムのための案内相談システム meta-DATA83, 情報処理学会第 28 回全国大会講演論文集 (II), 6E-7, 1984.3.
19. 高木利久, 松尾文碩, 二村祥一, 牛島和夫: Horn 集合推論系を使った質問応答支援機能, 情報処理学会第 28 回全国大会講演論文集 (II), 5H-2, 1984.3.
20. 武富敬, 平野広幸, 川崎正子, 末永正, 景川耕宇: プログラムライブラリ統合管理システム, 九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告, 第 1 号, pp. 1-9, 1984.3.
21. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 情報検索システム AIR の設計と実現について, 九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告, 第 1 号, pp. 11-17, 1984.3.
22. 武富敬: 蛋白質の構造転移現象のスーパーコンピュータによる計算機実験, 分子科学研究所 Supercomputer Workshop Report 3, pp. 125-128, 1984.8.
23. 武富敬, 平野広幸, 末永正, 景川耕宇: プログラムライブラリ統合管理システム PLIME の構成と機能, 情報処理学会第 29 回全国大会講演論文集 (I), 5D-1, 1984.9.
24. 松尾文碩, 二村祥一, 篠原武: 科学技術抄録文に関する Zipf-Booth の法則について, 情報処理学会第 29 回全国大会講演論文集 (I), 3G-1, 1984.9.
25. 篠原武, 二村祥一, 松尾文碩: 遡及文献検索における抄録からのキーワードについて, 情報処理学会第 29 回全国大会講演論文集 (II), 5F-3, 1984.9.

26. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 情報検索システム AIR の性能評価, 情報処理学会第 29 回全国大会講演論文集 (II), 7F-5, 1984.9.
27. 松尾文碩: クイック・ソートによる IBM 互換大型計算機の性能評価, 昭和 59 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 120, 1984.10.
28. 高木利久, 松尾文碩, 牛島和夫: 知識ベースのための質問応答支援機能 Waku, 昭和 59 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 122, 1984.10.
29. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 情報検索システム AIR による INSPEC データベースの構築と検索, 昭和 59 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 123, 1984.10.
30. 末永正, 景川耕宇, 吉田将: スループット直接計測法とその適用例, 昭和 59 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 121, 1984.10.
31. 入江啓一, 川崎正子, 末永正, 篠原武, 景川耕宇: TTY におけるフルスクリーンエミュレータの作成とその問題点, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 6, pp. 102-109, 1984.11.
32. 景川耕宇, 武富敬, 末永正: 階層化記憶システムにおける最適プレースアルゴリズム, 情報処理学会オペレーティング・システム研究会資料 25-6, 1984.12.
33. 篠原武, 二村祥一, 永井徳仁, 松尾文碩: 情報検索システム AIR による日本語文献の検索, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 6, pp. 97-101, 1984.11.
34. Matsuo, F.: On Word Occurrence in Scientific and Technological Texts, 情報処理学会自然言語処理研究会資料 46-2, 1984.12.
35. 末永正, 景川耕宇: 仮想計算機システムによる処理能力低下の測定, 情報処理学会第 30 回全国大会講演論文集 (I), 1B-4, 1985.3.
36. 武富敬, 平野広幸, 石氷結花, 川崎正子, 景川耕宇: センター案内情報システム NGUIDE の実現, 情報処理学会第 30 回全国大会講演論文集 (III), 7R-7, 1985.3.
37. 篠原武, 二村祥一, 松尾文碩: 逐字文字列照合法による隣接演算の実現とその効果, 情報処理学会第 30 回全国大会講演論文集 (II), 4U-6, 1985.3.
38. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: 2 階層記憶による索引語転置索引, 情報処理学会第 30 回全国大会講演論文集 (II), 4U-7, 1985.3.
39. 松尾文碩, 二村祥一, 篠原武: 索引語転置索引における文書参照ファイルの構成について, 情報処理学会第 30 回全国大会講演論文集 (II), 4U-8, 1985.3.
40. Matsuo, F., Futamura, S., and Sinohara, T.: AIR: Augmented Information Retrieval System, 九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告, 第 2 号, pp. 1-11, 1985.3.
41. 篠原武, 有川節夫: 日本語テキストのための効率的パターン照合アルゴリズム, 1985 年度夏の LA シンポジウム論文集, pp. 39-47, 1985.7.
42. 末永正, 武富敬, 景川耕宇: 仮想計算機システムによるシステム保守の損益分岐点ラインについて, 情報処理学会第 31 回全国大会講演論文集 (I), 6C-2, 1985.9.
43. 篠原武, 松尾文碩, 二村祥一: 高速ブール演算のための効果的転置ファイル構成法, 情報処理学会第 31 回全国大会講演論文集 (II), 7B-9, 1985.9.
44. 二村祥一, 松尾文碩, 篠原武: 不要語選択の一方法について, 情報処理学会第 31 回全国大会講演論文集 (II), 8B-9, 1985.9.
45. Shinohara, T.: Inductive Inference of Formal Systems from Positive Data, 知識情報処理セミナー資料, 1985.10.

46. 篠原武, 松尾文碩, 二村祥一: 文献検索システムにおける転置ファイルの圧縮, 昭和 60 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 510, 1985.10.
47. 二村祥一, 篠原武, 松尾文碩: INSPEC データベースの検索コマンドの利用特性について, 昭和 60 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 511, 1985.10.
48. 松本一教, 有川節夫, 篠原武: 文献情報検索システム SIRS の概要, 昭和 60 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 535, 1985.11.
49. 松本一教, 有川節夫, 篠原武: 文献情報検索システム SIRS における重ね合わせ符号の設計, 昭和 60 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 536, 1985.11.
50. 篠原武: フォーマルシステムの正データからの帰納的推論, 情報システムシンポジウム資料, 1985.11.
51. 篠原武, 有川節夫: 日本語テキスト用の Aho-Corasick 型パターン照合アルゴリズム, 情報処理学会自然言語処理研究会資料 52-4, 1985.11.
52. 二村祥一, 篠原武, 河津秀利, 永井徳仁, 松尾文碩: 情報検索システム AIR の検策コマンドの利用特性について, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 7, pp. 114-121, 1985.11.
53. 末永正, 川崎正子, 平野広幸, 入江啓一: 第 2 次無人化システムについて — 設備管理システム —, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 7, pp. 126-128, 1985.11.
54. 武富敬, 平野広幸, 石氷結花, 景川耕宇: 九大大型計算機センター案内情報システムの構築, 情報処理学会情報システム研究会資料 8-1, 1985.12.
55. 松尾文碩: 学術情報の高機能・高能率管理について, 1986 情報学シンポジウム講演要旨集, pp. 5-6, 1986.1.
56. 松本一教, 篠原武, 有川節夫: 文献キーワードに対する重ね合わせ符号について, 1986 情報学シンポジウム講演要旨集, pp. 59-60, 1986.1.
57. Shinohara, T.: Inductive Inference of Formal Systems from Positive Data, Computer Science Department Seminar, Yale University, 1986.3.
58. 篠原武, 二村祥一, 松尾文碩: 文献情報検索システム AIR の改良について, 九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告, 第 3 号, pp. 63-69, 1986.3.
59. 景川耕宇, 武富敬, 末永正: 階層化補助記憶システムの効率について, 九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告, 第 3 号, pp. 71-79, 1986.3.
60. 篠原武, 二村祥一, 松尾文碩: 高速追加処理を可能とする転置ファイル構成法, 情報処理学会第 33 回全国大会講演論文集, 1H-8, 1986.3.
61. Matsuo, F. and Futamura, S.: Some Automatic Indexing Methods by Stop Word Removal, 10th Cranfield Conf. on Mechanised Information Transfer, Abstracts of Papers, p. 15, 1986.7.
62. 有川節夫, 篠原武, 松本一教, 張裕民: 重ね合わせ符号を用いた文献情報検索システムについて — キーワードのための重ね合わせ符号 —, 情報処理学会データベース・システム研究会資料 86DB-54-2, 1986.7.
63. 高木利久, 松尾文碩, 二村祥一, 牛島和夫: プロダクションシステムを構築するための推論関係型データベース管理システムについて, 情報処理学会データベース・システム研究会資料 86DB-54-8, 1986.7.
64. 篠原武, 松尾文碩, 二村祥一: 高能率情報検索システムの実現について, 情報処理学会情報学基礎研究会資料 86FI-1-3, 1986.7.
65. 松尾文碩, 高木利久: エキスパートシステム構築支援のための演繹型データベース管理システム, 昭和 61 年電気・情報関連学会連合大会講演論文集, 322, 1986.9.
66. 高木利久, 松尾文碩, 二村祥一, 牛島和夫: 推論関係型データベース管理システム構築支援機構, 昭和 61 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 709, 1986.9.

67. 二村祥一, 高木利久, 松尾文碩: データベース管理システム Adbis のデータベース管理機構の改善について, 昭和 61 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 727, 1986.9.
68. 末永正, 景川耕宇: I/O 頻度と VM オーバヘッドの相関について, 電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 854, 1986.9.
69. 高木利久, 松尾文碩, 二村祥一, 牛島和夫: 推論関係型データベース管理システムにおけるプロダクションシステム構築支援機構の設計, 情報処理学会第 33 回全国大会講演論文集 (II), 6K-1, 1986.10.
70. 二村祥一, 松尾文碩: 英文科学技術文献のための否定辞書, 情報処理学会第 33 回全国大会講演論文集 (II), 1H-7, 1986.10.
71. 末永正, 景川耕宇: OS 動作環境と効率変化について, 情報処理学会第 33 回全国大会講演論文集 (I), 5V-2, 1986.10.
72. 原田盛一, 入江啓一, 菅崎直弘, 永井徳仁, 垣内良子, 末永正, 景川耕宇: 利用登録の自動化について, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 8, pp. 98-104, 1986.11.
73. 篠原武, 浦川伸治, 柳池定: 九州大学大型計算機センターの利用状況について — ネットワーク利用の現状と問題点 — 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 8, pp. 105-109, 1986.11.
74. 久原哲, 高木利久, 二村祥一, 榊佳之, 林勝哉, 松尾文碩: GENAS(遺伝子-蛋白質構造解析システム) の構築, 情報処理学会情報学基礎研究会資料 86F1-3-4, 1986.11.
75. 有川節夫, 大槻説乎, 河口英二, 長沢勲, 長田正, 日高達, 松尾文碩, 吉田将: 九州大学における人工知能の研究, 電子通信学会技術研究報告 AI86-34, 1986.12.
76. 松尾文碩: 大量文献情報の効率的蓄積と検索, 1987 情報学シンポジウム講演論文集, pp. 125-132, 1987.1.
77. 坂田真人, 林恒俊, 松方純, 吉田雄二, 飯田記子, 藤井護, 松尾文碩, 浅野正一郎: 大学間電子メールシステムの構成, 情報処理学会第 35 回全国大会講演論文集, 4V-5, 1987.9.
78. 二村祥一, 松尾文碩, 松延栄治: AIR による用例検索システム, 昭和 62 年度電気関係学会九州支部連合大会講演論文集, 836, 1987.10.
79. 川崎正子, 原田盛一, 富山実, 平野広幸, 入江啓一, 河津秀利, 松延栄治: 九州大学大型計算機センターの UTS 運用管理システム, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 9, pp. 93-97, 1987.11.
80. 武富敬, 桜井尚子, 菅崎直弘, 景川耕宇: センター案内情報システムの利用分析と考察, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 9, pp. 98-102, 1987.11.
81. 有川正俊, 上林彌彦: 地理データベースにおける意味的概視機能, 九州大学大型計算機センター計算機科学研究報告, pp. 1-10, 1988.11.
82. 有川正俊, 上林彌彦: 地理データベースにおけるデータの重要度を考慮した選択表示支援機能, 全国共同利用大型計算機センター研究開発連合発表講演会報告, No. 10, pp. 94-102, 1988.11.
83. 上林彌彦, 今井浩, 有川正俊: マルチメディアデータベースの展望と課題, 情報処理学会「マルチメディア通信と分散処理」シンポジウム, 35-3, pp. 5-133-5-136, 1988.12.
84. 有川正俊, 上林彌彦: 抽象データ型を用いたデータベースにおける高度な表示の実現方法, 情報処理学会第 37 回全国大会講演論文集, 1Q-1, pp. 299-300, 1988.9.
85. 有川正俊, 上林彌彦: 地理データベースにおける縮尺バージョンデータ管理, 電気関係学会九州支部第 41 回連合大会講演論文集, 944, pp. 550, 1988.10.
86. 今井浩, 有川正俊, 姫野鶴代, 上林彌彦: 関係データベースの地理データベース向きの拡張, 電気関係学会九州支部第 41 回連合大会講演論文集, 945, pp. 551, 1988.10.
87. 鳥崎眞昭: スーパーコンピュータの計算結果の可視化について, 昭和 63 年度科学技術用高速計算システム一般試験報告書, pp. 38-53, 1989.3

88. 有川正俊, 上林彌彦, 今井浩: 幾何データの近似性を考慮した地理データベースでの質問処理法, 情報処理学会第 38 回全国大会講演論文集, 4R-8, pp. 1064-1065, 1989.3.
89. 古川哲也, 上林彌彦: 継承を伴う階層の集合を表現するデータベースの構造, 情報処理学会第 38 回全国大会, 2R-7, 1989.3.
90. Takefu, M: Doppler Spreading of HF Radio Waves Caused by Sporadic-E Disturbances, 地球電磁気・地球惑星圏学会, 1989.5.
91. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: 更新処理を考慮したネットワークデータ構造, 情報基礎理論ワークショップ, pp. 49-52, 1989.7.
92. 島崎眞昭: ベクトル計算機上の FP 言語の処理系, 電子情報通信学会技術研究報告 CPSY89-21, pp. 39-44, 1989.8.
93. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: 結合属性の階層化による複数の結合を考慮した結合索引の構成法, 電気関係学会九州支部第 42 回連合大会, 852, 1989.10.
94. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: ネットワーク構造におけるデータ更新の効率改善とその評価, 情報処理学会第 39 回全国大会, 3N-7, 1989.10.
95. 斉藤哲, 佐藤眞木彦, 岡本匡人, 小林正和, 大西淳, 島崎眞昭: コンパイルエラーのプログラム相談システム [Consult:C], 情報処理学会第 39 回全国大会, 6N-1, 1989.10.
96. 佐藤眞木彦, 斉藤哲, 岡本匡人, 垂井良平, 大西淳, 島崎眞昭: 実行時エラーのプログラム相談システム [Consult:R], 情報処理学会第 39 回全国大会, 6N-2, 1989.10.
97. 古川哲也, 上林彌彦: オブジェクト指向データベースにおけるインスタンスの対応について, 日本ソフトウェア科学会第 6 回大会, A6-1, 1989.10.
98. 大西淳, 島崎眞昭: プログラム相談システム Consult, 日本ソフトウェア科学会第 6 回大会論文集, C4-1, 1989.10.
99. 入江啓一, 松延栄治, 川喜正子, 島崎眞昭: フルスクリーン型端末のためのネットワーク仮想端末 FNVT の改訂, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 11, pp. 99-107, 1989.10.
100. 古川哲也, 上林彌彦: オブジェクト指向データベースにおけるデータ関連の表現, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 11, pp. 108-113, 1989.10.
101. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: 更新処理を考慮したリンク構造による物理スキーマ設計, 情報処理学会研究報告, 89-DES-74-1, 1989.11.
102. 古川哲也, 上林彌彦: 参照関連を考慮したオブジェクト指向データベースの設計, 電子情報通信学会技術研究報告, COMP89-111, 1990.2.
103. Shimasaki, M.: An Examination of High-Performance Computers, Part I Overview: Close Examination of High-Performance Computer Architecture, Supercomputing JAPAN 90, 3.29, pp. 1-4, 1990.3.
104. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: 物理スキーマにリンク構造を用いたデータベースの設計, 情報処理学会第 40 回全国大会, 7J-7, 1990.3.
105. 古川哲也, 上林彌彦: オブジェクト指向データベースにおける参照と汎化について, 情報処理学会第 40 回全国大会, 2H-3, 1990.3.
106. 岩井原瑞穂, 古川哲也, 上林彌彦: ネットワーク構造からのネスト関係の生成, 情報基礎理論ワークショップ, 1990.7.
107. 松延栄治, 入江啓一, 島崎眞昭: ネットワーク仮想端末 FNVT の機能強化および実験について, 電気関係学会九州支部第 43 回連合大会, 918, 1990.10.

108. 松坂泰洋, 野村昌伸, 島崎眞昭: 3次元縮小写像関数による3次元フラクタルの生成とコンピュータグラフィックスへの応用, 電気関係学会九州支部第43回連合大会, 1006, 1990.10.
109. 桜井尚子, 島崎眞昭: 大規模線形計算パッケージLAPACKの移植と評価, 電気関係学会九州支部第43回連合大会, 1038, 1990.10.
110. 松延栄治, 島崎眞昭: 九州大学大型計算機センターにおけるネットワーク構築について, 電気関係学会九州支部第43回連合大会, 1055, 1990.10.
111. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: リンク構造を考慮したビュー更新問題, 電気関係学会九州支部第43回連合大会, 1129, 1990.10.
112. 島崎眞昭: スーパーコンピュータの性能評価に関する考察, 平成2年電気関係学会関西支部連合大会, S-55, 1990.10.
113. 竹生政資, 河津秀利, 島崎眞昭, 川崎正子: UNIX ファイルの磁気ディスクによる効率的バックアップ, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 12, pp. 86-94, 1990.10.
114. 桜井尚子, 島崎眞昭: 大規模線形計算パッケージLAPACKのベクトル計算機上での性能評価について, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, No. 12, pp. 95-99, 1990.10.
115. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: オブジェクト指向データベースにおける更新波及のための検索処理, 情報処理学会第41回全国大会, 2L-9, 1991.3.
116. 高木利久, 佐藤賢二, 久原哲, 古川哲也: ゲノム情報のデータベース化に向けて, 情報処理学会研究報告, 91-DBS-84-6, 1991.7.
117. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: 導出データを持つデータベースにおける更新処理, 情報処理学会研究報告, 91-DBS-84-33, 1991.7.
118. 三浦健一, 古井陽之助, 島崎眞昭: 並列処理向けコンパイラ作成支援システムの研究, 電子情報通信学会技術研究報告, 91-CPSY-33, 1991.7.
119. 松坂泰洋, 野村昌伸, 島崎眞昭: 4元数を用いた3次元フラクタルの生成とコンピュータグラフィックスへの応用, 情報処理学会研究報告, 91-NA-37, 1991.7.
120. 古川哲也: 情報システムの構築とネットワーク技術開発の動向, 日本OR学会九州支部, 1991.8.
121. 橋倉聡, 藤井龍磨, 古川哲也: データベース利用統計出力システムの開発, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, Vol. 13, pp. 99-105, 1991.10.
122. 佐藤周行: 通常のテキストはどの程度ハイパーテキストたりうるか?— \LaTeX テキストを使った実験, 全国共同利用大型計算機センター研究開発論文集, Vol. 13, pp. 106-113, 1991.10.
123. 松坂泰洋, 島崎眞昭: 4元数を用いた3次元フラクタルの樹状パターンの生成, 電気関係学会九州支部第44回連合大会, 1039, 1991.10.
124. 三浦健一, 島崎眞昭: 並列ネストループを考慮したスケジューリング方式について, 電気関係学会九州支部第44回連合大会, 1203, 1991.10.
125. 古川哲也, 山崎康雄, 島崎眞昭: 分類によるデータ解析のためのデータベース機能, 電気関係学会九州支部第44回連合大会, 1235, 1991.10.
126. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: 索引を用いた導出データの更新, 電気関係学会九州支部第44回連合大会, 1237, 1991.10.
127. 松延栄治, 島崎眞昭: JAINの現状と今後の課題, 電気関係学会九州支部第44回連合大会, 1267, 1991.10.
128. 久原哲, 古川哲也, 高木利久: ゲノム情報のデータベース化の現状と問題点, 情報学シンポジウム, 日本学術会議, pp. 3-12, 1992.1.

129. 古井陽之助, 三浦健一, 島崎眞昭: 並列計算機用コンパイラ・キット, 情報処理学会九州支部研究会, 4-3, 1992.3.
130. 櫻井尚子, 古川哲也, 川崎晃一, 上園慶子: 統計解析パッケージとの連携利用を実現するためのデータベース構築法, 情報処理学会第44回全国大会, 1E-3, 1992.3.
131. 古川哲也: データベースを用いたデータ解析のための集合操作, 情報処理学会第44回全国大会, 2E-4, 1992.3.
132. 国島丈生, 古川哲也, 上林彌彦: オブジェクト指向データベースの会話的設計支援方式, 情報処理学会第44回全国大会, 3H-2, 1992.3.
133. 木實新一, 古川哲也, 上林彌彦: オブジェクト・マイグレーションを考慮したオブジェクト指向データベースの一貫性管理, 情報処理学会第44回全国大会, 3H-5, 1992.3.
134. 松坂泰洋, 島崎眞昭: 4元数の3次元空間フラクタルを用いた樹状パターンの生成, 情報処理学会第44回全国大会, 4N-2, 1992.3.
135. 三浦健一, 島崎眞昭: ループレベル並列処理における実行時間を考慮したスケジューリングアルゴリズムとその評価, 情報処理学会第44回全国大会, 7F-4, 1992.3.
136. 木實新一, 古川哲也: 連合データベースにおける更新処理, 電気関係学会九州支部第45回連合大会, 1156, 1992.10.
137. 古川哲也, 山崎康雄, 島崎眞昭: データベースシステムにおける集合の扱い, 電気関係学会九州支部第45回連合大会, 1157, 1992.10.
138. 古井陽之助, 島崎眞昭: マルチプロセッサをクラスタ化したときのマルチタスク環境におけるスケジューリング方式とその評価, 情報処理学会第45回全国大会, 3P-3, 1992.10.
139. 松延栄治: 九州地域研究ネットワーク (KARRN), 研究開発論文集, 全国共同利用大型計算機センター, pp. 98-105, 1992.10.
140. 秋山泰, 森浩禎, 久原哲, 古川哲也, 佐藤賢二, 宮崎伸行, 小笠原直毅, 村上康史: 大腸菌・枯草菌・酵母染色体配列マネジメントツール, ゲノムデータベース構築の現状, 分子生物学会ミニシンポジウム, 1992.12.
141. 渡部善隆, 山本野人, 中尾充宏: 微分不能項をもつ楕円型方程式の解に対する数値的検証法, 電子情報通信学会技術研究報告, NLP-92-44, 1992.12.
142. 渡部善隆, 山本野人, 中尾充宏: 微分不能項を持つ楕円型方程式の解の数値的検証について, 応用数学合同研究集会報告集, pp120-125, 1992.12.
143. 秋山泰, 森浩禎, 久原哲, 古川哲也, 佐藤賢二, 宮崎伸行, 小笠原直毅, 村上康史: 大腸菌・枯草菌・酵母染色体配列マネジメントツール, 第3回ゲノム情報ワークショップ, 1992.12.
144. 前富 博, 島崎眞昭: ベクトル/並列処理プログラムのメトリックス・統計調査, 情報処理学会九州支部研究会, 5-11, 1993.3.
145. 木實新一, 古川哲也: 連合データベースシステムにおける具現化された集約関数の管理法, 情報処理学会研究報告, 92-DBS-92-2, 1993.3.
146. 徐海燕, 古川哲也, 史一華: データの状態に基づく並行処理制御の正当性, 情報処理学会研究報告, 92-DBS-92-3, 1993.3.
147. 木實新一, 古川哲也: 連合データベースシステムにおける導出データの一貫性管理法, 情報処理学会第46回全国大会, 2F-3, 1993.3.
148. 山崎康雄, 古川哲也, 島崎眞昭: 集合の階層を保持するデータベース, 情報処理学会第46回全国大会, 3F-2, 1993.3.
149. 古川哲也: 具現化されたビューの差分を用いた逐次更新, 情報処理学会第46回全国大会, 3G-5, 1993.3.

150. 徐海燕, 古川哲也, 史一華: 状態制約に基づく並列処理の非直列可能制御方式, 情報処理学会第46回全国大会, 4G-4, 1993.3.
151. 山崎康雄, 古川哲也, 島崎眞昭: データベースを用いたデータ解析のための集合操作, 情報処理学会研究報告, 93-DBS-94-5, 1993.7.
152. 秋山泰, 森浩禎, 久原哲, 小笠原直毅, 宮嶋伸行, 古川哲也, 佐藤賢二, 村上康史: 染色体配列情報マネージメントツール Genomatica, 生物物理学会第31回年会, 1993.10.
153. 林田哲哉, 島崎眞昭: 樹木生成におけるブレンドの応用, 情報処理学会第47回全国大会, 2V-1, 1993.10.
154. 前富 博, 島崎眞昭: メトリックス・統計調査によるベクトル処理用プログラムの特徴の把握, 情報処理学会第47回全国大会, 5D-10, 1993.10.
155. 山崎康雄, 古川哲也, 島崎眞昭: 集合の階層を保持するデータベースの実現, 電気関係学会九州支部第46回連合大会, 1993.10.
156. 中山健一, 島崎眞昭: ラジオシティ法のベクトル計算による高速化, 電気関係学会九州支部第46回連合大会, 1244, 1993.10.
157. 佐藤周行, 古川哲也, 浦川伸治: データ集約の危険性 — 大型計算機センター利用統計を活用するために —, 研究開発論文集, 全国共同利用大型計算機センター, No. 14, pp. 89-95, 1993.10.
158. 佐藤周行: $\mathcal{EDM} - \epsilon$ 文書モデル-テキストベース、ハイパーテキストのためのモデル, 電子情報通信学会技術研究報告, Vol. 933, No. 359, pp. 1-8, SS93-31, 1993.11.
159. 島崎眞昭: 2 固有限問題に対する並列ホモトピー法, 応用数学合同研究集会報告集, pp. 157-162, 1993.12.

計算機科学研究集会講演一覧

1 特別講演

第1回(1984年2月3日)

知識情報処理の諸問題 — 計算機科学の立場から — 大須賀 節夫 (東京大学)
新しい高密度磁性体記憶素子 — プロットラインメモリ — 小西 進 (九州大学)

第2回(1984年12月6日)

自然言語処理の現状と将来 長尾 真 (京都大学)

第3回(1985年11月27日)

機械翻訳研究の変遷と動向 田町 常夫 (九州大学)

第4回(1986年11月25日)

NUMPACとスーパーコンピュータ 二宮 市三 (中部大, 名古屋大名誉教授)

第5回(1987年11月25日)

ジョセフソンスーパーコンピュータ 後藤 英一 (東京大学)

第6回(1988年11月24日)

コンピュータグラフィックスの動向 中前 英八郎 (広島大学)

第7回(1989年11月24日)

新しい情報処理の展開 野口 正一 (東北大学)

第8回(1990年11月26日)

4次元グラフィックスの世界 国井 利泰 (東京大学)

第9回(1991年11月22日)

図形・画像理解 池田克夫 (京都大学)

第10回(1992年11月27日)

二重指数関数型数値積分公式 — ガウス公式を超える汎用で頑強な公式 — 森 正武 (東京大学)

第11回(1993年11月25日)

第五世代コンピュータがひらく新しい情報処理の世界 内田 俊一 (ICOT)

2 一般講演

第1回(1984年2月3日)

- [1] プログラムライブラリ統合管理システム 武富 敬・平野 広幸・川寄 正子・末永 正・景川 耕宇
- [2] 情報検索システム AIR の設計と実現について 二村 祥一・篠原 武・松尾 文碩
- [3] SIGMA システムにおけるパタン・マッチングの機能について 有川 節夫・篠原 武・白石 修二
- [4] 拡張 B-tree と日本語単語辞書への応用 日高 達

- [5] 日本語文章推敲支援ツール 牛島 和夫・日並 順二
- [6] マルチテンポラル画像のレジストレーション手法とその応用 梅干見 晃・小田 健一
- [7] 3次元ディスプレイによる多次元データ解析システムについて 大脇 信一

第2回(1984年12月6日)

- [1] AIR: Augmented Information Retrieval System
..... Fumihiko Matsuo, Shooichi Futamura, and Takeshi Shinohara
- [2] Database Retrieval Using the Frame-Based Question-Answering Interface Waku
..... Toshihisa Takagi, Fumihiko Matsuo, and Kazuo Ushijima
- [3] 画面指向型プログラミング支援環境 HUMANICS について 島山 貴次・宇津宮 孝一
- [4] ランドサット TM データの特性分析と土地被覆判読への適用 後藤 恵之輔・森 正寿
- [5] マルチテンポラル MSS データを用いた土地被覆分類手法とその応用 梅干野 晃・南川 喜伸
- [6] 最大周期列疑似乱数の統計的性質 田辺 拓
- [7] 2階線形常微分方程式の境界値問題に対する離散近似解法による自動計算 杠 顕一郎
- [8] Computational Procedures of a Latent Scale Linear Model for Ordered Categorical Data
..... Hiroyuki Uesaka and Chooichiro Asano
- [9] 潮汐残差流を陽的有限要素法によって求める試み 菊川 浩行・市川 洋
- [10] ロータリ耕うん刃の CAD 金 基大・坂井 純

第3回(1985年11月27日)

- [1] 高分解能航空機 MSS データを用いた市街地の緑被分布に関する画像解析 梅干野 晃・加藤 倍敬
- [2] ランドサット TM データと MSS データの比較検証 後藤 恵之輔・森 正寿
- [3] 衛星画像による内海域の海況特性調査 緒方 純俊・藤川 聖弘・小名 徳光
- [4] アンケート用紙作成から入力プログラム, 統計的解析プログラムまでを作成するプログラム 松井 清
- [5] 臨床研究用カルテシステムとその使用経験 古川 由美子・長澤 勲・上野 道雄・富田 勇二
- [6] 文献情報検索システム AIR の改良について 篠原 武・二村 祥一・松尾文碩
- [7] 階層化補助記憶システムの効率について 景川耕宇・武富 敬・末永 正

第4回(1986年11月25日)

- [1] On the Effects Caused by the Improvements of Disk Access Methods
..... Kou Kagekawa, Tadashi Suenaga, Hiroshi Taketomi, and Hajime Imamura
- [2] REDUCE による腎機能コンパートメント解析 上松 弘明・高杉昌幸
- [3] Nバンド直列8ビット合成画像—モデルとランドサット MSS データへの応用—
..... 緒方 純俊・猪口 義己・矢野 良一
- [4] Evolutional Development of Writing Tools for Japanese Documents
..... Kazuo Ushijima, Toshihisa Takagi, Jeehee Yoon, and Akira Suganuma
- [5] トーマス・マン・ファイルについて 樋口 忠治
- [6] 汎用テキストデータベースシステム SIGMA の改訂について
..... 有川 節夫・武谷 峻一・原口 誠・篠原 武・大島 一彦・白石 修二
酒井 浩・宮原 哲治・山本 章博・井上 仁・川崎 洋治・湯浅 寛子

第5回(1987年11月25日)

- [1] 確率文節手法とその応用松延 栄治・日高 達・吉田 将
- [2] ディスク過負荷の自動分析システム末永 正・景川 耕宇・平野 広幸・川寄 正子・藤村 直美
- [3] ベクトルプロセッサによる高レイノルズ数圧縮性 Navier-Stokes 方程式の数値解析
.....古川 雅人・山崎 政男・井上 雅弘
- [4] 手書き文字認識におけるベクトルプロセッサの使用について長田 一興・日高 達
- [5] 衛星データによる東アジア沿岸の海況および干潟の観測緒方 純俊・島崎 孝

第6回(1988年11月24日)

- [1] 地理データベースにおける意味的概視機能有川 正俊・上林 彌彦
- [2] 評価済み核データの誤差評価システム植之原 雄二・森 俊也・木原 満・神田 幸則
- [3] 処理の方向性を考えた関係データベースの質問処理松谷 浩一・上林 彌彦
- [4] 固定文字と文字種の混在するパターンを対象とした Aho-Corasick 型パターン照合機械の構成法竹田 正幸
- [5] 量子力学的三体問題計算の世界的競争とスーパーコンピュータ上村 正康
- [6] 衛星リモートセンシングの社会科学への応用緒方 純俊・安部 桂司
- [7] 九州・山口地区における研究者用実験ネットワーク JUNET の現状平原 正樹・荒木 啓二郎・牛島 和夫

第7回(1989年11月24日)

- [1] 関係データベースにおける複数結合のための結合索引の階層化古川 哲也・木實 新一・上林 彌彦
- [2] 日本産昆虫総目録のデータベース化について多田内 修・宮原 哲治・竹田 正幸・内田 智之
- [3] 韓国済州島の土地利用分類への海洋観測衛星 MOS-1 データの適用
.....後藤 恵之輔・湯藤 義文・七篠 哲彰・武政 剛弘
- [4] PostScript のフォント定義機能を用いた漢字の出力実験河村 豊実・古川 善吾・牛島 和夫
- [5] 表面実装ロボットの実装シーケンスの決定に対する巡回セールスマン問題のアルゴリズムの適用
.....下菌 真一・宮野 悟
- [6] ベクトル計算機のための FP 言語の処理系の設計と実現島崎 眞昭

第8回(1990年11月26日)

- [1] 大規模線形計算パッケージ LAPACK のベクトル計算機上での最適化と性能評価について
.....桜井 尚子・島崎 眞昭・原田 裕夫
- [2] 衝撃波を伴う流れの数値シミュレーション麻生 茂
- [3] 一般の文脈自由文法に対する並列 LR 構文解析峯 恒憲・谷口 倫一郎・雨宮 真人
- [4] 九州大学大型計算機センターを中心とするネットワーク構築の現状と問題点松延 栄治・島崎 眞昭
- [5] リモートセンシングデータのパソコンによる処理猪俣 靖・緒方 純俊・安部 桂司
- [6] 衛星データの水産資源調査への適用に関する一ケーススタディ 湯藤 義文・後藤 恵之輔・武政 剛弘・中田 勝康
- [7] ランドサット 5 号衛星 MSS デジタルデータを用いた大村湾における富栄養化指標としての透明度の測定
.....後藤 恵之輔・サム・ウォウトウゼン・飯塚 昭二・宇野 史朗

第9回(1991年11月22日)

- [1] 並列処理におけるタスクスケジューリングアルゴリズムの性能評価について.....三浦 健一・島崎 眞昭
- [2] データフロー解析による関数型言語の自動並列化コンパイラ高橋 英一・谷口 倫一郎・雨宮 真人
- [3] 大学における大規模分散システムの構築(1)—利用面を重視して—
.....大西 淑雅・中山 仁・山之上 卓・藤木 健士・末永 正
- [4] 大学における大規模分散システムの構築(2)—運用面を重視して—中山 仁・中村 順一・末永 正
- [5] ネットワーク環境を活用したリモートセンシング解析システム北山 公也・緒方 純俊
- [6] ランドサット TM データによる有明海の水深推測
.....全 炳徳・後藤 恵之輔・宇野 史朗・サム・ウオウトウゼン

第10回(1992年11月27日)

- [1] 非線形楕円型境界値問題の解に対する精度保証付き数値計算法渡部 善隆・中尾 充宏
- [2] 拡散過程に付随した拡散方程式の数値計算法について竹生 政資・飯塚 勝
- [3] 1991年台風19号による山口地方の塩害の衛星リモートセンシング調査.....後藤 恵之輔・太田 哲男・森 正寿
- [4] 多時期衛星データでみる雲仙・普賢岳火山災害の推移後藤 恵之輔・蒲川 俊浩・湯藤 義文・吉本 雅利
- [5] 連合型データベースシステムにおける具現化した導出データの管理法木實 新一・古川 哲也
- [6] 英文科学技術文献抄録文における動詞の決定について竹田 正幸・橋本 典孝・松尾 文碩
- [7] 学習アルゴリズムによるアミノ酸のインデックス化とタンパク質データからの知識獲得実験
.....宮野 悟・篠原 歩・有川 節夫・下菌 真一・篠原 武・久原 哲

第11回(1993年11月25日)

- [1] ベクトル計算機によるラジオシティ法の高速度中山 健一・島崎 眞昭
- [2] Seep を使った科学ファクトデータベースシステム竹田 正幸・松尾 文碩・河野 重昭・久原 哲
- [3] 計算機負荷に応じてジョブを分配する分散システム用利用者シェルの実現
.....大内 正英・十鳥 光洋・大西 淑雅・中山 仁・竹生 政資
- [4] ユーザインタフェースプログラミングにおける部分型システムのプログラミング言語への取り込み
.....佐藤 周行
- [5] 海洋観測衛星 MOS データ(ももっぴい)による九州主要都市の緑被調査後藤 恵之輔・潘 勤美・阿部 圭悟
- [6] 降水レーダ情報データベースと画像処理森山 聡之
- [7] 超並列プロセッサ AMP における並列3次元画像処理山元 規靖・鶴田 直之・谷口 倫一郎・雨宮 真人

国際シンポジウム開催記録

1 スーパーコンピューティングに関する国際シンポジウム

英文名称	International Symposium on Supercomputing
主催	九州大学
協賛	情報処理学会, 日本機械学会, 日本応用数理学会, 日本ソフトウェア科学会, よかトピア記念国際財団
開催期間	1991年11月6日～11月8日
会場	九州大学国際ホール(11月6日), 福岡リーセントホテル(11月7, 8日)
シンポジウム委員長	牛島 和夫
組織委員会	小柳 義夫, 金田 康正, 大宅 伊久雄, 奥田 晃, 加藤 毅彦, 神谷 幸雄, 中崎 良成, 福井 義成
プログラム委員会	島崎 眞昭(委員長), M. Abe, J. Dongarra, I. S. Duff, Y. Hatano, S. Hoshino, N. Iida, Y. Kanada, S. Kumagai, K. Miyoshi, Y. Muraoka, T. Nagai, Y. Oyanagi, A. van der Steen, H. Tanaka, S. Tomita, T. Tsuda
実行委員会	牛島 和夫(委員長), 島崎 眞昭(副委員長), 吉田 紀彦, 古川 哲也, 佐藤 周行, 有田 五次郎(監事)
参加者総数	163名
同国別内訳	日本152名, アメリカ4名, オランダ2名, イギリス・ドイツ・シンガポール・フランス・オーストラリア各1名

シンポジウムプログラム

11月6日

[09:00 - 10:25] Tutorial

Chair: K. Miyoshi (Hokkaido Univ., Japan)

Volume Rendering of Unstructured Grid Data (in Japanese)

K. Koyamada (Tokyo Res. Lab./IBM Japan, Japan)

Scientific Animation Graphics System for Supercomputer S-820 (in Japanese)

H. Abe (Hitachi, Japan)

Scientific Visualization on CRAY Supercomputer

S. Matsumoto and K. Mikami (Cray Research Japan, Japan)

[10:45 - 12:00] Tutorial (Continued)

Chair: M. Abe (Tohoku Univ.)

The Visual Simulation System (SXview) on the SX-3 Series Supercomputers (in Japanese)

S. Watanabe, M. Yamada, A. Shinohara (NEC Corp., Japan)

Real Time Processing of "Live" Pictures using DECmpp HDTV Frame Buffer (in Japanese)

M. Nakano (DEC Japan, Japan)

CGMS: A Computer Graphics and Movie System (in Japanese)

F. Sumi, T. Tsunekawa, A. Ogawa (Fujitsu, Japan)

[13:30 - 13:40] Opening

K. Ushijima (Kyushu Univ., Japan), M. Shimasaki (Kyushu Univ., Japan)

[13:40 - 14:30] Keynote Address

Coordinator: M. Shimasaki (Kyushu Univ., Japan)

Computational Science and Engineering

E. Goto (Kanagawa Univ., Japan)

[14:30 - 15:30] Session 1

Chair: Y. Kanada (Univ. Tokyo, Japan)

GRAPE: Special Purpose Computer for Simulations of Many-Body Systems

T. Ebisuzaki, T. Fukushige, T. Ito, J. Makino, S. K. Okumura, D. Sugimoto (Univ. Tokyo, Japan), H. Hashimoto, H. Tomida, and N. Miyakawa (FUJI XEROX, Japan)

Using Abstract Interpretation to Detect Array Data Dependencies

F. Masdupuy (École Polytechnique, France)

Dependence Analysis between Pointer References in Pascal

A. Matsumoto and T. Tsuda (Kyoto Univ., Japan)

[15:50 – 17:00] Session 2

Chair: S. Tomita (Kyoto Univ., Japan)

Invited Talk: Design and Implementation of a Vectorizing Compiler for the Block-Structured Language PASCAL

T. Tsuda (Kyoto Univ., Japan)

Third Generation Message Passing Computer AP1000

H. Ishihata, T. Horie, S. Inano, T. Shimizu, S. Kato, and M. Ikesaka (Fujitsu Lab. Ltd., Japan)

Fast Hardware-based Algorithms for Elementary Function Computations

W. F. Wong (ERATO, Japan)* and E. Goto (ERATO/Kanagawa Univ., Japan)

[09:00 – 09:50] Keynote Address

Coordinator: M. Shimasaki (Kyushu Univ., Japan)

Iterative Methods for Cyclically Reduced Non-Self-Adjoint Linear Systems

G. H. Golub (Stanford Univ., USA)

[09:50 – 10:40] Session 3

Chair: M. Amamiya (Kyushu Univ., Japan)

The Optoelectronic Multicomputer Project: A Semi-Dataflow Approach to Large-Scale Parallel Processing

A. B. Ruighaver (Univ. Melbourne, Australia)

Invited Talk: LAPACK: A Linear Algebra Library for High-Performance Computers

J. Dongarra (Univ. Tennessee/Oak Ridge National Lab., U. S. A.)

[11:00 – 12:00] Session 4

Chair: A. van der Steen (Academic Computer Centre Utrecht)

A Single-Chip Vector-Processor Prototype Based on Multithreaded Streaming/FIFO(MSFV) Architecture

T. Hironaka, T. Hashimoto, K. Okazaki, K. Murakami (Kyushu Univ., Japan) and S. Tomita (Kyoto Univ., Japan)

A Multithreaded Processor Architecture with Simultaneous Instruction Issuing

H. Hirata, Y. Mochizuki, A. Nishimura, Y. Nakase, and T. Nishizawa (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd., Japan)

Supercomputing Pseudo Random Numbers – Proposals on Hardware and Software

Y. Oyanagi (Univ. Tokyo, Japan), E. Goto (Kanagawa Univ./RIKEN, Japan) and N. Yoshida (RIKEN, Japan)

[13:30 – 14:30] Session 5

Chair: T. Tsuda (Kyoto Univ., Japan)

Invited Talk: Parallel Computing and the Perfect Benchmarks

G. Cybenko, J. Bruner, S. Ho and S. Sharma (Univ. Illinois, U. S. A.)

Invited Talk: The Activities of the EuroBen Benchmark Group

A. J. van der Steen (Academic Computer Centre Utrecht, The Netherlands)

[14:40 – 15:40] Session 6

Chair: J. Dongarra (Univ. Tennessee/Oak Ridge National Lab., U. S. A.)

Six Benchmark Problems for Number Crunchers

W. F. Wong (ERATO, Japan), E. Goto (ERATO/Kanagawa Univ., Japan), Y. Oyanagi (Univ. Tokyo, Japan) and N. Yoshida (Inst. Physical & Chemical Res., Japan)

Performance Evaluation of Mathematical Functions

T. Nagai (Nagoya Univ., Japan) and Y. Hatano (Chukyo Univ., Japan)

Benchmarking Vector Indirect Load/Store Instructions

T. Uehara and T. Tsuda (Kyoto Univ., Japan)

[16:00 – 18:00] Panel Discussion on Benchmarking

Y. Muraoka (Waseda Univ., Japan), J. Dongarra (Univ. Tennessee/Oak Ridge National Lab., U. S. A.),
G. Cybenko (Univ. Illinois, U. S. A.), Y. Oyanagi (Univ. Tokyo, Japan), A. van der Steen (Academic
Computer Centre Utrecht, The Netherlands)

11月8日

[09:00 – 10:20] Session 7

Chair: S. Hoshino (Kyoto Univ., Japan)

Vector Processing in Symbolic Determinant Expansion on Supercomputer

H. Murao (Univ. Tokyo, Japan)

Supercomputing for Numerical Cascade Tunnel

M. Furukawa and M. Inoue (Kyushu Univ., Japan)

Parallel Image Generation for Scientific Visualization

I. Oyake, T. Yoshida, Y. Wauke, and A. Kawai (Oki Electric Industry Co., Ltd., Japan)

A Parallel Rendering Machine for High Speed Ray Tracing

O. Gwun, S. Murata, K. Murakami (Kyushu Univ., Japan), and S. Tomita (Kyoto Univ., Japan)

[11:40 – 11:40] Session 8

Chair: S. Kumagai (Osaka Univ., Japan)

Experiments and Analysis toward Distributed Supercomputing on a Distributed Workstation Environment

B. Apduhan, T. Sueyoshi, Y. Namiuchi, T. Tezuka, T. Fujiki, and I. Arita (Kyushu Inst. Tech., Japan)

A Vector Algorithm for Manipulating Boolean Functions Based on Shared Binary Decision Diagrams

H. Ochi (Kyoto Univ., Japan), N. Ishiura (Osaka Univ., Japan), and S. Yajima (Kyoto Univ., Japan)

SPICE³: A Program for Simulating Integrated Circuits on Hypercubes

P. S. Pacheco, J. M. del Rosario, and T. Rashid (Univ. San Francisco, U. S. A.)

[13:30 – 15:20] Session 9

Chair: I. Duff (Rutherford Appleton Lab., U. K. / CERFACS, France)

Invited Talk: The Use of Bi-CGSTAB for Unsymmetric Linear Systems

H. A. van der Vorst (Univ. Utrecht, The Netherlands)

Visualization of Convergence Behavior of Bi-CG STAB Method

S. Fujino, S. Zhang (Inst. Computational Fluid Dynamics) and M. Mori (Univ. Tokyo, Japan)

Highly Efficient Basic Numerical Software for Supercomputers

N. Geers and W. Wälde (Univ. Karlsruhe, Germany)

HIDM, A New Numerical Scheme to Solve Partial Differential Equations

T. Watanabe (National Inst. Fusion Science, Japan)

A Theoretical Stability Analysis for a Family of Convection Diffusion Difference Schemes using the Supercomputing Environment

S. Nagoya and T. Ushijima (Univ. Electro-Communications, Japan)

[15:40 – 17:40] Session 10

Chair: M. Mori (Univ. Tokyo, Japan)

Invited Talk: Language Features for Concurrent Programming

K. Araki (Kyushu Univ., Japan)

Invited Talk: Solution of sparse linear equations on supercomputers

I. S. Duff (Rutherford Appleton Lab., U. K / CERFACS, France)

Performance Evaluation Using Random Number Generator and Ising Monte Carlo Simulation

N. Ito (Japan Atomic Energy Research Inst., Japan) and Y. Kanada (Univ. Tokyo, Japan)

Streamlined Access for Indirect Addressing of an Array

M. Ohta and T. Maeno (Tokyo Inst. of Tech., Japan)

2 次世代データベースシステムとその応用に関する国際シンポジウム

英文名称	International Symposium on Next Generation Database Systems and Their Applications
主催	九州大学
協賛	情報処理学会, 電子情報通信学会, 日本ソフトウェア科学会, Japan ACM SIGMOD (アメリカ計算機学会データ管理分科会日本支部), 情報処理学会九州支部, 福岡コンベンションビュロー, よかトピア記念国際財団, 西日本銀行国際財団
開催期間	1993年9月28日～9月30日
会場	福岡リーセントホテル
シンポジウム委員長	牛島 和夫
組織委員会	島崎 眞昭(委員長), 雨宮 真人, 有川 節夫, 有田 五次郎, 疋田 定幸, 犬束 淳, 石田 喬也, 上林 彌彦, 加藤 重信, 河田 勉, 児西 清義, 國井 秀子, 増永 良文, 松尾 文碩, 名内 泰蔵, 大蒔 和仁, 坂内 正夫, 鈴木 健司, 鈴木 則久, 田口 尚三, 寺西 昭男, 山本 昌弘, 横田 一正
プログラム委員	牧之内 顕文(委員長), 安達 淳, 有沢 博, 古川 哲也, 早田 宏, 何 千山, 池田 秀人, 泉田 義男, 掛下 哲郎, 金森 吉成, 川上 英, 北川 博之, 北上 始, 喜連川 優, 清木 康, 小島 功, 三浦 孝夫, 永田 元康, 西尾 章治郎, 布川 博士, 小川 泰嗣, 柴山 茂樹, 高木 利久, 田村 信介, 田中 克己, 鶴岡 邦敏, 打浪 清一, 徐 海燕, 横田 一正, D. Abel, F. Bancilhon, E. Bertino, C.-C. Chang, K. R. Dittrich, W. Kim, T. W. Ling, F. H. Lochovsky, T. H. Merrett, A. Pirotte, A. Min Tjoa, P. Valdiriez, K.-Y. Whang
実行委員会	古川 哲也(委員長), 天野 浩文, 有川 正俊, 木實 新一, 坂本 憲広, 佐藤 周行, 佐藤 賢二, 菅沼 明
チュートリアル参加者	96名
シンポジウム参加者	120名
同国別内訳	日本93名, 韓国11名, オーストラリア4名, アメリカ3名, スウェーデン2名, 台湾・ノルウェー・カナダ・オーストリア・香港・イタリア・シンガポール各1名

シンポジウムプログラム

9月28日

[13:00 – 14:00, Room A] **Keynote Address**

Next-Generation Database Systems: Research Directions[†]

W. Kim, J. F. Garza, B. Graham, and J. Larson (UniSQL, U. S. A.)

[14:10 – 15:10, Room A] **Session 1: Database Programming Language**

Chair: A. Ohori (Kyoto Univ., Japan)

Computations: Constraint Programming with the Relational Algebra[†]

T. H. Merrett (McGill Univ., Canada)

Views in an Object-Oriented Persistent Programming Language

M. Aritsugi and H. Amano (Kyushu Univ., Japan)

[15:30 – 18:00, Room A] **Panel Session: Database Challenges**

Moderator: Y. Kambayashi (Kyoto Univ., Japan)

Panelists: E. Bertino (Univ. Genova, Italy), W. Kim (UniSQL, U. S. A.),

F. H. Lochovsky (Hong Kong Univ. Sci. & Tech., Hong Kong),

Y. Tanaka (Hokkaido Univ., Japan)

9月29日

[09:00 – 10:30, Room A] **Session 2: Data Modeling**

Chair: Y. Masunaga (Univ. Library & Inform. Sci., Japan)

A Semantic Data Model with Time and Its Mapping to the Relational Model

B. Wangler (Swedish Inst. Systems Development, Sweden)

Querying Heterogeneous Object Views of a Relational Database

T. Takahashi (Kobe Steel, Japan/Stanford Univ., U. S. A.), and A. M. Keller (Stanford Univ., U. S. A.)

A Layered Entity-Relationship Approach for Modelling Multimedia Databases in an Ethnology Museum

J. Takahashi, J.-K. Hong, M. Kusaba (IBM Japan, Japan), and S. Sugita (Nat. Museum of Ethnology, Japan)

[09:00 – 10:30, Room B] Session 3: Parallel Processing and Systems

Chair: U. Inoue (NTT, Japan)

On Horizontal Fragmentation and Computation of Transitive Closures

Y. Zhang, X. Zhou, and M. Orłowska (Univ. Queensland, Australia)

Parallel Processing for Indexed Structure of Object

M. Nagata (Osaka Kyoiku Univ., Japan)

Autonomous Data Management, a Future Direction in High Performance Multi-Processor Database Systems

G. M. Bryan (Univ. Western Sydney, Nepean, Australia) and W. E. Moore (Charles Sturt Univ., Mitchell, Australia)

[10:50 – 12:20, Room A] Session 4: Deductive Databases

Chair: S. Nishio (Osaka Univ., Japan)

An Overview of \mathcal{LOL} : a Deductive Language for Object Bases[†]

E. Bertino, B. Catania, and G. Guerrini (Univ. Genova, Italy)

A Deductive Database Approach to Abductive Reasoning

S. Kato, H. Seki, and H. Itoh (Nagoya Inst. Tech., Japan)

Combinatorial Searching with Beta-Prolog

N.-F. Zhou (Kyushu Inst. Tech., Japan)

[10:50 – 12:20, Room B] Session 5: Information Retrieval and Systems

Chair: H. Ikeda (Hiroshima Univ., Japan)

A Distributed, Knowledge-Intensive Information System[†]

F. H. Lochovsky and Q. Li (Hong Kong Univ. Sci. & Tech., Hong Kong)

Efficient and Intelligent Information Retrieval System[†]

F. Matsuo, T. Sato, and M. Takeda (Kyushu Univ., Japan)

A Dynamic Signature File Method for Efficient Information Retrieval

J. S. Yoo, M. H. Kim, Y.-J. Lee, S. G. Han (Korea Adv. Inst. Sci. & Tech., Korea), and J. W. Chang (Chonbuk Nat. Univ., Korea)

[13:40 – 15:10, Room A] Session 6: Application to Biology

Chair: E. Bertino (Univ. Genova, Italy)

Application of Deductive Object-Oriented Knowledge Base to Genetic Information Processing

M. Hirose (ICOT, Japan), R. Tanaka (IMS, Japan), and M. Ishikawa (ICOT, Japan)

A Deductive Language in Object-Oriented Database for Genome Analysis

S. Goto, N. Sakamoto (Kyushu Univ., Japan), T. Takagi (Univ. Tokyo, Japan), and K. Ushijima (Kyushu Univ., Japan)

Similar Structure Search in a Deductive Database

K. Satou (Kyushu Univ., Japan), E. Furuichi (Fukuoka Women's College, Japan), T. Takagi (Univ. Tokyo, Japan), S. Kuhara, and K. Ushijima (Kyushu Univ., Japan)

[13:40 – 15:10, Room B] Session 7: Text Databases and System Integration

Chair: S. Arikawa (Kyushu Univ., Japan)

A Signature-Based Hybrid Access Scheme for Text Databases

J. W. Chang (Chonbuk Nat. Univ., Korea), J. S. Yoo, M. H. Kim, and Y.-J. Lee (Korea Adv. Inst. Sci. & Tech., Korea)

A New Character-Based Indexing Method for Japanese Texts Using Reduced Adjacent Character Bitmap Tables

M. Iwasaki and Y. Ogawa (RICOH, Japan)

Entity Identification in Database Integration: An Evidential Reasoning Approach

E.-P. Lim and J. Srivastava (Univ. Minnesota, U. S. A.)

[15:30 – 17:30, Room A] Session 8: New Object-Oriented Database Models and Systems

Chair: F. H. Lochovsky (Hong Kong Univ. Sci. & Tech., Hong Kong)

Obase Object Database Model: Towards a More Flexible Object-Oriented Database System[†]

K. Tanaka (Kobe Univ., Japan), S. Nishio (Osaka Univ., Japan), M. Yoshikawa (Nara Inst. Sci. & Tech., Japan), S. Shimojo (Osaka Univ., Japan), J. Morishita (Himeji Dokkyo Univ. Japan), and T. Jozen (Senri Int. Inform. Inst., Japan)

Overview of an Object-Oriented Entity-Relationship Based Database Management System[†]

T. W. Ling, M. L. Lee, and P. K. Teo (Nat. Univ. Singapore, Singapore)

Object-Oriented Database System for Portable Multimedia Object

T. Ishimaru (Toshiba, Japan) and S. Uemura (Nara Inst. Sci. & Tech., Japan)

An Extensible DBMS Composed of Specific DBMSs

T. Houchin (Fukui Univ., Japan) and U. Inoue (NTT, Japan)

9月30日

[09:00 – 10:30, Room A] Session 9: Multimedia Databases

Chair: Y. Kanamori (Gunma Univ., Japan)

An Evaluation of Three Virtual Replication Strategies for Continuous Retrieval of Multimedia Data

S. Ghandeharizadeh (Univ. Southern California, U. S. A.) and L. Ramos (Object Design, U. S. A.)

Temporal Specification and Synchronization for Multimedia Database Queries

K. Lee (Chungnum Nat. Univ., Korea), W. Kim (Kwangwoon Univ., Korea), J. Hahm (ETRI Protocol Eng. Center, Korea), and S. Lee (Seoul Nat. Univ., Korea)

Organization of Pictorial Databases for Spatial Match Retrieval[†]

C.-C. Chang, J.-H. Jiang (Nat. Chung Cheng Univ., Taiwan), and J.-J. Shen (Chung-Sung Inst. Sci. & Tech., Taiwan)

[09:00 – 10:30, Room B] Session 10: User Interfaces and Tools

Chair: S. Shimojo (Osaka Univ., Japan)

Natural Language Interfaces as Integrated Constituents of Deductive Databases[†]

W. Winiwarter and A. Tjoa (Univ. Vienna, Austria)

A Tools Oriented Visual Interface for Multimedia Databases

P. Rosengren, U. Wingstedt, P. Kool, and M. Bern (Swedish Inst. Systems Development, Sweden)

VicePlanner: A Database Tool for Scheduling Human Activities

T. Kakeshita, A. Maeda (Saga Univ., Japan), and Y. Yamashita (Nihon Software Eng., Japan)

[10:50 – 12:20, Room A] Session 11: Spatial and Geographic Databases

Chair: M. Sakauchi (Univ. Tokyo, Japan)

Some Evolutionary Paths for Spatial Database[†]

D. J. Abel (CSIRO, Australia)

A Representation of Operations on Temporal-Spatial Multimedia Data

Y. Nah, S. Lee (Seoul Nat. Univ., Korea), Y. Park (Myongji Univ., Korea), S. Hwang (Hankuk Aviation Univ., Korea)

Recognition Based Semi-Structured Construction Method for Electric Power Distribution Cartographic Databases

S. Shimada, Y. Takahara (Hitachi, Japan), H. Suenaga, and K. Tomita (Kyushu Electric Power, Japan)

[10:50 – 12:20, Room B] Session 12: Database Design and Algorithms

Chair: M. Yoshikawa (Nara Inst. Sci. & Tech., Japan)

Asymptotic Directory Growth of the Multilevel Grid File[†]

S.-W. Kim and K.-Y. Whang (Korea Adv. Inst. Sci. & Tech., Korea)

Placement of Replicas Including Replicated Derived Data

S. Konomi and T. Furukawa (Kyushu Univ., Japan)

A New Heuristic for Data Allocation

B. Harangsri and A. H. H. Ngu (Univ. New South Wales, Australia)

[13:40 – 14:40, Room A] Session 13: Storage Systems for Future Databases

Chair: T. H. Merrett (McGill Univ., Canada)

Virtual Striping: A RAID5 Storage Management Scheme with Robustness for the Peak Access Traffic

M. Kitsuregawa and K. Mogi (Univ. Tokyo, Japan)

Wear Leveling and Restart Mechanism for FRAM and EEPROM Applications

B. Youngsik and J. Seongil (Electronics Telecomm. Research Inst., Korea)

[13:40 – 14:40, Room B] Session 14: Transaction Management

Chair: H. Xu (Fukuoka Inst. Tech., Japan)

An Event-Driven Hard Transaction Management in Real-Time Database Systems

J. Byun (Dngguk Univ., Korea), K. C. Kim, H. C. Lim (Hongik Univ., Korea)

Conflicting Access in Cooperating Transactions

M. Hagaseth (NTH, Norway)

(† ... Invited Papers)

全国共同利用大型計算機センター研究開発連合発表講演会講演一覧

第1回：1979年

日時：昭和54年(1979年)11月30日

会場：名古屋大学工学部

- [1] スプーリングシステムによるプロッタ出力
.....松尾文碩・二村祥一・末永正・古城久美子・石田いつ子・鬼塚千代子
- [2] 運用面から見たファイルの管理方法について末永正・川崙正子・柴山昌則

第2回：1980年

日時：昭和55年(1980年)11月28日～29日

会場：東京大学地震研究所

- [1] 文献データベースにおける索引語の選択と判定
.....松尾文碩・二村祥一・高木利久・鬼塚千代子・古城久美子
- [2] リソースを中心としたTSSコマンド入力末永正

第3回：1981年

日時：昭和56年(1981年)12月4日

会場：京大会館

- [1] 保存データセット利用統計について景川耕宇
- [2] 文章情報データベースの圧縮松尾文碩・古城久美子・鬼塚千代子・二村祥一
- [3] データベース統合支援システム Adbis松尾文碩・二村祥一・高木利久

第4回：1982年

日時：昭和57年(1982年)11月26日

会場：東北大学大型計算機センター

- [1] JOIS型漢字端末エミュレータによるFAIRS-I/JEFの和文文献検索
.....古城久美子・篠原武・二村祥一・松尾文碩
- [2] 日本語によるセンター案内・相談支援システム武富敬・川崙正子・上妻真知子・柳池定・景川耕宇
- [3] オペレーションの自動化について大賀豊満・平野広幸・末永正

第5回：1983年

日時：昭和58年(1983年)12月1日

会場：大阪大学附属図書館吹田分館

- [1] 情報検索システムAIRの設計について二村祥一・篠原武・松尾文碩
- [2] GEM支援によるプログラムライブラリ統合管理システム
.....武富敬・平野広幸・川崙正子・入江啓一・景川耕宇

第6回：1984年

日時：昭和59年(1984年)11月1日

会場：北海道大学百年記念会館

- [1] 情報検索システム AIR による日本語文献の検索 篠原 武・二村 祥一・永井 徳仁・松尾 文碩
- [2] TTY におけるフルスクリーンエミュレータの作成とその問題点
..... 入江 啓一・川嵯 正子・末永 正・篠原 武・景川 耕宇

第7回：1985年

日時：昭和60年(1985年)11月28日

会場：九州大学大型計算機センター

- [1] 情報検索システム AIR の検索コマンドの利用特性について
..... 二村 祥一・篠原 武・河津 秀利・永井 徳仁・松尾 文碩
- [2] 利用状況統計からの一考察 富山 実・景川 耕宇
- [3] 第2次無人化システムについて — 設備管理システム — 末永 正・川嵯 正子・平野 広幸・入江 啓一

第8回：1986年

日時：昭和61年(1986年)11月27日

会場：名古屋大学大型計算機センター

- [1] 利用登録の自動化について
..... 原田 盛一・入江 啓一・菅崎 直弘・永井 徳仁・垣内 良子・末永 正・景川 耕宇
- [2] 九州大学大型計算機センターの利用状況について — ネットワーク利用の現状と問題点 —
..... 篠原 武・浦川 伸治・柳池 定

第9回：1987年

日時：昭和62年(1987年)11月19日

会場：東京大学山上会館

- [1] 九州大学大型計算機センターの UTS 運用管理システム
..... 川嵯 正子・原田 盛一・富山 実・平野 広幸・入江 啓一・河津 秀利・松延 栄治
- [2] センター案内情報システムの利用分析と考察 武富 敬・桜井 尚子・菅崎 直弘・景川 耕宇
- [3] フルスクリーン型端末のためのネットワーク仮想端末 FNVT の作成 入江 啓一

第10回：1988年

日時：昭和63年(1988年)11月18日

会場：京大会館

- [1] 地理データベースにおけるデータの重要度を考慮した選択表示支援機能 有川 正俊・上林 彌彦
- [2] 九州大学大型計算機センターにおける BITNET の運用について
..... 平野 広幸・入江 啓一・川嵯 正子・松延 栄治

第11回：1989年

日時：平成元年(1989年)10月24日

会場：東北大学青葉記念会館

- [1] フルスクリーン型端末のためのネットワーク仮想端末 FNVNT の改訂
..... 入江 啓一・松延 栄治・川崎 正子・島崎 眞昭
- [2] オブジェクト指向データベースにおけるデータ関連の表現 古川 哲也・上林 彌彦

第12回：1990年

日時：平成2年(1990年)10月26日

会場：大阪大学附属図書館吹田分館

- [1] UNIX ファイルの磁気テープによる効率的バックアップ 竹生 政資・河津 秀利・島崎 眞昭・川崎 正子
- [2] 大規模線形計算パッケージ LAPACK のベクトル計算機上での性能評価について
..... 桜井 尚子・島崎 眞昭・原田 裕夫

第13回：1991年

日時：平成3年(1991年)10月18日

会場：北海道大学百年記念会館

- [1] データベース利用統計出力システムの開発 橋倉 聡・藤井 龍磨・古川 哲也
- [2] 通常のテキストはどの程度ハイパーテキストたりうるか？ — $\text{I}^{\text{A}}\text{T}_{\text{P}}\text{X}$ テキストを用いた実験 — 佐藤 周行

第14回：1992年

日時：平成4年(1992年)10月22日

会場：九州大学同窓会館

- [1] 土曜閉庁に伴う無人システム 平野 広幸・肥田木 直子・入江 啓一・大西 政一・川崎 正子
- [2] 九州地域研究ネットワーク (KARRN) 松延 栄治

第15回：1993年

日時：平成5年(1993年)10月21日

会場：東京大学工学部

- [1] データ集約の危険性 — 大型計算機センター利用統計を活用するために — .. 佐藤 周行・古川 哲也・浦川 伸治
- [2] ジョブクラスと制限値からみたセンター運用 山崎 信広・川崎 正子・河津 秀利

全国共同利用大型計算機センター顕彰
九州大学関係者受賞一覧

● プログラム創造賞

受賞年月日 昭和 63 年 5 月 11 日
受賞者 末永 正 (九州大学情報処理教育センター 助手)
受賞理由 TSS コマンド入力支援システム:BTf の創作

● データベース創造賞

受賞年月日 平成元年 5 月 11 日
受賞者 樋口 忠治 (九州大学言語文化部 教授)
受賞理由 独文テキストデータベースシステムの創生

● プログラム創造賞

受賞年月日 平成 2 年 11 月 16 日
受賞者 松尾 文碩 (九州大学工学部電気工学科 教授)
二村 祥一 (大分大学工学部組織工学科 助教授)
篠原 武 (九州工業大学情報工学部 助教授)
受賞理由 情報検索システム:AIR の創作

● プログラム創造賞

受賞年月日 平成 3 年 5 月 17 日
受賞者 伊藤 猛宏 (九州大学工学部動力機械工学科 教授)
受賞理由 熱物性値プログラム・パッケージ:PROPATH の創作

● データベースシステム創造賞

受賞年月日 平成 3 年 11 月 1 日
受賞者 久原 哲 (九州大学大学院農学研究科 助教授)
高木 利久 (九州大学情報処理教育センター 助教授)
受賞理由 データベースシステム GENAS の創作

● プログラム創造賞

受賞年月日 平成 4 年 11 月 6 日
受賞者 有川 節夫 (九州大学理学部附属基礎情報学研究施設 教授)
受賞理由 テキスト・データベース管理システム:SIGMA の創作

● プログラム創造賞

受賞年月日 平成 5 年 11 月 11 日
受賞者 入江 啓一 (九州大学大型計算機センターネットワーク掛 主任)
受賞理由 ネットワーク仮想端末プログラム:FNVt の創作

受賞者の所属および職名は受賞当時のものです。

歴 代 運 営 委 員

(1968. 7. 1~1970. 6. 30)

	所	属	職 名	氏 名
委 員 長	大型計算機	センター	教授	大野克郎
副 委 員 長	九州大学	工学部	教授	高田勝
委 員	九州大学	経済学部	教授	大屋祐雪
”	九州大学	理学部	教授	北川敏夫
”	九州大学	理学部	教授	北工藤昭夫
”	九州大学	理学部	教授	三森角省博
”	九州大学	工学部	教授	清水浩夫
”	九州大学	工学部	教授	清田町常夫
”	九州大学	農学部	教授	土屋圭造
”	九州大学	教養部	教授	上田幾彦
”	九州大学	応用力学研究所	教授	清水茂俊
”	東京大学	工学部	教授	森口繁一
”	広島大学	理学部	教授	山本純恭
”	山口大学	文理学部	教授	谷崎茂俊
”	九州工業大学	工学部	教授	井上順吉
”	熊本大学	工学部	教授	松山公一
”	九州大学	事務局	事務局長	山崎両三郎

(1970. 7. 1~1972. 4. 30)

	所	属	職 名	氏 名
委 員 長	大型計算機	センター	教授	大野克郎
委 員 長	大型計算機	センター	教授	高田勝
副 委 員 長	九州大学	工学部	教授	高田勝
委 員	九州大学	教育学部	教授	高狩野素朗
”	九州大学	理学部	教授	北川敏夫
”	九州大学	理学部	教授	北工藤昭夫
”	九州大学	理学部	教授	広田治博
”	九州大学	薬学部	教授	清水茂
”	九州大学	薬学部	教授	後藤浩
”	九州大学	工学部	教授	清田町常夫
”	九州大学	工学部	教授	清田町常夫
”	九州大学	農学部	教授	土屋圭造
”	九州大学	教養部	教授	上田幾彦
”	九州大学	教養部	教授	竹田宏
”	九州大学	応用力学研究所	教授	清水茂俊
”	九州大学	応用力学研究所	教授	清川建和
”	東京大学	工学部	教授	森口繁一
”	広島大学	理学部	教授	山本純恭
”	山口大学	文理学部	教授	谷崎茂俊
”	九州工業大学	工学部	教授	井上順吉
”	熊本大学	工学部	教授	松山公一
”	九州大学	事務局	事務局長	山崎両三郎
”	九州大学	事務局	事務局長	伊藤政雄

(1972. 5. 1~1974. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	大型計算機センター	長	教授	高田 田 勝
副委員長	九州大学	工学部	教授	高田 町 常 夫
委員	九州大学	法学部	教授	高田 正 夫
〃	九州大学	理学部	教授	高田 野 精 一
〃	九州大学	理学部	教授	高田 田 栄 治
〃	九州大学	理学部	教授	高田 藤 昭 夫
〃	九州大学	歯学部	教授	高田 山 根 正 次
〃	九州大学	工学部	教授	高田 三 操
〃	九州大学	工学部	教授	高田 楠 浩 一
〃	九州大学	農学部	教授	高田 林 哉
〃	九州大学	教養部	教授	高田 竹 田 宏
〃	九州大学	生産科学研究所	教授	高田 宮 武 修
〃	東京大学	工学部	教授	高田 森 口 一
〃	広島大学	理学部	教授	高田 山 本 純 恭
〃	山口大学	文理学部	教授	高田 谷 本 茂 俊
〃	九州工業大学	工学部	教授	高田 井 上 順 吉
〃	熊本大学	工学部	教授	高田 松 山 公 謙
〃	長崎大学	医学部	教授	高田 佐 藤 政 助
〃	九州大学	事務局	事務局長	高田 伊 藤 雄
〃	九州大学	事務局	事務局長	高田 手 塚 卯 津 美

(1974. 5. 1~1976. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	大型計算機センター	長	教授	高田 田 勝
副委員長	九州大学	工学部	教授	高田 町 常 夫
委員	九州大学	文学部	教授	高田 船 津 孝 行
〃	九州大学	理学部	教授	高田 浅 野 長 一
〃	九州大学	理学部	教授	高田 田 栄 治
〃	九州大学	理学部	教授	高田 大 槻 昭 一
〃	九州大学	理学部	教授	高田 木 田 茂 夫
〃	九州大学	医学部	教授	高田 中 村 元 臣
〃	九州大学	工学部	教授	高田 江 口 鉄 男
〃	九州大学	工学部	教授	高田 楠 浩 一
〃	九州大学	農学部	教授	高田 林 哉
〃	九州大学	教養部	教授	高田 上 田 幾 彦
〃	九州大学	応用力学研究所	教授	高田 竹 松 正 樹
〃	京都大学	工学部	教授	高田 西 原 宏
〃	広島大学	理学部	教授	高田 山 本 純 恭
〃	山口大学	文理学部	教授	高田 谷 本 茂 俊
〃	九州工業大学	工学部	教授	高田 井 上 順 吉
〃	熊本大学	工学部	教授	高田 松 山 公 謙
〃	長崎大学	医学部	教授	高田 佐 藤 政 助
〃	九州大学	事務局	事務局長	高田 伊 藤 雄
〃	九州大学	事務局	事務局長	高田 手 塚 卯 津 美

(1976. 5. 1~1978. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	大型計算機センター	長	教授	田町常夫
副委員長	九州大学	工学部	教授	江口鉄男
委員	九州大学	経済学部	教授	大江屋祐雪
"	九州大学	理学部	教授	大浅野長一郎
"	九州大学	理学部	教授	木田茂夫
"	九州大学	理学部	教授	河合光路
"	九州大学	薬学部	助教	河吉節夫
"	九州大学	工学部	助教	楠田浩一郎
"	九州大学	工学部	教授	石林田誠哉
"	九州大学	農学部	教授	林田勝哉
"	九州大学	教養部	教授	竹田宏利
"	九州大学	生産科学研究所	教授	妹尾泰利
"	京都大学	工学部	教授	妹原宏
"	広島大学	理学部	教授	西山純恭
"	山口大学	文理学部	教授	山谷本崎茂俊
"	九州工業大学	工学部	教授	吉田行一
"	九州工業大学	工学部	教授	磯田泰公
"	熊本大学	工学部	教授	松山謙一
"	長崎大学	医学部	教授	佐藤公
"	九州大学	事務局	事務局長	甲斐安夫

(1978. 5. 1~1980. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	大型計算機センター	長	教授	田町常夫
委員	大型計算機センター	長	教授	加納省吾
副委員長	九州大学	理学部	教授	木田茂夫
委員	九州大学	教育学部	助教	山内光哉
"	九州大学	理学部	助教	河合光路
"	九州大学	理学部	助教	上江洲忠弘
"	九州大学	歯学部	助教	栗栖浩二郎
"	九州大学	工学部	教授	吉田誠
"	九州大学	工学部	教授	石隈功
"	九州大学	工学部	教授	隈田部
"	九州大学	農学部	教授	隈林勝哉
"	九州大学	教養部	教授	林竹田宏
"	九州大学	応用力学研究所	教授	竹田正樹
"	京都大学	工学部	教授	竹西宏
"	広島大学	理学部	教授	山本純恭
"	山口大学	工学部	教授	清本茂俊
"	九州工業大学	工学部	教授	磯田泰公
"	熊本大学	工学部	教授	松山謙一
"	長崎大学	医学部	教授	佐藤公
"	長崎大学	医学部	教授	岡島俊
"	福岡女子大学	家政学部	教授	岡國真
"	九州大学	事務局	事務局長	甲斐安夫

(1980. 5. 1~1982. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	大型計算機	センター	教授	加納省吾
副委員長	九州大学	工学部	教授	吉田
委員	九州大学	法学部	教授	井上祐長
〃	九州大学	理学部	教授	浅野一
〃	九州大学	理学部	助教	郷江洲信忠
〃	九州大学	医学部	教授	上大村弘裕
〃	九州大学	工学部	教授	大石田部誠功
〃	九州大学	工学部	教授	石隈林哉
〃	九州大学	農学部	教授	林竹田宏
〃	九州大学	教養部	教授	竹田幸則
〃	九州大学	総合理工学研究科	教授	神田洋
〃	九州大学	生産科学研究所	教授	速水
〃	京都大学	工学部	教授	西原宏
〃	広島大学	理学部	教授	山本恭
〃	広島大学	理学部	教授	山鳴本元
〃	山口大学	工学部	教授	清海俊行
〃	九州工業大学	工学部	教授	磯山一
〃	熊本大学	工学部	教授	松山亨
〃	熊本大学	工学部	教授	森岡三
〃	長崎大学	医学部	教授	岡島真
〃	福岡女子大学	家政学部	教授	國宗太
〃	九州大学	事務局	事務局長	村上虎
〃	九州大学	事務局	事務局長	古市正俊

(1982. 5. 1~1984. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	大型計算機	センター	教授	加納省吾
委員	大型計算機	センター	教授	吉田
副委員長	九州大学	工学部	教授	吉田和夫
〃	九州大学	工学部	教授	牛島作
委員	九州大学	文学部	教授	松田利
〃	九州大学	理学部	教授	広渡一郎
〃	九州大学	理学部	教授	浅野一
〃	九州大学	理学部	助教	郷江洲信
〃	九州大学	薬学部	助教	郷古森徹
〃	九州大学	工学部	教授	古牧弘
〃	九州大学	工学部	教授	西林信
〃	九州大学	農学部	教授	西林哉
〃	九州大学	教養部	教授	竹田宏
〃	九州大学	総合理工学研究科	教授	竹田安男
〃	九州大学	応用力学研究所	教授	駒大丹
〃	九州大学	応用力学研究所	教授	大川雄
〃	京都大学	工学部	教授	西原宏
〃	広島大学	理学部	教授	山鳴海元
〃	広島大学	理学部	教授	山鳴原博
〃	山口大学	工学部	教授	菅清茂

九州工業大学 工学部	教授	磯上	泰文	行雄
熊本大学 工学部	教授	野島	俊	三眞
長崎大学 医学部	教授	岡國	正昭	俊夫
福岡女子大学 家政学部	教授	古舟		
九州大学 事務局	事務局長			
九州大学 事務局	事務局長			

(1984. 5. 1~1986. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	九州大学	工学部	教授	吉田
委員長	九州大学	工学部	教授	相良
副委員長	九州大学	工学部	教授	牛島
委員	九州大学	経済学部	教授	市村
委員	九州大学	理学部	教授	田中
委員	九州大学	理学部	教授	松田
委員	九州大学	理学部	助教授	新島
委員	九州大学	歯学部	教授	新栗
委員	九州大学	工学部	教授	牧野
委員	九州大学	工学部	教授	西谷
委員	九州大学	農学部	教授	林弘
委員	九州大学	教養部	教授	竹田
委員	九州大学	総合理工学研究科	教授	駒宮
委員	九州大学	生産科学研究所	教授	藤井
委員	京都大学	工学部	教授	西原
委員	広島大学	理学部	教授	菅原
委員	山口大学	工学部	教授	菅水
委員	九州工業大学	工学部	教授	清加
委員	熊本大学	工学部	教授	上山
委員	長崎大学	医学部	教授	野田
委員	福岡女子大学	家政学部	教授	山國
委員	九州大学	事務局	事務局長	舟橋
委員	九州大学	事務局	事務局長	築坂

(1986. 5. 1~1988. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	九州大学	工学部	教授	相良
副委員長	九州大学	工学部	教授	牛島
委員	九州大学	教育学部	教授	狩野
委員	九州大学	理学部	教授	田中
委員	九州大学	理学部	教授	松田
委員	九州大学	理学部	助教授	高田
委員	九州大学	医学部	教授	大村
委員	九州大学	工学部	教授	大牧
委員	九州大学	工学部	教授	西谷
委員	九州大学	農学部	教授	林弘
委員	九州大学	教養部	教授	竹田
委員	九州大学	総合理工学研究科	教授	荒井
委員	九州大学	応用力学研究科	教授	小寺

九州大学	応用力学研究所	教授	及川正行
京都大学	大型計算機センター	教授	星野聰
広島大学	理学部	教授	菅原博
山口大学	工学部	教授	富田吾
九州工業大学	工学部	教授	加藤史
熊本大学	工学部	教授	上野雄
長崎大学	医学部	教授	山田英二
福岡女子大学	家政学部	教授	國宗眞
九州大学	事務局	事務局長	築後亨
九州大学	事務局	事務局長	後藤英夫

(1988. 5. 1~1990. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	九州大学	大型計算機センター	教授	相良節夫
副委員長	九州大学	工学部	教授	牛島和仁
委員	九州大学	法学部	助教授	和田健次郎
〃	九州大学	理学部	助教授	高木島博
〃	九州大学	理学部	助教授	仁木直人
〃	九州大学	薬学部	教授	井本泰久
〃	九州大学	工学部	教授	松山藤久
〃	九州大学	工学部	教授	伊藤尾猛
〃	九州大学	農学部	教授	酒井嘉子
〃	九州大学	教養部	助教授	酒井弘通
〃	九州大学	総合理工学研究科	教授	荒井村夫
〃	九州大学	機能物質科学研究所	助教授	富星野
〃	京都大学	大型計算機センター	教授	星菅原正
〃	広島大学	理学部	教授	菅原博
〃	山口大学	工学部	教授	富田吾
〃	九州工業大学	工学部	教授	加藤史
〃	熊本大学	工学部	教授	上野雄
〃	長崎大学	医学部	教授	山田英二
〃	福岡女子大学	家政学部	教授	國宗眞
〃	福岡工業大学	工学部	教授	田常夫
〃	九州大学	事務局	事務局長	後藤英夫

(1990. 5. 1~1992. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	九州大学	大型計算機センター	教授	牛島和夫
副委員長	九州大学	理学部	教授	高田健次郎
委員	九州大学	文学部	教授	早田輝洋
〃	九州大学	理学部	助教授	早田隆
〃	九州大学	理学部	助教授	山崎行人
〃	九州大学	理学部	助教授	仁木直二
〃	九州大学	歯学部	教授	栗栖浩二
〃	九州大学	工学部	教授	伊藤山久
〃	九州大学	工学部	教授	松山久義
〃	九州大学	農学部	教授	藤山尾雄策

九州大学	教養部	教授	酒益	井田	嘉光	子治
九州大学	総合理工学研究科	助教授	益高	田雄	善洋	裕匡
九州大学	応用力学研究所	教授	植長	田田		正聰
九州大学	応用力学研究所	教授	星	野川		治詮
九州大学	工学部	教授	西今	村田	恭	吾郎
京都大学	大型計算機センター	教授	富有	田田	眞五	次郎
広島大学	理学部	教授	柏山	木田	英常	潤二
広島大学	理学部	教授	田込	町山		夫進
山口大学	工学部	教授				
九州工業大学	工学部	教授				
熊本大学	工学部	教授				
長崎大学	医学部	教授				
福岡工業大学	工学部	教授				
九州大学	事務局	事務局長				

(1992. 5. 1~1994. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	九州大学	大型計算機センター長	教授	牛島和夫
副委員長	九州大学	大型計算機センター長	教授	有川節夫
委員	九州大学	理学部	教授	高田健次郎
委員	九州大学	経済学部	教授	高時永崎祥常
委員	九州大学	理学部	教授	山中野瀬充善
委員	九州大学	医学部附属病院	助教授	中野瀬藤尾宏明
委員	九州大学	工学部	教授	伊松久松
委員	九州大学	工学部	教授	伊松久松
委員	九州大学	農学研究所	教授	久松原山
委員	九州大学	工学部	教授	久松原山
委員	九州大学	教養部	教授	酒尾井添
委員	九州大学	機能物質科学研究所	教授	酒尾井添
委員	九州大学	総合理工学研究科	教授	益星今
委員	京都大学	大型計算機センター	教授	星今
委員	広島大学	理学部	教授	今富
委員	山口大学	工学部	教授	今富
委員	九州工業大学	工学部	教授	安柏
委員	熊本大学	工学部	教授	安柏
委員	長崎大学	電機情報工学科	教授	小田
委員	福岡工業大学	工学部	教授	小田
委員	九州大学	事務局	事務局長	下澤
委員	九州大学	事務局	事務局長	下澤

(1994. 5. 1~1996. 4. 30)

	所	属	職名	氏名
委員長	九州大学	大型計算機センター長	教授	有川節夫
副委員長	九州大学	工学部	教授	高田健次郎
委員	九州大学	経済学部	教授	高時永崎祥常
委員	九州大学	理学部	教授	山中野瀬充善
委員	九州大学	理学部	助教授	山中野瀬充善

九州大学	医学部附属病院	教授	野伊	瀬藤	善猛	明宏
九州大学	工学部	教授	伊松	尾原	文	碩哲
九州大学	工学部	教授	久松	山井	久	義子
九州大学	農学研究所	教授	酒尾	山井	嘉	之
九州大学	工学部	教授	星	野村	直	哉
九州大学	教養部	教授	今小	嶋田	五	亮
九州大学	機能物質科学研究所	教授	渡小	邊山	節	純
京都大学	大型計算機センター	教授	相澤	良川	俊	夫
広島大学	理学部	教授				明
山口大学	工学部	教授				
九州工業大学	情報工学部	教授				
熊本大学	工学部	教授				
長崎大学	電機情報工学科	教授				
福岡工業大学	工学部	教授				
九州大学	事務局	事務局長				

歴代センター長・次長・研究開発部長・教官・事務長・掛長

職名	氏名	在職期間
センター長		
	大野克郎	昭43. 5. 1 ~ 昭47. 3. 31
	高田勝	昭47. 4. 1 ~ 昭51. 3. 31
	田町常夫	昭51. 4. 1 ~ 昭55. 3. 31
	加納省吾	昭55. 4. 1 ~ 昭59. 3. 31
	吉田將	昭59. 4. 1 ~ 昭61. 3. 31
	相良節夫	昭61. 4. 1 ~ 平 2. 3. 31
	牛島和夫	平 2. 4. 1 ~ 平 6. 3. 31
	有川節夫	平 6. 4. 1 ~
次長		
	有田五次郎	昭45. 4. 1 ~ 昭47. 3. 31
	景川耕宇	昭47. 4. 1 ~ 昭55. 3. 31
研究開発部長		
	有田五次郎	昭43. 4. 1 ~ 昭45. 3. 31
	景川耕宇	昭45. 4. 1 ~ 昭47. 3. 31
	松尾文碩	昭47. 4. 1 ~ 平 1. 3. 31
	島崎眞昭	平 1. 4. 1 ~
専任教官		
	宇津宮孝一	昭44. 12. 1 ~ 昭48. 7. 31
	工藤奈津子	昭44. 12. 1 ~ 昭51. 8. 31
	井上十四雄	昭45. 4. 1 ~ 昭50. 10. 31
	武藤直彦	昭45. 12. 1 ~ 昭48. 3. 31
	二村祥一	昭48. 5. 1 ~ 昭63. 3. 31
	竹下節子	昭48. 8. 1 ~ 昭52. 4. 15
	景川耕宇	昭48. 9. 1 ~ 平 2. 3. 31
	末永正	昭50. 12. 1 ~ 昭62. 3. 31
	武富敬	昭52. 4. 1 ~ 昭63. 3. 31
	高木利久	昭52. 7. 1 ~ 昭57. 3. 31
	篠原武	昭57. 4. 1 ~ 昭62. 3. 31
	有川正俊	昭63. 4. 1 ~ 平 1. 3. 31
	櫻井尚子	昭62. 4. 1 ~ 平 4. 3. 31
	松延栄治	昭62. 4. 1 ~
	竹生政資	昭63. 6. 1 ~ 平 4. 3. 31
	古川哲也	平 2. 4. 1 ~ 平 6. 3. 31
	島崎眞昭	平 1. 6. 1 ~
	佐藤周行	平 2. 4. 1 ~
	渡部善隆	平 4. 3. 16 ~
	木實新一	平 4. 4. 1 ~
	最所圭三	平 5. 11. 1 ~ 平 6. 3. 31
	山元規靖	平 6. 4. 1 ~
	天野浩文	平 6. 4. 1 ~
	石田慶樹	平 6. 5. 1 ~

併任・兼任教官

有田和枝	昭45. 1. 1	～	昭45. 10. 31
大矢建正	昭46. 10. 21	～	昭48. 8. 31
有田五次郎	昭48. 1. 1	～	昭48. 3. 31
牛島和夫	昭48. 4. 1	～	昭49. 3. 31
有川節夫	昭48. 4. 1	～	昭49. 3. 31
坂本直人	昭49. 2. 1	～	昭50. 8. 31
松尾文碩	平 3. 4. 1	～	

事務長

高藤直敏	昭46. 4. 1	～	昭49. 3. 31
大里新太郎	昭49. 4. 1	～	昭51. 3. 31
前田清晴	昭51. 4. 1	～	昭55. 3. 31
清水乙明	昭55. 4. 1	～	昭57. 3. 31
合屋啓義	昭57. 4. 1	～	昭60. 3. 31
岩谷正男	昭60. 4. 1	～	昭62. 3. 31
田端時夫	昭62. 4. 1	～	平 2. 3. 31
青木重仁	平 2. 4. 1	～	平 5. 3. 31
野田恭一	平 5. 4. 1	～	

専門職員

川寄正子	平 6. 4. 1	～	
------	-----------	---	--

総務掛長

河野敬次	昭44. 4. 1	～	昭46. 3. 31
------	-----------	---	------------

庶務掛長

石川孝治	昭44. 4. 1	～	昭49. 3. 31
浅香雄一	昭49. 4. 1	～	昭52. 4. 30
後藤武彦	昭52. 5. 1	～	昭58. 3. 31
前田義信	昭58. 4. 1	～	昭60. 3. 31
観音寺邦宏	昭60. 4. 1	～	昭62. 3. 31
安河内大典	昭62. 4. 1	～	昭62. 7. 6
江藤伸佑	昭62. 8. 1	～	平 3. 3. 31
宮本澄夫	平 3. 4. 1	～	平 5. 6. 30
大石一夫	平 5. 7. 1	～	平 6. 3. 31
伊熊勝史	平 6. 4. 1	～	

会計掛長

河野敬次	昭46. 4. 1	～	昭46. 5. 31
井上治也	昭46. 6. 1	～	昭50. 3. 31
波多江安光	昭50. 4. 1	～	昭51. 4. 30
後藤勇	昭51. 5. 1	～	昭54. 3. 31
庄野康幸	昭54. 4. 1	～	昭56. 8. 31
江口正	昭56. 9. 1	～	昭60. 3. 31
世利郁夫	昭60. 4. 1	～	昭62. 3. 31
倉重憲四郎	昭62. 4. 1	～	平 1. 3. 31
松浦秀典	平 1. 4. 1	～	平 5. 3. 31
三角和彦	平 5. 4. 1	～	

共同利用掛長

竹原幸治	昭44.12.16	～	昭55.3.31
山田重連	昭55.4.1	～	昭58.3.31
世利郁夫	昭58.4.1	～	昭60.3.31
八尋熊徳	昭60.4.1	～	昭61.3.31
矢山哲也	昭61.4.1	～	平2.4.31
大石一夫	平2.4.1	～	平5.6.30
伊熊勝史	平5.7.1	～	平6.3.31
吉永保智	平6.4.1	～	

業務掛長

石川孝治	昭45.4.1	～	昭46.3.31
波多江安光	昭46.4.1	～	昭50.3.31
本郷忠一	昭50.4.1	～	昭52.4.30
中島親義	昭52.5.1	～	昭54.3.31
西岡保	昭54.4.1	～	昭55.3.31
世利郁夫	昭55.4.1	～	昭58.3.31
八尋熊徳	昭58.4.1	～	昭61.3.31
倉重憲四郎	昭60.4.1	～	昭62.3.31

第一業務掛長

渡邊義之	昭62.4.1	～	平2.3.31
------	---------	---	---------

第二業務掛長

川寄正子	昭62.4.1	～	平2.3.31
------	---------	---	---------

システム運用掛長

東島利昭	平2.4.1	～	平3.6.30
大谷政光	平3.4.1	～	平4.3.31
大西政一	平4.4.1	～	

システム管理掛長

川寄正子	平2.4.1	～	平6.3.31
池内幸男	平6.4.1	～	

ネットワーク掛長

原田盛一	平2.4.1	～	
------	--------	---	--

プログラム相談員一覧

各年度のプログラム相談員をお引受けくださった方のお名前のみを掲げています（順不同・敬称略）。

昭和47年度

国宗 真 ・中山 泰雄・深野 徹 ・今田 清久・塩川 浩三・養田 登世子・櫻井 晃 ・大場 良二・長瀬 保廣
前田 靖弘・松村 和雄・山田 桂規・武谷 峻一・河井 康行・木内 明則 ・横田 将生・堀 昭一 ・遠藤 勉
芦田 正 ・岡本 寿夫・小野 行雄

昭和48年度

中山 泰雄・原 英博 ・小野 行雄・古賀 大三・麻生 陽一・岡本 良治・山田 桂規・藤田 寛治・下村 セイ
明田 敏郎・西田 知照 ・奥山 健二・塩川 浩三・櫻井 晃 ・高鍋 久人・黒田 正文・森住 昇 ・内田 一徳
平田 洋輔・江口 喜己男・藤井 俊憲・毛利 良治

昭和49年度

国宗 真 ・中山 泰雄・原 英博 ・小野 行雄・古賀 大三・麻生 陽一・塩川 浩三 ・奥山 健二・櫻井 晃
納富 哲雄・森住 昇 ・西田 知照・渡辺 和則・辻 政俊 ・明田 敏郎・江口 喜己男・藤井 俊憲・毛利 友治
内田 一徳・藤田 寛治・下村 セイ・河上 清治・湯村 やす・松村 和雄・河野 昭雄 ・前田 潤滋・中原 潤二郎
山田 務 ・河上 清治・辻 勝彦 ・岡本 良治

昭和50年度

国宗 真 ・松村 和雄・河野 昭雄・下村 セイ ・中原 潤二郎・奥山 健二・山田 務 ・村山 武昭・渡辺 和則
尾崎 敬二・中山 泰雄・櫻井 晃 ・森住 昇 ・納富 哲雄 ・河上 清治・吉岡 啓介・辻 勝彦 ・吉田 准一
南 俊郎 ・麻生 陽一・吉田 勝成・竹之内 則男・金子 新 ・西田 知照・武富 敬 ・岡本 正宏

昭和51年度

国宗 真 ・伊東 繁 ・櫻井 晃 ・森住 昇 ・井上 正夫・金子 新 ・尾崎 敬二・塩川 浩三・奥山 健二
中尾 郁夫・渡辺 和則・村山 武昭・三木 信博・吉田 勝成・竹之内 則男・吉田 准一・南 俊郎 ・麻生 陽一
岡本 正宏・中山 泰雄・宮本 政英・松本 憲好・鳴海 泰典・田村 一美

昭和52年度

国宗 真 ・伊東 繁 ・櫻井 晃 ・森住 昇 ・藤本 隆史・小原 康彦・塩川 浩三・尾崎 敬二・三木 信博
松村 和雄・品川 一郎・高木 成夫・奥山 健二・田村 一美・広瀬 一郎・南 俊朗 ・麻生 陽一・岡本 正宏
鳴海 泰典・菊池 健児・塚本 雄三・吉田 准一

昭和53年度

国宗 真 ・伊東 繁 ・森住 昇 ・橋本 毅 ・松村 和雄 ・三木 信博・高木 成夫・品川 一郎・塩川 浩三
尾崎 敬二・奥山 健二 ・江藤 晴明・広瀬 一郎 ・吉田 准一 ・水野 裕重・南 俊朗 ・麻生 陽一・岡本 正宏
上田 耕平・今井 富士夫・村山 武昭・野田 慶一郎・谷口 倫一郎・江嶋 博 ・日高 健治・河野 重昭・小野 行雄

昭和54年度

麻生 陽一 ・石田 いつ子・井上 勝裕・江嶋 博 ・大鶴 徹 ・岡本 正宏 ・岡本 実 ・尾崎 敬二
鬼塚 千代子・川崎 正子 ・河野 重昭・河野 雅也・国宗 真 ・古城 久美子・佐藤 裕一・塩川 浩三
谷口倫一郎・田町 典子 ・辻 峰男 ・辻村 恵二・続木 健二・出口 近士 ・富山 実 ・野田 慶一郎
樋口 剛 ・三木 信博 ・水野 裕重・南 俊朗 ・村山 武昭・森住 昇 ・吉田 和幸・吉田 准一

昭和55年度

阿部 俊郎・麻生 陽一・石田 いつ子・井上 勝裕 ・大鶴 徹 ・岡本 正宏・岡本 実 ・尾崎 敬二・鬼塚 千代子
萱嶋 一弘・河野 雅也・国宗 真 ・古城 久美子・佐藤 裕一・塩川 浩三・高田 保之・立川 篤夫・田町 典子
辻 峰男 ・永江 勝則・樋口 剛 ・三木 信博 ・水野 裕重・南 俊朗 ・村山 武昭・森住 昇 ・山崎 伸彦
横枕 篤 ・吉武 春光・吉田 和幸 ・吉田 准一 ・渡壁 守正・堤 純一郎

昭和56年度

阿部 俊郎・石田 いつ子・宇田 暢秀・大鶴 徹 ・岡本 正宏・岡本 実 ・尾崎 敬二・岡田 剛 ・河野 雅也
川村 憲造・国宗 真 ・塩川 浩三・潮崎 淳一 ・高田 保之・堤 純一郎・出口 近士・成富 稔彦・永江 勝則
林 徹夫 ・藤本 孝 ・水野 裕重・南 俊朗 ・森住 昇 ・森山 聡之・山崎 伸彦・横枕 篤 ・吉武 春光
吉田 和幸・吉田 准一 ・渡壁 守正・遠矢 真知子

昭和57年度

岩重 健五・宇田 暢秀・大鶴 徹 ・岡本 実 ・尾崎 敬二・河野 雅也 ・川村 憲造・河村 明 ・国宗 真
久原 哲 ・塩川 浩三・潮崎 淳一・高田 保之 ・堤 純一郎・遠矢 真知子・成富 稔彦・根葉 保彦・野口 俊之
林 徹夫 ・春田 正俊・水野 裕重・南 俊朗 ・森住 昇 ・森山 聡之 ・山崎 伸彦・吉武 春光・吉田 和幸
吉田 准一・渡壁 守正・出口 近士・上妻 真知子

昭和58年度

有座 道春・梅田 政信・大鶴 徹 ・岡本 実 ・尾崎 敬二・河野 雅也・河村 明 ・国宗 真 ・久原 哲
古保里 学・塩川 浩三・酒井 日出男・高田 保之・田中 弘祐・堤 純一郎・上妻 真知子・野口 俊之・林 徹夫
日並 順二・平野 真司・水野 裕重 ・南 俊朗 ・松井 哲也・森住 昇 ・森山 聡之 ・森川 明夫・吉田 和幸
吉田 准一・渡壁 守正・出口 近士 ・石氷 結花

昭和59年度

石氷 結花・井ノ口 美佐子・上之 俊昭 ・鬼塚 千代子・尾崎 敬二・岡本 実 ・大鶴 徹・河村 明 ・掛下 哲郎
甲斐 郷子・川副 博 ・河原田 寿紀・国宗 真 ・久原 哲 ・塩川 浩三・芝 剛史・田中 弘祐・堤 純一郎
林 徹夫 ・日並 順二 ・福田 順子 ・森山 聡之 ・森川 明夫・谷田 雅敏・尹 志熙・吉田 准一

昭和60年度

石氷 結花 ・井ノ口 美佐子・石田 真美・尾崎 敬二・岡本 実 ・大鶴 徹 ・大串 勝利・河村 明 ・掛下 哲郎
河原田 寿紀・国宗 真 ・久原 哲 ・塩川 浩三・芝 剛史 ・田中 弘祐・堤 純一郎・仲敷 憲和・林 徹夫
濱尾 新 ・原 浩 ・福田 順子・籾吉 秀明・松枝 修治・森山 聡之・森川 明夫・尹 志熙 ・湯川 泰平
徐 海燕 ・金 基大 ・森田 洋子

昭和61年度

国宗 真 ・井ノ口 美佐子・尾崎 敬二・岡本 実 ・河村 明 ・森山 聡之・土井 敬介・山下 三平・大鶴 徹
林 徹夫 ・堤 純一郎 ・肖 岩 ・籾吉 秀明・渡辺 幸信・塩川 浩三・久原 哲 ・芝 剛史 ・須藤 宏之
森田 洋子・津田 順平

昭和62年度

国宗 真 ・尾崎 敬二・岡本 実 ・河村 明 ・森山 聡之・山下 三平 ・石橋 仁嗣 ・石丸 英伸
大鶴 徹 ・津田 順平・渡辺 幸信・永井 秀利・吉富 厚 ・矢野 寿一郎・今井 純 ・原 魁
趙 振宇 ・久原 哲 ・林 徹夫 ・堤 純一郎・芝 剛史 ・三宅 尚志 ・守田 賢二 ・志堂寺 栄治
前田 光晴・山崎 信広・櫻井 尚子・松延 栄治・平野 広幸・森田 洋子 ・井ノ口 美佐子・赤峯 享
西村 利浩

昭和63年度

国宗 真 ・井ノ口 美佐子・尾崎 敬二・岡本 実 ・河村 明 ・森山 聡之・山下 三平・大鶴 徹・山本 秀樹
今井 純 ・村岡 良紀 ・山崎 信広・久原 哲 ・林 徹夫 ・堤 純一郎・三宅 尚志・南里 智・中山 雄大
野口 周一・森田 洋子 ・北山 浩二・和田 浩一・島田 孝徳・櫻井 尚子

平成元年度

尾崎 敬二 ・堤 純一郎・岡本 実 ・黒木 昌一・堀田 武彦・富永 広貴・村山 徹 ・河村 明・森山 聡之
山下 三平 ・大鶴 徹 ・高崎 強 ・今井 純 ・前田 康順・村岡 良紀・山崎 信広・久原 哲・林 徹夫
植之原 雄二・西田 健彦・浦本 直彦・山尾 昭博・河野 俊彦・岩尾 忠重

平成2年度

尾崎 敬二・堤 純一郎・大鶴 徹・竹下 節子 ・黒木 昌一・岡本 実 ・河村 明 ・森山 聡之・田中 繁之
高崎 強 ・阿部 均 ・今井 純・石鞍 謙一郎・早田 龍弘・小田 明範・松浦 秀明・山崎 信広・堀田 武彦
富永 広貴・江上 邦博・久原 哲・林 徹夫 ・河野 俊彦・村岡 良紀

平成3年度

尾崎 敬二・木村 美奈子・堤 純一郎・竹下 節子・黒木 昌一・村岡 良紀・河村 明 ・森山 聡之・今井 純
石津 健 ・橋本 圭介 ・中川 昌博・小田 明範・松浦 秀明・山崎 信宏・堀田 武彦・富永 広貴・江上 邦博
久原 哲 ・林 徹夫 ・河野 俊彦

平成4年度

堀田 武彦・田縁 正治・堤 純一郎・村岡 良紀・小田 明範・松浦 秀明・河野 俊彦・三木 康臣・河村 明
江上 邦博・らお 燕飛・富永 広貴・黒木 昌一・森山 聡之・久原 哲 ・今井 純 ・尾崎 敬二・木村 美奈子

平成5年度

尾崎 敬二・松浦 秀明 ・村岡 良紀・黒木 賢一 ・小田 明範・河野 俊彦・堤 純一郎・三木 康臣
らお 燕飛・白川 英観 ・富永 広貴・今井 純 ・田中 豊 ・堀田 武彦・森山 聡之・江上 邦博
河村 明 ・木村 美奈子・何 平 ・エスペランサ カロ

平成6年度

村岡 良紀・富永 広貴 ・尾崎 敬二・河村 明・森山 聡之・小田 明範・松浦 秀明・河野 俊彦
・何 平 ・エスペランサ カロ・白川 英観・徐 超英・城崎 知至・三好 勝正

年度別現員表

各年4月1日現在

年 度	現 員											備 考		
	セ ン タ 長	教 授	助 教 授	講 師	助 手	技 兼 任 教 官	事 務 室 長	専 門 職 員	掛 長	主 任	一 般 職 員		非 常 勤 職 員	計
59	1			1	4	3	1		4	5	17	9	45	
60	1			1	4	3	1		4	4	17	8	43	
61	1			1	4	3	1		4	4	17	8	43	
62	1			1	4	3	1		5	4	15	8	42	
63	1			1	3	3	1		5	4	15	8	41	
元	1	1		2	3	2	1		5	4	15	8	42	
2	1	1	1	1	3	1	1		6	5	10	8	38	
3	1	1	2		3	2	1		6	5	10	8	39	
4	1	1	2		3	2	1		6	3	13	8	40	
5	1	1	3		3	2	1		6	7	9	8	40	
6	1	1	2		3	2	1	1	6	6	8	8	39	

現 職 員

所 属	官 職	氏 名	
センター長	理 学 部 教 授	有 川 節 夫	(併任)
研究開発部	部 長 ・ 教 授	島 崎 眞 昭	(兼任) (兼任)
	工 学 部 教 授	牛 島 和 夫	
	工 学 部 教 授	松 尾 文 碩	
	助 教 授	佐 藤 周 行	
	助 教 授	天 野 浩 文	
	講 師	石 田 慶 樹	
	助 手	松 延 栄 治	
	助 手	渡 部 善 隆	
	事 務 補 佐 員	山 元 規 靖	
	技 術 補 佐 員	境 永 静 枝 子	
事 務 部	事 務 長	野 田 恭 一	
	専 門 職 員	川 寄 熊 正 勝	
	庶 務 掛 長	伊 篠 山 崎 輝 一	
	事 務 補 佐 員	松 三 柴 田 宗 清	
	事 務 補 佐 員	角 田 井 島 満 智	
	会 計 掛 長	柴 松 田 芳 保	
	会 計 主 任	松 井 島 村 永 春	
	工 営 主 任	小 西 吉 永 垣 良	
	事 務 官 員	三 大 西 野 敬 一	
	臨 時 用 務 員	後 藤 内 幸 信	
	共 同 利 用 掛 長	池 山 寄 木 直 秀	
	共 同 利 用 主 任	肥 田 津 倉 盛 啓	
	事 務 補 佐 員	河 橋 原 江 口 道	
	事 務 補 佐 員	三 大 西 野 敬 一	
	シ ス テ ム 運 用 掛 長	大 平 宮 野 藤 内 幸 信	
	シ ス テ ム 運 用 主 任	宮 野 藤 内 幸 信	
	技 術 官 員	後 藤 内 幸 信	
	シ ス テ ム 管 理 掛 長	池 山 寄 木 直 秀	
	シ ス テ ム 管 理 主 任	肥 田 津 倉 盛 啓	
	事 務 官 員	河 橋 原 江 口 道	
技 術 官 員	三 大 西 野 敬 一		
ネ ッ ト ワ ー ク 掛 長	大 平 宮 野 藤 内 幸 信		
ネ ッ ト ワ ー ク 主 任	宮 野 藤 内 幸 信		
事 務 官 員	後 藤 内 幸 信		
技 術 官 員	三 大 西 野 敬 一		
事 務 補 佐 員	三 大 西 野 敬 一		